第１回いなべ市総合計画審議会事項書

日時　令和８年８月２１日（金）午後２時～
場所　いなべ市役所シビックコア棟
研修室２，３，４

１　開会

２　委員の委嘱

３　副市長あいさつ

４　会長あいさつ

５　説明及び審議事項
第３次いなべ市総合計画・総合戦略施策取組経過報告について　・・・　資料

６　委員の委嘱任期について

７　閉会

いなべ市総合計画審議会　座席表

（敬称略）

	前四日市看護医療大学 学長、 神戸松蔭大学　客員教授 丸山　康人		林会計事務所 所長 林　伸一	
株式会社百五銀行 いなべ支店 支店長 若林　夏樹				いなべ総合病院 院長 相田　直隆
いなべ市市民活動センター 田中　佳奈				いなべ市教育委員 位田　あけみ
前いなべ市自治会連合会 会長 嶋田　義光				いなべ市芸術文化協会 会長 三輪　孝
三重県防災コーディネーター 服部　純子				いなべ市スポーツ協会 理事長 髙木　修司
いなべ市民生委員 児童委員協議会連合会 東海林　玲子				いなべ市青少年育成市民会議 会長 山本　たか代
社会福祉法人モモ 理事長 福本　美津子				いなべ市農業委員会 会長 瀬木　光
障がい者総合相談支援 センターそういん 中村　弘樹				前いなべ市観光協会 会長 伊藤　六榮
員弁地区人権擁護委員連絡会 一木　尚子				いなべ市商工会　事務局長 伊藤　章子
NPO法人こどもぱれっと 理事長 小林　久里子				トヨタ車体株式会社 いなべ工場 工務部 工場管理室 環境・地域グループ 近藤　雄司
一般社団法人グリーン クリエイティブいなべ　代表理事 岡　正光				株式会社デンソー 大安製作所 所長 岡本　孝文
	副市長 山下　正史	企画部長 森川　里佳	政策課長 小谷　直仁	政策課 乗嶋　幹人

総務部長 伊藤　高道	健康こども部長 寺尾　あき	教育部長 太田　東洋	福祉部長 伊藤　幸宏	市民部長 松宮　みどり	都市整備部長 大川　洋海
建設部長 石川　義弘	水道部長 寺本　靖彦	環境部長 岡　武史	農林商工部長 宮木　崇年	会計管理者 三好　宏尚	議会事務局長 日紫喜　巖人

事務局 服部　修	事務局 石川　千裕

傍聴席

当日資料

第３次いなべ市総合計画・総合戦略施策取組経過報告書の修正

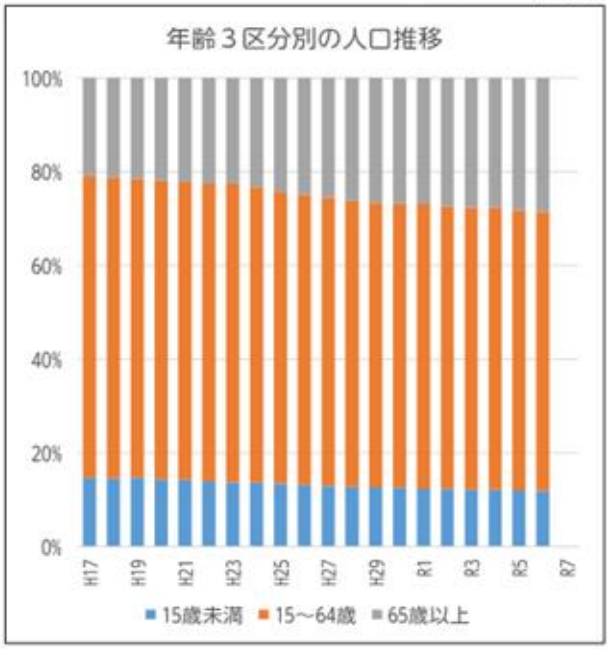
（１） ４　年齢３区分別人口推移
報告書Ｐ６

【修正前】

■年齢３区分別の人口推移　〔表１〕

	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上
H17	46,446	6,834	29,951	9,661
H18	46,494	6,765	29,851	9,870
H19	46,625	6,882	29,656	10,079
H20	46,893	6,782	29,845	10,258
H21	46,716	6,653	29,624	10,431
H22	45,684	6,345	29,043	10,282
H23	45,709	6,295	29,059	10,341
H24	45,640	6,217	28,782	10,627
H25	45,412	6,087	28,341	10,970
H26	45,249	5,987	27,934	11,314
H27	45,815	5,856	27,858	11,575
H28	45,693	5,758	27,595	11,814
H29	45,488	5,668	27,327	11,967
H30	45,383	5,586	27,120	12,151
R1	45,458	5,659	27,719	12,262
R2	44,973	5,485	27,143	12,345
R3	44,623	5,485	27,120	12,468
R4	44,424	5,457	26,967	12,451
R5	44,321	5,295	26,011	12,351
R6	44,080	5,165	25,836	12,415
R7				

〔図３〕

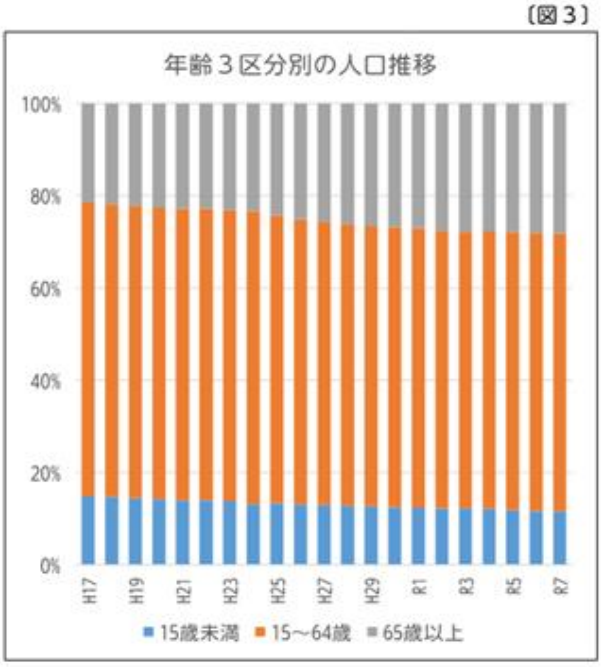


【修正後】

■年齢３区分別の人口推移　〔表１〕

	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上
H17	45,326	6,757	28,853	9,716
H18	45,388	6,682	28,794	9,912
H19	45,473	6,570	28,828	10,075
H20	45,369	6,488	28,628	10,253
H21	45,299	6,348	28,642	10,309
H22	45,229	6,321	28,599	10,309
H23	45,243	6,231	28,542	10,470
H24	46,263	6,080	29,371	10,812
H25	46,162	6,175	28,801	11,186
H26	46,074	6,068	28,464	11,542
H27	45,874	5,987	28,157	11,730
H28	45,721	5,896	27,875	11,950
H29	45,485	5,773	27,596	12,115
H30	45,527	5,694	27,588	12,244
R1	45,602	5,626	27,619	12,355
R2	45,250	5,533	27,270	12,447
R3	44,763	5,491	26,823	12,449
R4	44,691	5,438	26,832	12,421
R5	44,573	5,313	26,776	12,484
R6	44,342	5,199	26,670	12,473
R7	44,260	5,135	26,617	12,508

〔図３〕



※毎年3月31日の住民基本台帳人口（総人口は年齢不詳がいる場合、合計が合致しない。）

修正説明
　入力するデータを、住民基本台帳人口及び国勢調査人口から住民基本台帳人口のみに修正した。

（２） いなべ公園内の整備が必要な樹木数〈単位：本〉　担当部署：建設部　管理課
報告書Ｐ59

【修正前】

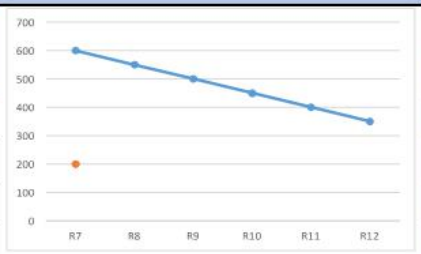
施策　4-6みどり豊かなまちづくりの推進

基本事業1　都市公園の整備　　総計　P120

KPI　いなべ公園内の整備が必要な樹木数〈単位：本〉

担当部署　建設部　管理課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	600	550	500	450	400	350
実績値	200					
増減率（%）	-66.6					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のいなべ公園内の整備が必要な樹木数は、200本と目標値を400本上回った。
※要因は、大雨等の自然災害もあり、当初の予定よりも整備を進めることができたため。

〇令和８年度は危険度の高い樹木を数本伐採したにとどまっている。

【修正後】

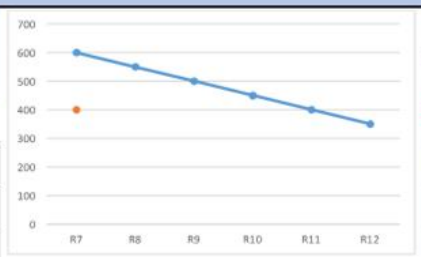
施策　4-6みどり豊かなまちづくりの推進

基本事業1　都市公園の整備　　総計　P120

KPI　いなべ公園内の整備が必要な樹木数〈単位：本〉

担当部署　建設部　管理課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	600	550	500	450	400	350
実績値	400					
増減率（%）	-33.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のいなべ公園内の整備が必要な樹木数は、400本と目標値を200本上回った。
※要因は、大雨等の自然災害もあり、当初の予定よりも整備を進めることができたため。

〇令和８年度は危険度の高い樹木を数本伐採したにとどまっている。

修正説明
　整備した樹木数（200本）を計上したため、差額分（400本）に修正。（計上誤り。）

（３） 水稲、小麦の獣害被害額（各年）〈単位：千円〉　担当部署：農林商工部　獣害対策課
報告書Ｐ67

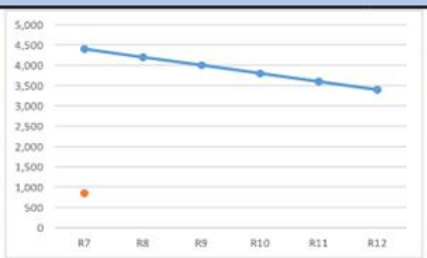
【修正前】

基本事業3　有害鳥獣対策の推進　　総計　P134

KPI　水稲、小麦の獣害被害額（各年）〈単位：千円〉

担当部署　農林商工部　獣害対策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	4,400	4,200	4,000	3,800	3,600	3,400
実績値	850					
増減率（%）	-80.6					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

令和７年度の水稲、小麦の獣害被害額は、850千円と目標値を3,550千円上回った。
※要因は、農業共済組合の保険制度の変革に伴い、水稲、麦作付水田の被害状況が把握できなくなったため。（一般農家が水稲の「農作物共済」（任意加入）に加入している範囲での被害額（実績値）とする。）

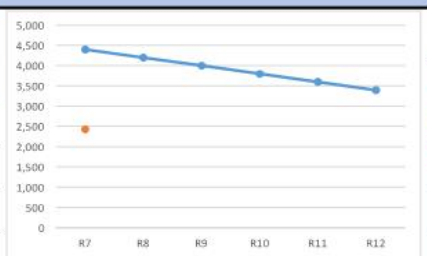
【修正後】

基本事業3　有害鳥獣対策の推進　　総計　P134

KPI　水稲、小麦の獣害被害額（各年）〈単位：千円〉

担当部署　農林商工部　獣害対策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	4,400	4,200	4,000	3,800	3,600	3,400
実績値	2,432					
増減率（%）	-44.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

令和７年度の水稲、小麦の獣害被害額は、2,432千円と目標値を1,968千円上回った。
※要因は、集落及び農業者の獣害対策により被害が減少したため。

修正説明
　実績値を850千円から2,432千円に修正。（計上誤り。）

資料

令和８年度

第３次いなべ市総合計画・総合戦略

施策取組経過報告書

いなべ市

令和８年８月

目　次

1	いなべ市総合計画と総合戦略の関係性	1
2	施策の重要度、満足度（市民満足度調査より）	3
3	いなべ市の人口推移	5
4	年齢３区分別人口推移	6
5	施策の成果指標、目標値及び実績値	7
6	審議事項	17
7	目標達成率の算出方法と達成率の判定基準	19
8	いなべ市総合計画・総合戦略ＫＧＩ	20
9	施策の取組経過報告	23
	第１章 みんなでつくるまち	23
	第２章 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち	27
	第３章 いつまでも笑顔で暮らせるまち	41
	第４章 自然と調和した快適で安心・安全なまち	51
	第５章 「にぎわい・愛着」創生のまち	65
	第６章 総合的取組事項	71

1　いなべ市総合計画と総合戦略の関係性

いなべ市は、総合計画と総合戦略を一体的に策定しています。総合計画における現状と課題及び分野・施策ごとの方向性を踏まえて、国の示す地方創生の実現に向けて、重点的に取り組みます。

いなべ市総合計画の体系

基本目標	分野	施策
第1章 みんなでつくるまち	■市民参画	1-1　市民の力で拓く未来
	■多様性社会	1-2　思いやりのある人権のまちづくりの推進 1-3　女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合うまちづくりの推進
	■広報広聴	1-4　広報広聴の充実
	■広域連携	1-5　広域連携による定住・移住の促進
	■外部人材	1-6　外部人材の活用による地域活性化の推進
第2章 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち	■子育て支援	2-1　ウェルビーイングを育む保育の推進 2-2　地域における子育て支援の充実 2-3　子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実 2-4　要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進
	■子どもと保護者の健康	2-5　子どもと母親の健康の確保
	■教育	2-6　ウェルビーイング溢れる学校の創造 2-7　学校教育環境の充実 2-8　学校環境整備の充実
	■スポーツ	2-9　総合的なスポーツの推進
	■歴史文化・芸術	2-10　歴史文化・芸術の充実
	■自然環境・学習	2-11　自然環境の保全・充実
	■生涯学習	2-12　青少年の夢を育む地域づくりの推進 2-13　生涯学習の充実
第3章 いつまでも笑顔で暮らせるまち	■健康・医療	3-1　地域医療体制の充実 3-2　生涯を通じた健康づくりの推進
	■高齢福祉	3-3　高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進 3-4　高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進
	■障がい福祉	3-5　地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進
	■地域福祉	3-6　地域の助け合いによる福祉の充実
	■社会保障	3-7　社会保障制度の健全で円滑な運用 3-8　適切な生活保護制度の推進
第4章 自然と調和した快適で安心・安全なまち	■公共交通	4-1　公共交通の充実
	■道路網	4-2　快適な道路網の充実
	■上下水道	4-3　暮らしを支える上水道の充実 4-4　美しい水環境の創出
	■生活環境	4-5　環境にやさしいまちづくりの推進 4-6　みどり豊かなまちづくりの推進 4-7　良好な居住環境づくりの推進
	■土地利用	4-8　秩序ある土地利用の推進
	■防災	4-9　安全で安心な防災対策の推進 4-10　交通事故のない安全なまちづくりの推進
	■防犯	4-11　被害を未然に防ぐまちづくりの推進
第5章 「にぎわい・愛着」創生のまち	■農林・畜産業	5-1　持続可能な農林業の振興
	■産業振興	5-2　企業誘致による産業振興と雇用促進 5-3　にぎわいのある商工業の振興
	■観光	5-4　魅力ある観光地づくりの推進
第6章 総合的取組事項		6-1　グリーンクリエイティブいなべの推進 6-2　フェアトレードタウンいなべの促進 6-3　SDGs未来都市いなべの推進 6-4　チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進 6-5　元気みらい都市いなべの推進

いなべ市総合戦略の体系

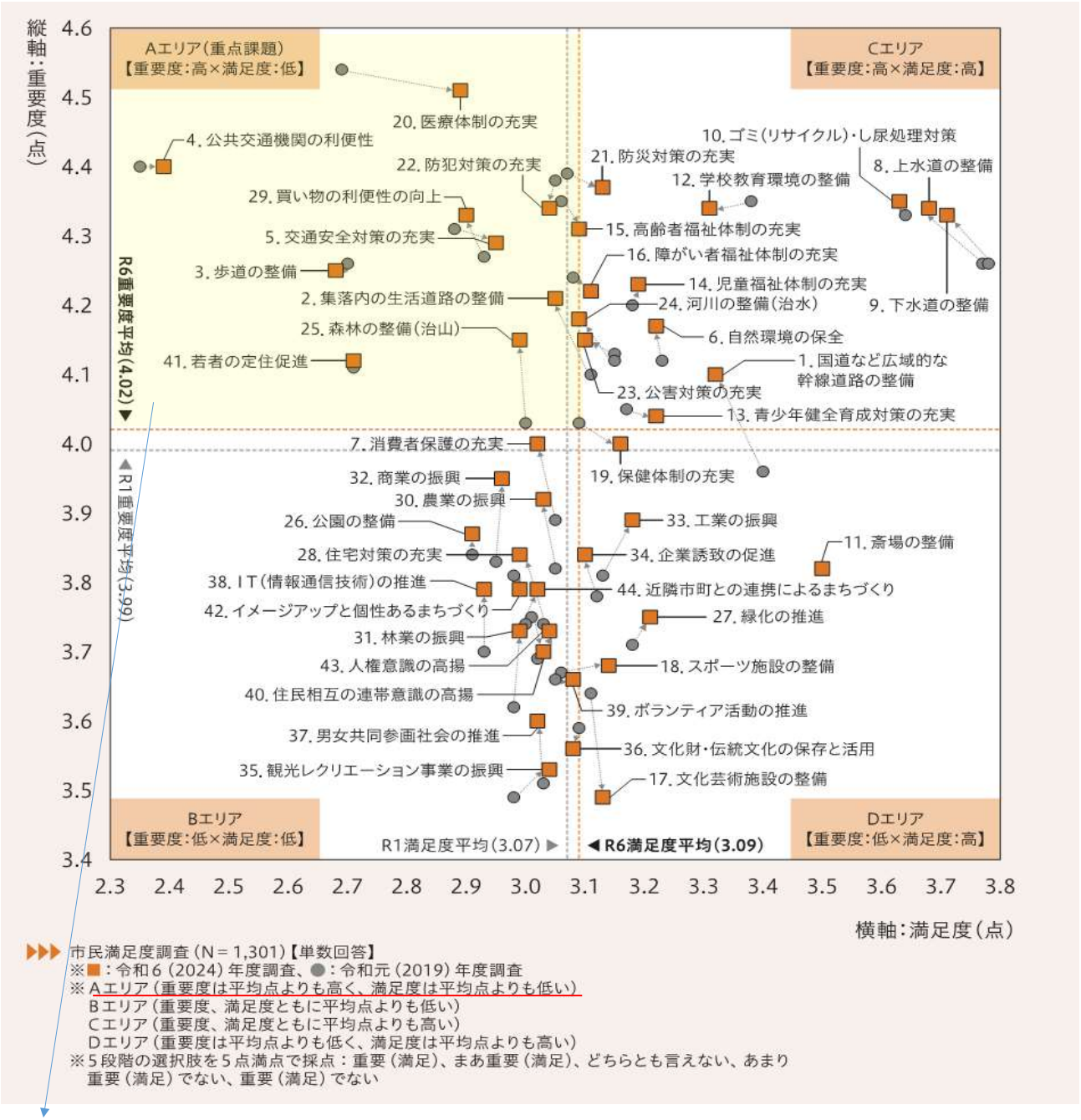
国の基本構想		第３期いなべ市総合戦略	
1	安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	1　若者や女性に選ばれる魅力的な暮らしの創生	（1）市民の力で拓く未来 （2）女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進 （3）広域連携による定住・移住の促進 （4）外部人材の活用による地域活性化の推進 （5）ウェルビーイングを育む保育の推進 （6）地域における子育て支援の充実 （7）子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実 （8）子どもと母親の健康の確保 （9）ウェルビーイング溢れる学校の創造 （10）学校教育環境の充実 （11）学校環境整備の充実 （12）総合的なスポーツの推進 （13）歴史文化・芸術の充実 （14）自然環境の保全･充実 （15）青少年の夢を育む地域づくりの推進 （16）生涯学習の充実
		2　安心で快適な生活環境の創生	（1）地域医療体制の充実 （2）高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進 （3）地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進 （4）地域の助け合いによる福祉の充実 （5）元気みらい都市いなべの推進 （6）公共交通の充実 （7）快適な道路網の充実 （8）みどり豊かなまちづくりの推進 （9）良好な居住環境づくりの推進 （10）安全で安心な防災対策の推進 （11）被害を未然に防ぐまちづくりの推進
2	稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～	3　稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい地方経済の創生	（1）持続可能な農林業の振興 （2）企業誘致による産業振興と雇用促進 （3）にぎわいのある商工業の振興 （4）魅力ある観光地づくりの推進 （5）グリーンクリエイティブいなべの推進 （6）フェアトレードタウンいなべの促進 （7）SDGs 未来都市いなべの推進 （8）チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進
3	人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による地方創生～	4　分野共通で取り組む新しい地方創生	（1）人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生 （2）新時代のインフラ整備と AI・デジタルなどの新技術の徹底活用 （3）広域リージョン連携
4	新時代のインフラ整備と AI・デジタルなどの新技術の徹底活用		
5	広域リージョン連携		
		総合戦略の推進に当たって（「いなべ市行政改革大綱」「行政改革アクションプラン」）	

2　施策の重要度、満足度（市民満足度調査より）
(1)経年比較

項目	重要度				満足度			
	H26	R1	R6	R1⇒R6	H26	R1	R6	R1⇒R6
1. 国道など広域的な幹線道路の整備	3.86	3.96	4.10	0.14	3.32	3.40	3.32	-0.08
2. 集落内の生活道路の整備	4.01	4.10	4.21	0.11	3.13	3.11	3.05	-0.06
3. 歩道の整備	4.11	4.26	4.25	-0.01	2.74	2.70	2.68	-0.02
4. 公共交通機関の利便性	4.28	4.40	4.40	0.00	2.55	2.35	2.39	0.04
5. 交通安全対策の充実	4.26	4.31	4.29	-0.02	2.96	2.88	2.95	0.07
6. 自然環境の保全	4.26	4.12	4.17	0.05	3.61	3.23	3.22	-0.01
7. 消費者保護の充実	4.00	3.89	4.00	0.11	3.00	3.05	3.02	-0.03
8. 上水道の整備	4.26	4.26	4.34	0.08	3.79	3.77	3.68	-0.09
9. 下水道の整備	4.26	4.26	4.33	0.07	3.80	3.78	3.71	-0.07
10. ゴミ（リサイクル）・し尿処理対策	4.48	4.33	4.35	0.02	3.80	3.64	3.63	-0.01
11. 斎場の整備			3.82				3.50	
12. 学校教育環境の整備	4.37	4.35	4.34	-0.01	3.38	3.38	3.31	-0.07
13. 青少年健全育成対策の充実	4.15	4.05	4.04	-0.01	3.16	3.17	3.22	0.05
14. 児童福祉体制の充実	4.40	4.20	4.23	0.03	3.13	3.18	3.19	0.01
15. 高齢者福祉体制の充実		4.35	4.31	-0.04		3.06	3.09	0.03
16. 障がい者福祉体制の充実		4.24	4.22	-0.02		3.08	3.11	0.03
17. 文化芸術施設の整備	3.59	3.64	3.49	-0.15	3.16	3.11	3.13	0.02
18. スポーツ施設の整備	3.58	3.67	3.68	0.01	3.18	3.06	3.14	0.08
19. 保健体制の充実	4.45	4.03	4.00	-0.03	3.10	3.09	3.16	0.07
20. 医療体制の充実		4.54	4.51	-0.04		2.69	2.89	0.20
21. 防災対策の充実	4.38	4.39	4.37	-0.02	3.17	3.07	3.13	0.05
22. 防犯対策の充実	4.38	4.38	4.34	-0.04	3.05	3.05	3.04	-0.01
23. 公害対策の充実	4.20	4.13	4.15	0.02	3.14	3.15	3.10	-0.05
24. 河川の整備（治水）	4.14	4.12	4.18	0.06	3.00	3.15	3.09	-0.06
25. 森林の整備（治山）		4.03	4.15	0.12		3.00	2.99	-0.01
26. 公園の整備	3.78	3.84	3.87	0.03	3.07	2.91	2.91	0.00
27. 緑化の推進		3.71	3.75	0.04		3.18	3.21	0.03
28. 住宅対策の充実	3.66	3.74	3.84	0.10	3.08	3.03	2.99	-0.04
29. 買い物の利便性の向上	4.11	4.27	4.33	0.06	3.19	2.93	2.90	-0.03
30. 農業の振興	3.68	3.82	3.92	0.10	2.98	3.05	3.03	-0.02
31. 林業の振興		3.62	3.73	0.10		2.98	2.99	0.01
32. 商業の振興	3.72	3.83	3.95	0.12	2.97	2.95	2.96	0.01
33. 工業の振興		3.81	3.89	0.08		3.13	3.18	0.05
34. 企業誘致の促進	3.79	3.78	3.84	0.06	3.04	3.12	3.10	-0.02
35. 観光レクリエーション事業の振興	3.41	3.49	3.53	0.04	2.96	2.98	3.04	0.06
36. 文化財・伝統文化の保存と活用	3.53	3.59	3.56	-0.03	3.03	3.09	3.08	-0.01
37. 男女共同参画社会の推進	3.48	3.51	3.60	0.09	2.98	3.03	3.02	-0.01
38. ＩＴ（情報通信技術）の推進	3.55	3.70	3.79	0.09	3.00	2.93	2.93	0.00
39. ボランティア活動の推進	3.66	3.66	3.66	0.00	3.05	3.05	3.08	0.03
40. 住民相互の連帯意識の高揚	3.78	3.75	3.70	-0.05	3.05	3.01	3.03	0.02
41. 若者の定住促進	4.22	4.11	4.12	0.01	2.69	2.71	2.71	0.00
42. イメージアップと個性あるまちづくり	3.77	3.81	3.79	-0.02	2.88	2.98	2.99	0.01
43. 人権意識の高揚	3.74	3.69	3.73	0.04	2.99	3.02	3.04	0.02
44. 近隣市町との連携によるまちづくり	3.73	3.74	3.79	0.05	3.01	3.00	3.02	0.02
平均	3.97	3.99	4.02	0.03	3.12	3.07	3.09	0.02

▶▶▶ 市民満足度調査（H23：N＝1,493、R1：N＝1,446、R6:N＝1,301）【各単数回答】
「ピンク色のセル」は、平均点よりも上位の項目。「水色のセル」は、平均点よりも下位の項目。
「黄色の項目」は、重点課題の項目（重要度が平均点よりも高く、満足度が平均点よりも低い）。
「R1→R6欄の**赤色の数字**」は、前回調査から増加した項目。「**青色の数字**」は、減少した項目。
５段階の選択肢を５点満点で採点：重要（満足）、まあ重要（満足）、どちらとも言えない、あまり重要（満足）でない、重要（満足）でない
設問の選択肢は、一部を省略して記載。

(2)散布図

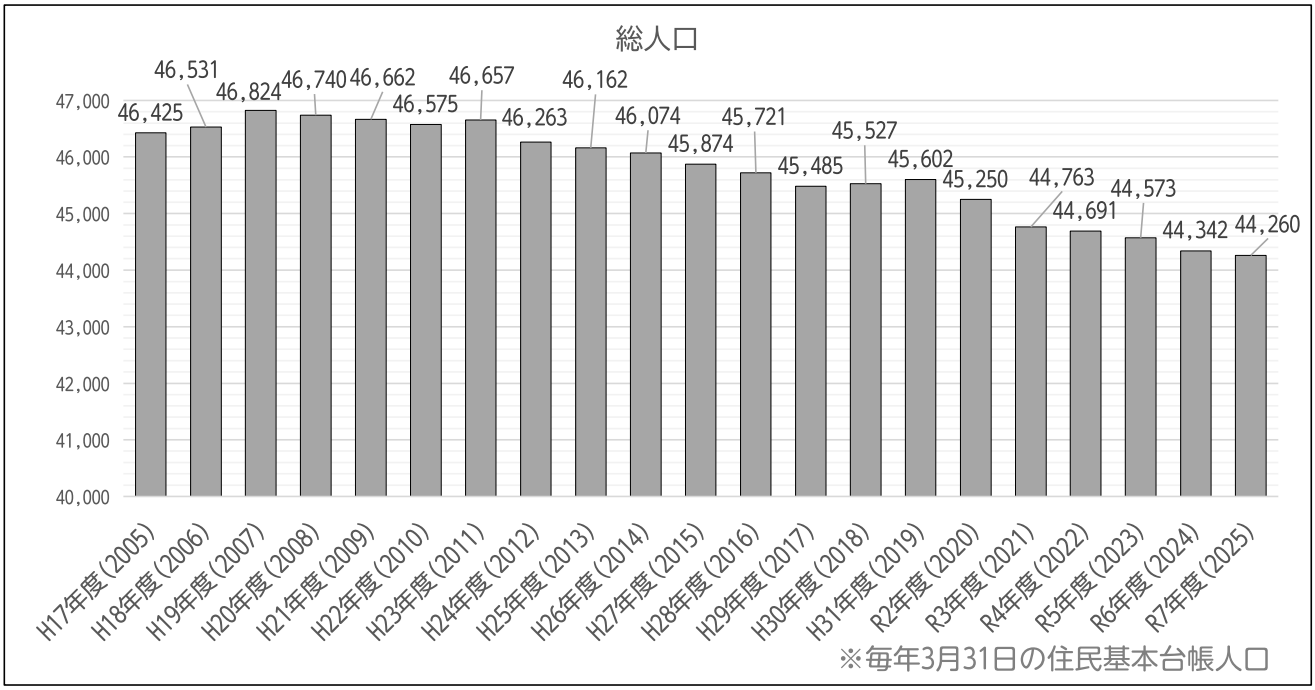


▶▶▶ 市民満足度調査（N＝1,301）【単数回答】
※■：令和６（2024）年度調査、●：令和元（2019）年度調査
※Aエリア（重要度は平均点よりも高く、満足度は平均点よりも低い）
Bエリア（重要度、満足度ともに平均点よりも低い）
Cエリア（重要度、満足度ともに平均点よりも高い）
Dエリア（重要度は平均点よりも低く、満足度は平均点よりも高い）
※５段階の選択肢を５点満点で採点：重要（満足）、まあ重要（満足）、どちらとも言えない、あまり重要（満足）でない、重要（満足）でない

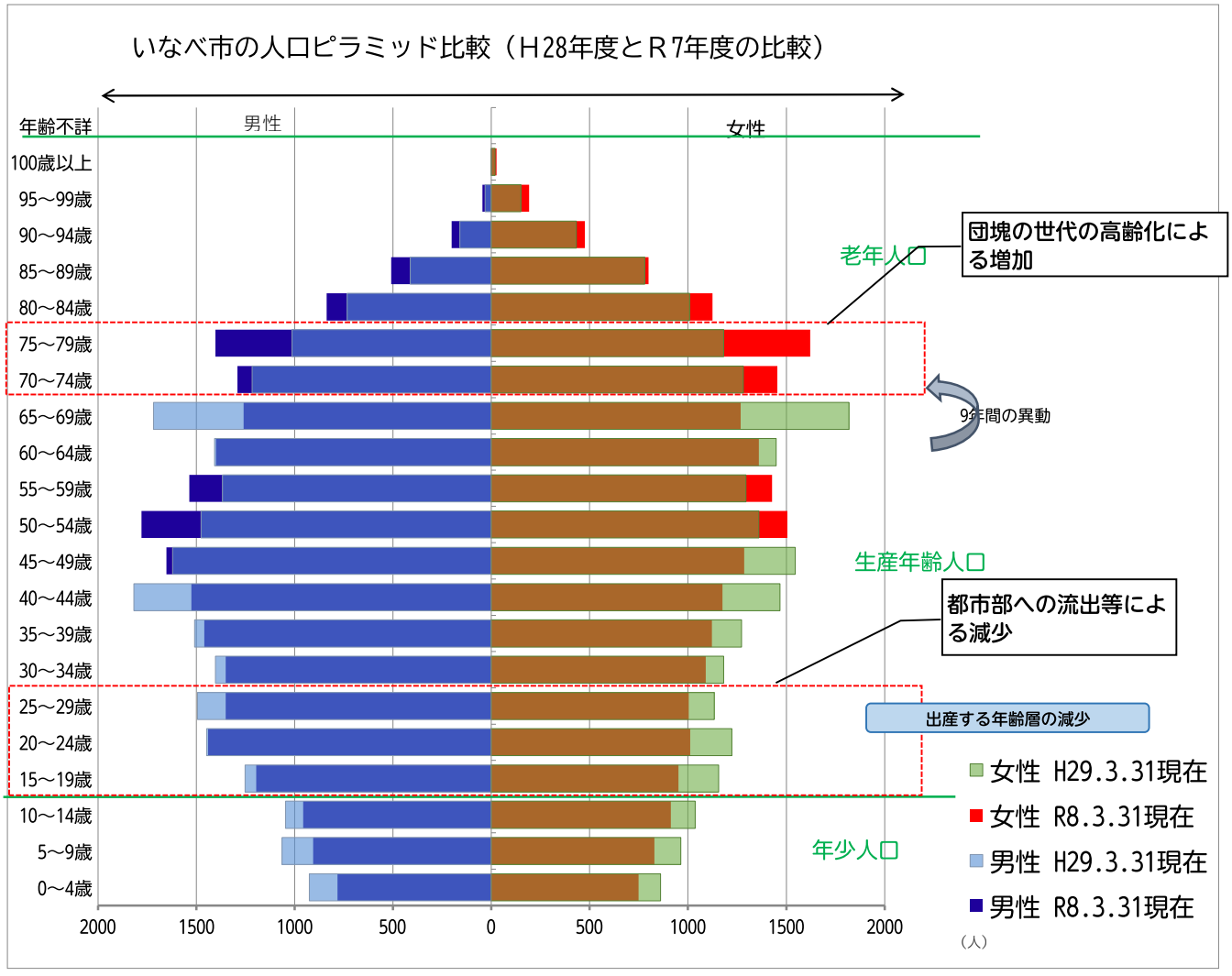
この黄色のエリアがＡエリア（重要課題）です。重要度が高く、満足度が低い。
Ａエリアに該当する施策は、施策の進捗確認シート上でも黄色に着色し、表示しています。

3　いなべ市の人口推移

〔図１〕



〔図２〕



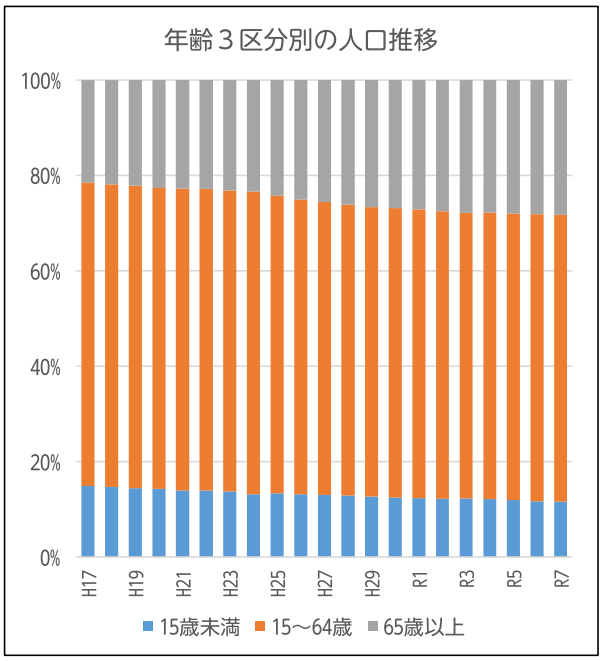
資料：住民基本台帳

4　年齢３区分別人口推移

■年齢３区分別の人口推移　〔表１〕

	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上
H17	45,326	6,757	28,853	9,716
H18	45,388	6,682	28,794	9,912
H19	45,473	6,570	28,828	10,075
H20	45,369	6,488	28,628	10,253
H21	45,299	6,348	28,642	10,309
H22	45,229	6,321	28,599	10,309
H23	45,243	6,231	28,542	10,470
H24	46,263	6,080	29,371	10,812
H25	46,162	6,175	28,801	11,186
H26	46,074	6,068	28,464	11,542
H27	45,874	5,987	28,157	11,730
H28	45,721	5,896	27,875	11,950
H29	45,485	5,773	27,596	12,115
H30	45,527	5,694	27,588	12,244
R1	45,602	5,626	27,619	12,355
R2	45,250	5,533	27,270	12,447
R3	44,763	5,491	26,823	12,449
R4	44,691	5,438	26,832	12,421
R5	44,573	5,313	26,776	12,484
R6	44,342	5,199	26,670	12,473
R7	44,260	5,135	26,617	12,508

〔図３〕



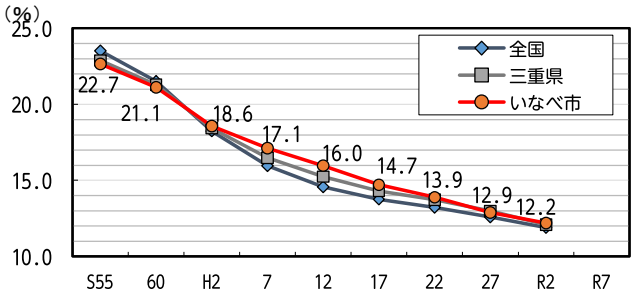
※毎年3月31日の住民基本台帳人口（総人口は年齢不詳がいる場合、合計が合致しない。）

〔表２〕

■年少人口割合の推移（国・県比較）

	全国	三重県	いなべ市
S55	23.5	22.9	22.7
60	21.5	21.3	21.1
H2	18.2	18.4	18.6
7	16.0	16.5	17.1
12	14.6	15.2	16.0
17	13.8	14.3	14.7
22	13.2	13.7	13.9
27	12.6	13.0	12.9
R2	11.9	12.1	12.2
R7			

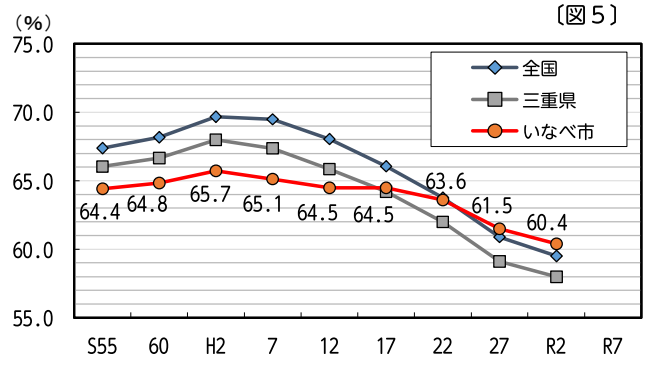
〔図４〕



■生産年齢人口割合の推移（国・県比較）　〔表３〕

	全国	三重県	いなべ市
S55	67.4	66.0	64.4
60	68.2	66.6	64.8
H2	69.7	68.0	65.7
7	69.5	67.4	65.1
12	68.1	65.9	64.5
17	66.1	64.2	64.5
22	63.8	62.0	63.6
27	60.9	59.1	61.5
R2	59.5	58.0	60.4
R7			

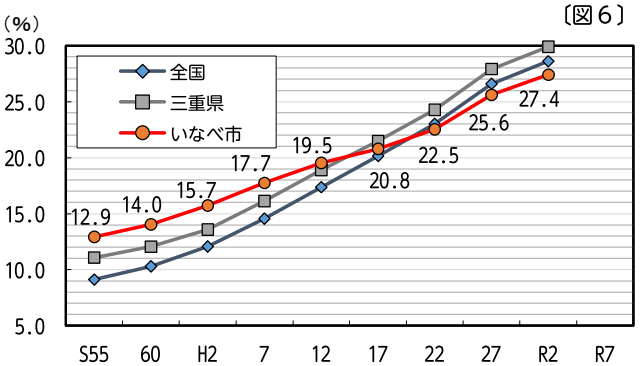
〔図５〕



■高齢人口割合の推移（国・県比較）　〔表４〕

	全国	三重県	いなべ市
S55	9.1	11.1	12.9
60	10.3	12.1	14.0
H2	12.1	13.6	15.7
7	14.6	16.1	17.7
12	17.4	18.9	19.5
17	20.2	21.5	20.8
22	23.0	24.3	22.5
27	26.6	27.9	25.6
R2	28.6	29.9	27.4
R7			

〔図６〕



資料：国勢調査

５　施策の成果指標、目標値及び実績値について

基本目標	施策	成果指標
第１章　みんなでつくるまち	1-1 市民の力で拓く未来	市民活動センター利用者数
		いなべグリーンラボ参加者数（各年）
		自治会加入世帯数（各年）
		自治会補助金の採択率（各年）
		10代有権者の投票率の増加ポイント数（前回の同種選挙との比較）
	1-2 思いやりのある人権のまちづくりの推進	人権啓発イベントや広報の実施回数
	1-3女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進	男女共同参画啓発・講座等の発信数
	1-4 広報広聴の充実	SNS発信数
		SNSフォロワー数
		Linkアンケート回答数
	1-5 広域連携による定住・移住の促進	定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率
		いなべ市の人口
	1-6 外部人材の活用による地域活性化の推進	地域おこし協力隊員数（累計）
		地域活性化起業人等数（累計）
第２章　「こどもまんなか」みんなで学ぶまち	2-1 ウェルビーイングを育む保育の推進	３歳未満児入所者数（各年）
	2-2 地域における子育て支援の充実	ファミリーサポートセンター会員数（各年）
		子育て支援センター利用者数（各年延べ）
		こども食堂運営補助金活用団体数
		養育費公正証書等作成補助金交付申請件数
	2-3 子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実	個別療育を受ける子どもの数（実人数）
		医療連携会議で支援を検討した子どもの数（実人数）
	2-4 要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進	家庭児童相談室職員の家庭訪問回数（各年延べ）
	2-5 子どもと母親の健康の確保	こんにちは赤ちゃん訪問率（各年）（訪問した赤ちゃんの数／出生数）
		妊娠８か月教室の満足度５（最高点）の割合

単位	目標値					
	実績値					
	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
人	955	960	965	970	975	980
	1,417					
人	700	720	740	760	780	800
	657					
世帯	10,800	11,300	11,300	11,300	11,300	11,300
	11,322					
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	100.0					
%	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	4.90					
回	40	42	44	46	48	50
	50					
回	16	20	24	28	32	36
	16					
件	190	195	200	205	210	215
	131					
件	12,500	13,500	14,500	15,500	16,500	17,500
	12,231					
件	175	180	185	190	195	200
	321					
%	-	80	83	86	89	92
	77.7					
人	44,380	44,104	43,828	43,552	43,276	43,000
	44,095					
人	71	74	77	80	83	86
	70					
人	46	52	58	64	70	76
	56					
人	266	233	254	248	242	242
	275					
人	485	485	485	485	485	485
	515					
人	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000
	28,938					
箇所	7	9	10	11	11	11
	8					
件	4	5	6	7	8	9
	3					
人	40	40	40	40	40	40
	35					
人	60	60	60	60	60	60
	79					
人	450	450	450	450	460	460
	447					
%	100	100	100	100	100	100
	98.6					
%	75.0	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0
	72.8					

基本目標	施策	成果指標
第２章「こどもまんなか」みんなで学ぶまち	2-6 ウェルビーイング溢れる学校の創造	不登校に関する研修会参加者数（各年）
		特別支援教育に関する研修会参加者数（各年）
		中学３年生の他者を尊重し協働する力（肯定的回答生徒数／総生徒数）
		中学３年生の学びに向かう主体性（肯定的回答生徒数／総生徒数）
		研修会参加者が受講内容を授業や校務で役立っていると回答している割合（各年）
	2-7 学校教育環境の充実	中学３年生の社会参画への意思（肯定的回答生徒数／総生徒数）
	2-8 学校環境整備の充実	小学校特別教室空調設備設置率（校舎）
		多機能トイレ設置数（校舎及び体育館30か所）
	2-9 総合的なスポーツの推進	スポーツイベント参加者数（各年延べ）
		ニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数（各年延べ）
		スポーツ施設年間利用者数（各年延べ）
	2-10 歴史文化・芸術の充実	市民祭作品出展者数（各年延べ）
		市民祭舞台発表出演者数（各年延べ）
		郷土資料館入場者数
	2-11 自然環境の保全･充実	市ホームページ内「いなべ市の自然」の各ページのアクセス件数（各年延べ）
		自然教室参加者（科学館+屋根）アンケート満足度調査で「大変よかった・よかった」の割合
	2-12 青少年の夢を育む地域づくりの推進	青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数（各年延べ）
	2-13 生涯学習の充実	生涯学習講座参加者数（各年延べ）
		文化施設利用者数（各年）
		インターネットを利用した図書館書籍予約件数（各年延べ）
		図書館の貸出利用登録者数（各年）
第３章 いまもいつまでも笑顔で暮らせるまち	3-1 地域医療体制の充実	病院群輪番制病院の救急車搬送件数
		病院群輪番制参加病院の研修医を除く常勤医師数（各年）
		奨学金の貸付者数（累計）
	3-2 生涯を通じた健康づくりの推進	大腸がんの要精密検査の受診率（要精密検査受診者数／要精密検査対象者数）
		大腸がん検診受診率（受診者数／受診対象者数）（各年）
		MR（麻疹、風疹混合ワクチン）２期の接種率（接種者数／接種対象者数）（各年）
		健康増進事業に参加する市民の数（各年延べ）

単位	目標値					
	実績値					
	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
人	50	50	50	55	55	60
	45					
人	219	220	220	230	230	240
	218					
%	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	97.5					
%	85.7	90.0	90.0	92.0	92.0	94.0
	85.7					
%	100	100	100	100	100	100
	99					
%	85.2	88.0	88.0	90.0	90.0	92.0
	85.2					
%	45	45	54	54	63	63
	36					
件	24	25	26	27	28	29
	22					
人	1,100	1,130	1,160	1,190	1,220	1,250
	1,012					
人	900	910	920	930	940	950
	1,160					
人	250,000	250,500	251,000	251,500	252,000	252,500
	223,564					
人	420	425	430	435	440	445
	319					
人	575	580	585	590	595	600
	458					
人	2,700	2,710	2,720	2,730	2,740	2,750
	2,961					
件	17,800	17,900	18,000	18,100	18,200	18,300
	20,602					
%	70	72	74	76	78	80
	50.4					
人	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600	7,650
	6,312					
人	1,000	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200
	917					
人	110,000	111,000	112,000	113,000	114,000	115,000
	102,207					
件	4,300	4,350	4,400	4,450	4,500	4,550
	4,287					
人	12,100	12,200	12,300	12,400	12,500	12,600
	10,921					
件	1,200	1,210	1,220	1,230	1,240	1,250
	1,156					
人	25	25	25	25	25	25
	24					
人	28	29	30	31	32	33
	27					
%	75.0	76.0	76.0	77.0	77.0	78.0
	81.0					
%	16.0	16.1	16.2	16.3	16.4	16.5
	15.0					
%	95.0	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0
	92.1					
人	2,380	2,390	2,400	2,410	2,420	2,430
	2,447					

基本目標	施策	成果指標
第3章 いつまでも笑顔で暮らせるまち	3-3 高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進	地域包括支援センターにおける総合相談件数（各年延べ）
		在宅医療・介護連携研修会の参加者数
		健康不明者訪問数
		認知症サポーター数（累計）
		見守りネットワーク協力団体数（各年）
		認知症高齢者等SOSネットワーク新規登録者数（各年）
		元気リーダーコース参加者数（累計）
		シルバー人材センター登録会員数（各年）
	3-4 高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進	介護認定率（年度末現在）
		介護（予防）サービス給付件数（各年延べ）
		介護に関する入門的研修の修了者数
	3-5 地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進	相談支援件数（各年延べ）
		障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）
	3-6 地域の助け合いによる福祉の充実	民生委員から地域包括支援センターへの相談件数（各年延べ）
	3-7 社会保障制度の健全で円滑な運用	特定健康診査受診率（各年）（受診者数／40～74歳の被保険者数）
		健康診査受診率（各年）（受診者数／被保険者数）
		福祉医療費の助成額（各年）
		年金相談件数（各年延べ）
	3-8 適切な生活保護制度の推進	就労支援対象者への支援実施率
		生活困窮者自立支援事業における相談件数（各年延べ）
第4章 安心・安全なまち 自然と調和した快適で	4-1 公共交通の充実	北勢線利用者数（各年延べ）
		福祉バス利用者数（各年延べ）
	4-2 快適な道路網の充実	歩道の設置延長（累計）
		関係機関（国、県）への要望活動回数
	4-3 暮らしを支える上水道の充実	基幹管路耐震化率
		重要給水施設管路耐震化率
		上水道の有収率（年間の有収水量／年間の配水量）（各年）
		料金回収率

単位	目標値					
	実績値					
	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
件		6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
	6,261					
人	420	450	450	470	470	500
	487					
件	35	35	33	33	33	30
	38					
人	10,900	11,000	11,300	11,400	11,600	11,800
	11,020					
団体	360	365	370	375	380	385
	342					
人	25	25	25	30	30	30
	31					
人	45,000	45,500	46,000	46,500	47,000	47,500
	43,978					
人	685	685	685	690	690	695
	660					
%	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	16.3					
件	48,000	48,500	49,000	49,500	50,000	50,551
	48,375					
人	14	15	15	18	18	20
	17					
件	16,500	16,700	16,900	17,100	17,300	17,500
	15,905					
人	7,460	7,650	7,750	7,850	7,950	8,050
	7,544					
件	215	220	225	230	235	240
	189					
%	57.00	57.20	57.40	57.60	57.80	58.00
	56.00					
%	47.00	47.01	47.02	47.03	47.04	47.05
	44.60					
千円	325,000	325,200	325,400	325,800	325,600	327,000
	335,188					
件	8,300	8,320	8,330	8,340	8,350	8,360
	8,360					
%	100	100	100	100	100	100
	100					
件	122	122	125	125	130	130
	97					
人	2,210,000	2,215,000	2,220,000	2,225,000	2,230,000	2,235,000
	2,234,586					
人	80,000	80,100	80,200	80,300	80,400	80,500
	80,690					
m		100	200	280	360	440
	0					
回	8	8	8	8	8	8
	8					
%	11.7	11.7	12.0	12.2	12.5	12.8
	11.7					
%	1.8	1.8	2.3	2.7	3.2	3.7
	1.8					
%	82.4	82.6	82.8	83.0	84.0	85.0
	78.8					
%	98.00	98.00	98.00	100	100	100
	88.80					

基本目標	施策	成果指標
第４章 自然と調和した快適で安心・安全なまち	4-4 美しい水環境の創出	下水道の有収率（各年）（年間の有収水量／総汚水処理水量）
		経費回収率（農集）
		経費回収率（公共）
	4-5 環境にやさしいまちづくりの推進	もえるごみの処理量（各年延べ）
		粗大ごみ場に搬入されたごみの処理量（各年延べ）
		し尿処理量（各年延べ）
		資源ごみの搬入量（各年延べ）
		コンポストの利用者数（累計）
		不法投棄処理件数（各年）
		斎場利用者からの苦情件数（各年）
		水素ガス充填回数（各年）
		重点対策加速化事業による温室効果ガス削減量（累計）
	4-6 みどり豊かなまちづくりの推進	いなべ公園内の整備が必要な樹木数
		花づくり団体数（各年）
	4-7 良好な居住環境づくりの推進	除却工事戸数（各年）
		市営住宅入居率（各年）
		空き家相談件数（各年）
	4-8 秩序ある土地利用の推進	市街化区域及び用途地域の宅地化率
	4-9 安全で安心な防災対策の推進	非常食の備蓄数（各年）
		防災講演受講者数（各年延べ）
		避難行動要支援者制度実施自治会数
		消防団員数（各年）
		消防団協力企業数（各年）
		護岸整備河川数（累計）
		河道掘削河川数（累計）
	4-10 交通事故のない安全なまちづくりの推進	グリーンベルト（通学路）の設置延長（累計）
		交通事故発生件数
	4-11 被害を未然に防ぐまちづくりの推進	刑法犯認知件数（いなべ警察署管轄内）
		消費者相談解決率（各年延べ）（消費者相談解決件数／消費者相談件数）

単位	目標値					
	実績値					
	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
%	81.3	81.5	81.7	81.9	82.1	82.3
	82.1					
%	40.00	41.00	42.00	43.00	44.00	45.00
	41.56					
%	100	100	100	100	100	100
	100					
t	10,400	10,350	10,300	10,250	10,200	10,150
	10,527					
t	1,900	1,895	1,890	1,885	1,880	1,875
	2,060					
t	6,805	6,800	6,795	6,790	6,785	6,780
	6,351					
t	650	655	660	665	670	675
	571					
人	2,950	2,965	2,980	2,995	3,010	3,025
	2,950					
件	29	28	27	26	25	24
	25					
件	0	0	0	0	0	0
	0					
回	80	90	100	120	120	120
	108					
t-CO･	1,630	2,445	3,260	4,075	4,075	4,075
	1,327					
本	600	550	500	450	400	350
	200					
団体	20	23	24	25	26	27
	17					
戸	15	15	15	15	15	15
	15					
%	100	100	100	100	100	100
	100					
件	158	160	165	170	175	180
	164					
%	69.9	70.0	70.1	70.2	70.3	70.4
	70.0					
食	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500
	32,500					
人	860	880	920	960	1,000	1,040
	775					
自治会	60	62	64	66	68	70
	63					
人	322	322	327	327	327	327
	316					
社	28	29	30	31	32	33
	28					
河川	-	3	6	8	10	12
	5					
河川	-	2	4	6	8	10
	6					
m	-	600	1,200	1,800	2,400	3,000
	1,100					
件	1,086	1,053	1,021	990	960	931
	1,121					
件	300	297	294	291	288	285
	367					
%	100	100	100	100	100	100
	96.5					

基本目標	施策	成果指標
第５章「にぎわい・愛着」創生のまち	5-1 「にぎわい・愛着」創生のまち	農地集積率（各年）（担い手の利用面積／農地面積）
		家畜ふん尿堆肥散布面積（各年）
		そば祭り入場者数（各年）
		水稲、小麦の獣害被害額（各年）
		補助・起債事業を活用した工事発注箇所数（災害除く）
		危険木撤去団体数（各年延べ）
		森林整備実施面積（累計）
	5-2 企業誘致による産業振興と雇用促進	企業面談件数（各年）
		公共による産業用地の開発面積（累計）
	5-3 にぎわいのある商工業の振興	商工会への加入団体数（各年）
		創業相談件数（各年延べ）
	5-4 魅力ある観光地づくりの推進	観光レクリエーション入込客数（各年）
		にぎわいの森来場者数
		ツアー・オブ・ジャパン観客動員数（各年）
第６章総合的取組事項	6-1 グリーンクリエイティブいなべの推進	にぎわいの森来場者数
	6-2 フェアトレードタウンいなべの促進	フェアトレード商品取扱店舗数
	6-3 ＳＤＧｓ未来都市いなべの推進	SDGs実践取組事業者数
		SDGs推進パートナー数（累計）
	6-4 チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進	CO2排出量
	6-5 元気みらい都市いなべの推進	健康寿命の延伸（平均寿命に占める割合）

単位	目標値					
	実績値					
	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
%	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
	81.0					
ha	283	284	285	286	287	288
	295					
人	10,300	10,500	10,600	10,700	10,800	11,000
	11,000					
千円	4,400	4,200	4,000	3,800	3,600	3,400
	850					
箇所	4	6	6	6	6	6
	7					
団体	40	40	40	40	40	40
	34					
ha	20	40	60	80	100	120
	15					
件	15	15	15	15	15	15
	13					
ha	－	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0
	7.0					
団体	980	983	986	990	993	996
	980					
件	65	65	65	65	65	65
	90					
人	592,000	593,000	594,000	595,000	596,000	597,000
	670,776					
人	340,000	345,000	350,000	355,000	360,000	365,000
	408,936					
人	19,000	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500
	19,000					
人	340,000	345,000	350,000	355,000	360,000	365,000
	408,936					
店舗	38	39	40	41	42	43
	38					
者	170	175	180	185	190	195
	101					
団体	42	45	48	51	54	57
	40					
t-CO・	13,050	12,180	11,310	10,440	9,570	8,700
	12,954					
%	男 97.1	97.2	97.3	97.4	97.5	97.6
	97.1					
	女 94.0	94.1	94.2	94.3	94.4	94.5
	94.0					

6　審議事項

（1） 定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率〈単位：%〉
担当部署：企画部　政策課
総合計画Ｐ65

【修正前】　施策の進捗管理において、4段階評価（Ａ～Ｄ）で、Ａ（進んだ）、Ｂ（ある程度進んだ）の割合。

第２次実績値(年度)※令和7は目標値					第３次目標値(年度)				
令和３(2021)	令和４(2022)	令和５(2023)	令和６(2024)	令和７(2025)	令和８(2026)	令和９(2027)	令和10(2028)	令和11(2029)	令和12(2030)
-	-	-	-	-	60	63	66	69	72

【修正後】　施策の進捗管理において4段階評価（Ａ～Ｄ）で、Ａ（進んだ）の割合。

第２次実績値(年度)※令和7は目標値					第３次目標値(年度)				
令和３(2021)	令和４(2022)	令和５(2023)	令和６(2024)	令和７(2025)	令和８(2026)	令和９(2027)	令和10(2028)	令和11(2029)	令和12(2030)
-	-	-	-	-	80	83	86	89	92

概要説明
　定住自立圏共生ビジョンの実績は、いなべ市と東員町の２市町が32施策35のKPI（重要業績評価指標Ｒ２年度64.70%、Ｒ３年度67.64%、Ｒ４年度73.52%、Ｒ５年度76.47%）を参考として設定しましたが、Ｒ７年度から３市町（菰野町を含む。）の新たなビジョン（18施策）の実績を確認し、修正するものです。

（2） 地域包括支援センターにおける総合相談件数（各年延べ）〈単位：件〉
担当部署：福祉部　長寿福祉課
総合計画Ｐ96

【修正前】

第２次実績値(年度)※令和7は目標値					第３次目標値(年度)				
令和３(2021)	令和４(2022)	令和５(2023)	令和６(2024)	令和７(2025)	令和８(2026)	令和９(2027)	令和10(2028)	令和11(2029)	令和12(2030)
3,471	3,923	3,573	3,370	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000

【修正後】

第２次実績値(年度)※令和7は目標値					第３次目標値(年度)				
令和３(2021)	令和４(2022)	令和５(2023)	令和６(2024)	令和７(2025)	令和８(2026)	令和９(2027)	令和10(2028)	令和11(2029)	令和12(2030)
3,471	3,923	3,573	3,370	3,500	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500

概要説明
　当初は本庁の地域包括支援センターの相談件数で目標値を設定していましたが、いなべ総合病院及び日下病院にも委託をしているため、この２支所の相談件数を含めた実績を確認し、修正するものです。

（3） 就労及び就労のための準備訓練等を行った被保護者の人数〈単位：人〉
担当部署：福祉部　生活支援課
総合計画Ｐ106

【修正前】

就労及び就労のための準備訓練等を行った被保護者の人数　　単位:人

第２次実績値（年度）※令和7は目標値					第３次目標値（年度）				
令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和８（2026）	令和９（2027）	令和10（2028）	令和11（2029）	令和12（2030）
14	16	11	19	20	22	24	24	26	27

【修正後】

就労支援対象者への支援実施率（%）　　単位:%

第２次実績値（年度）※令和7は目標値				第３次目標値（年度）					
令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和８（2026）	令和９（2027）	令和10（2028）	令和11（2029）	令和12（2030）
				100	100	100	100	100	100

概要説明
　対象者数の増減に左右されない指標とするため、「就労及び就労のための準備訓練を行った被保護者の人数」から「就労支援対象者への支援実施率（%）」に修正するものです。

7　目標達成率の算出方法と達成率の判定基準

第３次いなべ市総合計画では、以下のとおり目標達成率を算出し、達成度をＡ～Ｄで判定します。
第３次いなべ市総合計画の前期基本計画期間は、令和８年度から令和12年度までになります。
令和８年度は、施策を実施中にあり、達成度判定は、令和９年度の進捗管理からになります。

(1) 目標達成率の算出方法

目標達成率は、各年度の実績値を各年度の目標値で割って算出しています。
ただし、目標項目が減少を目指すものである場合には、目標値を実績値で割って算出しています。

※１　目標達成率（プラス指標）　＝　実績値　／　目標値　×　100

（例）目標値が130、実績値が120の場合
＝　120／130×100　＝　92.3%　（小数点第二位を四捨五入）

※２　目標達成率（マイナス指標）　＝　目標値　／　実績値　×　100

(2) 目標達成率の判定基準

①各年度における達成状況を市民の皆様に分かりやすくお示しするため、プロジェクトごとの基本目標や、個別事業のＫＰＩの達成状況、取り組み実績等をもとに、達成度をＡ～Ｄで判定し、その理由を記載しています。

②Ａ～Ｄの判定は、次の表の考え方を目安としています。

※なお、期間が到来していない事業及び指標の性質上、目標値を設定していない事業は、判定不能としています。

目標達成率	判定基準	判定
100%以上	進んだ	A
85%以上100%未満	ある程度進んだ	B
70%以上85%未満	あまり進まなかった	C
70%未満	進まなかった	D
－	判定不能	－

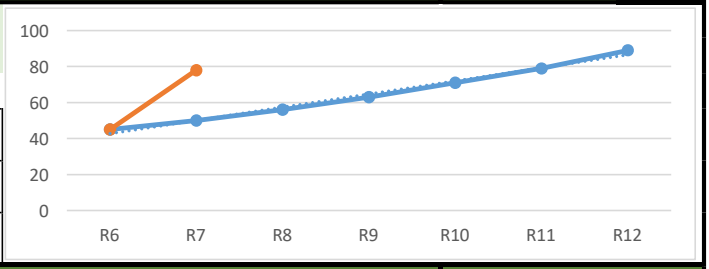
8　いなべ市総合計画・総合戦略ＫＧＩ

1　若者や女性に選ばれる魅力的な暮らしの創生　　総計　P 159

KGI　15 歳から49 歳までの若者の年間純移動数〈単位：人〉

担当部署　企画部政策課

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		50	56	63	71	79	89
実績値	45	78					

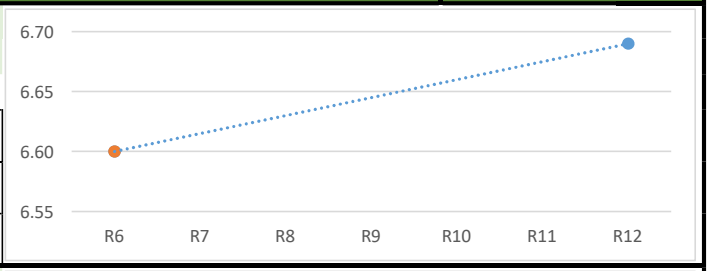


2　安心で快適な生活環境の創生　　総計　P 166

KGI　市民幸福度（10点満点）　一般市民〈単位：点〉

担当部署　企画部政策課

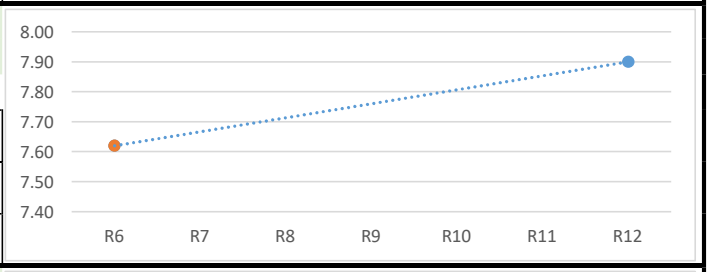
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値							6.69
実績値	6.60						



KGI　市民幸福度（10点満点）　中学生〈単位：点〉

担当部署　企画部政策課

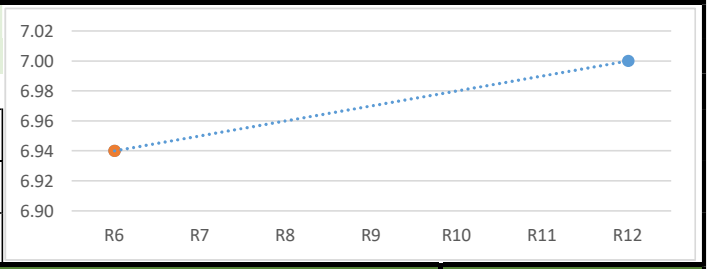
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値							7.90
実績値	7.62						



KGI　市民幸福度（10点満点）　高校生〈単位：点〉

担当部署　企画部政策課

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値							7.00
実績値	6.94						

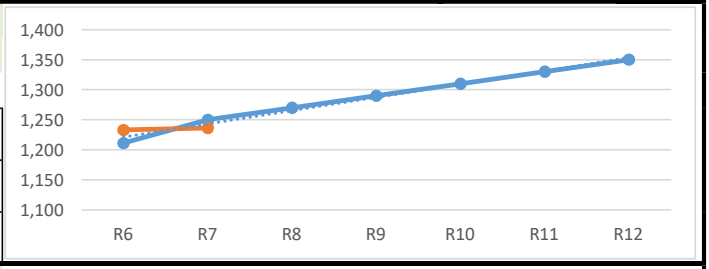


3　稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい地方経済の創生　　総計　P 172

KGI　事業所数〈単位：事業所〉
※法人税均等割納税義務者数（総務部市民税課）

担当部署　農林商工部商工観光課

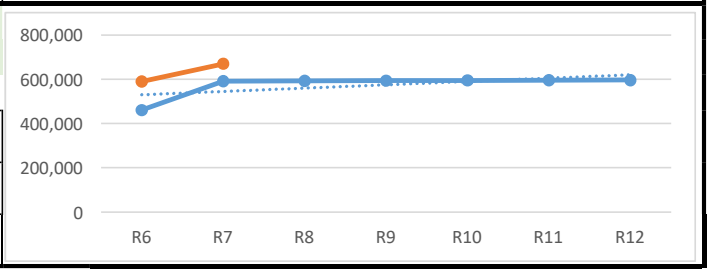
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1,211	1,250	1,270	1,290	1,310	1,330	1,350
実績値	1,233	1,236					



KGI　観光レクリエーション入込客数〈単位：人〉

担当部署　農林商工部商工観光課

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	461,000	592,000	593,000	594,000	595,000	596,000	597,000
実績値	590,699	670,776					



施策の取組経過報告の見方

施策

1-5 広域連携による定住・移住の促進

現状・課題

●市民満足度調査において、「いなべ市への誇りや愛着を感じている」割合は、減少傾向となっています。一方で、中学生、高校生調査においては、大幅な増加傾向となっています。

●交流人口の拡大とともに、新たな雇用機会の創出や地域の魅力向上によって、地域コミュニティの活性化へとつなげることが必要です。

●地域おこしに携わる人や特徴のある場所を、市町や分野を越えて人と人をつなぐことで、定住、移住、交流を促進させることが必要です。

5年後のいなべ市の姿（施策の目的）

●地方創生による拠点整備や東海環状自動車道の開通により、観光をはじめとする交流人口が増加し、地域の人々と多様に関わる関係人口の創出が推進されています。

基本事業

基本事業1｜広域連携による定住・移住の促進

事業内容

●行政サービスを持続的に提供していくために、他の地方公共団体と公共施設の集約化や複合化等、連携・協力して圏域全体の生活機能を確保し、定住・移住を促進します。

主な事業

●定住自立圏構想推進事業
●桑名・員弁広域連合事業
●移住・定住促進事業

成果指標

定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率　単位：%

第2次実績値（年度）※令和7は目標値					第3次目標値（年度）				
令和3（2021）	令和4（2022）	令和5（2023）	令和6（2024）	令和7（2025）	令和8（2026）	令和9（2027）	令和10（2028）	令和11（2029）	令和12（2030）
-	-	-	-	-	60	63	66	69	72

※定住自立圏共生ビジョン施策指標の20施策の内、施策の進捗管理において4段階評価（A～D）で、A（進んだ）、B（ある程度進んだ）の割合。

いなべ市の人口　単位：人

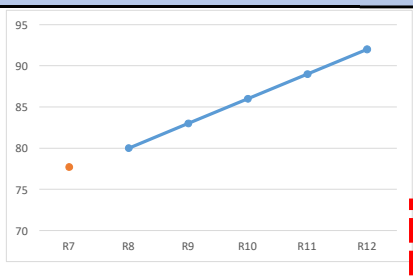
第2次実績値（年度）※令和7は目標値					第3次目標値（年度）				
令和3（2021）	令和4（2022）	令和5（2023）	令和6（2024）	令和7（2025）	令和8（2026）	令和9（2027）	令和10（2028）	令和11（2029）	令和12（2030）
45,250	44,763	44,691	44,656	44,380	44,104	43,828	43,552	43,276	43,000

施策	1-5広域連携による定住・移住の促進
基本事業1	広域連携による定住・移住の促進

KPI　定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率〈単位：%〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		80	83	86	89	92
実績値	77.7					
増減率（%）						



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

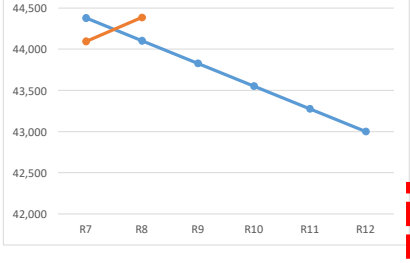
〇令和7年度の定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率は、77.7%となった。
※18施策中、100%以上のA判定は14施策

●●●●●●●●

KPI　いなべ市の人口〈単位：人〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	44,380	44,104	43,828	43,552	43,276	43,000
実績値	44,095	44,386				
増減率（%）	-0.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年のいなべ市の人口（国調）は、令和２年（国調）と比較し、2.0%減の878人減少した。
※県内は、4.3%減少
※減少率は、県内3番目に少ない。
※市の施策により一定の効果

〇令和８年７月住基台帳44,386人

●●●●●●●●

総合計画の施策は、まちづくりの目標（政策）を実現するための「取組方針」です。
施策の実現に向けて、「現状・課題」を確認するとともに、「５年後のいなべ市の姿（施策の目的）」を目指しています。

施策を実現するために必要な基本事業名と、具体的な内容を記載しています。
基本事業推進するために実施する「事務事業」のうち、主な事業を記載しています。

施策や事業の達成度を「数値」で測るため、それぞれの施策にKPI（重要業績評価指標）を定め、目標を「見える化」しています。

前年度の施策の「実績、要因分析等」を受けて、「課題」を整理すると共に、「今後の方向性・改善措置等」を明確化し、年度末にその「経過報告・達成状況」の進捗を毎年確認し、５年後のいなべ市の姿を目指します。

施策評価	市民満足度調査　A,Bエリア（41,44）　重要度：低～高×満足度：低

企画部　政策課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
個別の具体的な連携事業ごとに見た場合に、進捗や効果にばらつきが生じていないかを精査する必要がある。 広域連携の成果が、構成する全ての地域の住民に対して均等に還元され、実感できているかを検証することが求められる。		今後は、連携自治体との協議をさらに緊密にし、事業の質の向上と効率化を図る。 現在の取組の認知度向上に向けた広報活動を強化する。

企画部　政策課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
社会動態（転入、転出の差）は、ここ数年増加傾向にある。 自然動態（出生から死亡の差）は、ここ数年200人～300減少、出生数は300人台が250人前後と減少で推移している。 若年女性人口の減少に課題がある。		空き家対策、地域産業の活性化など、国、県の施策を活用しながら、部局を超えた連携を図り、関係人口の創出を目指す。

9　施策の取組経過報告

基本目標　みんなでつくるまち

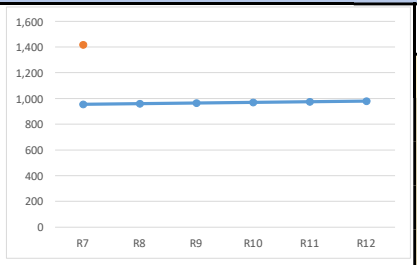
施策　1-1市民の力で拓く未来

基本事業1　市民参画と協働の推進　　総計　P 60

KPI　市民活動センター利用者数〈単位：人〉

担当部署　企画部　市民活動室

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	955	960	965	970	975	980
実績値	1,417					
増減率（%）	48.3					



令和７年度実績※要因分析
令和８年度経過報告・達成状況

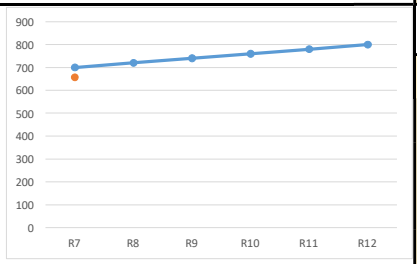
〇令和７年度の市民活動センター利用者数は、1,417人と目標値を462人上回った。
※要因は、明確な目的に至る前の相談が増え、小さな拠点となりつつあるため。

〇令和８年度６月末においては、374人の利用者となっている。

KPI　いなべグリーンラボ参加者数（各年）〈単位：人〉

担当部署　都市整備部　新産業創造課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	700	720	740	760	780	800
実績値	657					
増減率（%）	-6.1					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のいなべグリーンラボ参加者数は、657人と目標値を43人下回った。

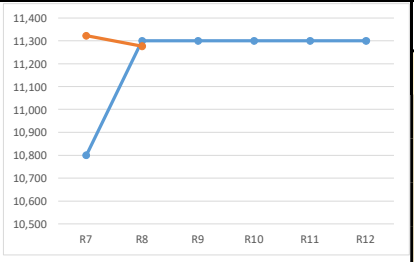
〇「自然機能を活用する」というグリーンインフラの理念を、多くの参加者に伝えることができた。

基本事業2　コミュニティ組織の強化支援　　総計　P 60

KPI　自治会加入世帯数（各年）〈単位：世帯〉

担当部署　総務部　総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	10,800	11,300	11,300	11,300	11,300	11,300
実績値	11,322	11,277				
増減率（%）	4.8					



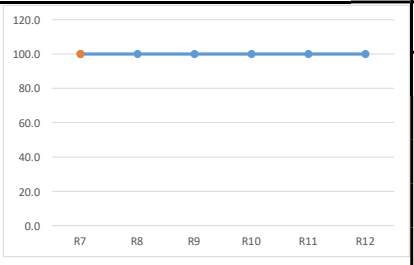
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の自治会加入世帯数は、11,322世帯と目標値を522世帯上回った。
※要因は、人口減少の中でも世帯数の増加が続いていることと自治会による加入活動の成果だと考えられる。
〇令和8年6月時点で自治会加入世帯数の実績値は11,277世帯で、目標値を23世帯下回っている。

KPI　自治会補助金の採択率（各年）〈単位：%〉

担当部署　総務部　総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の自治会補助金の採択率は100%（申請12/交付12）と、目標値を達成した。

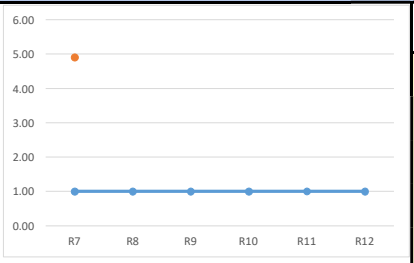
〇令和８年７月現在、採択率は100%（申請7/交付決定7）となっている。

基本事業3　選挙への意識向上　　総計　P 61

KPI　10代有権者の投票率の増加ポイント数（前回の同種選挙との比較）〈単位：ポイント（%）〉

担当部署　総務部　総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
実績値	4.90					
増減率（%）	390.0					



令和８年度の達成状況：

〇令和７年度の10代有権者の投票率の増加ポイント数（前回の同種選挙との比較）は、4.90ポイントと目標値を3.90ポイント上回った。
（前回同種選挙の平均43.54%から48.44%へと上昇し、4.90ポイント増加）
※要因は、全世代的な政治的関心の高まりがあり投票率が大きく増加した。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（39、40）　重要度：低×満足度：低

企画部　市民活動室

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市民活動センターの認知度向上・周知の拡大、多様なプログラムの充実、他機関との協働と情報発信強化などが課題として挙げられる。		市民活動センターの認知度向上に向け、SNSや広報誌等を活用した周知活動を強化するとともに、利用者ニーズを踏まえた多様なプログラムの充実を図る。

都市整備部　新産業創造課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
野外イベントのため、天候の影響により参加者数が変動する。 川辺や火を扱うイベントであることから、運営スタッフ（ボランティアスタッフ）に対して安全管理研修の受講を義務づけており、運営スタッフの確保が難しく、開催会場にも限りが生じている。		イベントの内容や効率的な動線を検討し、参加者が飽きないよう工夫を凝らしながら、安全を最優先にイベントを開催する。 令和８年度は９月に２日間開催。

総務部　総務課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
日本では人口減少や高齢化が続き、いなべ市においても世帯数は頭打ちになりつつある。 自治会への加入を希望しない世帯の増加もあって、いなべ市では令和５年をピークに自治会加入世帯数の減少が始まっているため、厳しい環境下にある。		自治会への支援（いなべ市地域振興等事業委託料、自治会補助金等）や助言を継続することで、自治会加入世帯数の維持に努める。

総務部　総務課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
予算範囲内でしか補助金交付はできないため、自治会のニーズを早めに把握し、必要な予算を確実に確保する必要がある。		自治会と連携を深めることで、前年度に自治会要望いただくよう徹底し、当初予算において必要な予算を確保することで、採択率100％の維持に努める。

総務部　総務課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和７年度において、全世代的な政治的関心の高まりがあったことで、10代有権者の投票率も大きく増加した。その影響により、今後の目標達成には、より高い数値が求められるため、より積極的な啓発活動を行う必要がある。		令和８年度は、選挙執行が予定がないため、令和９年度執行予定の選挙に向けた啓発実施に努める。 10代有権者に集中して、より積極的な啓発活動を行うことで、投票率が増加するよう努める。

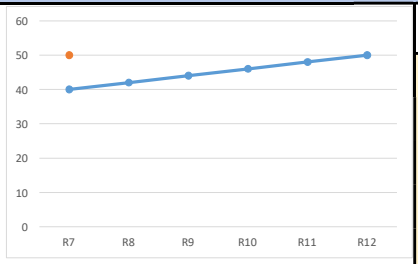
施策　1-2思いやりのある人権のまちづくりの推進

基本事業1　人権が尊重される社会の推進　　総計　P62

KPI　人権啓発イベントや広報の実施回数〈単位：回〉

担当部署　福祉部　人権福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	40	42	44	46	48	50
実績値	50					
増減率（%）	25.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の人権啓発イベントや広報の実施回数は、50回と目標値を10回上回った。
※要因は、下記の啓発による。
啓発：メシェレいなべと連携地域交流活動22回／人権擁護委員と街頭啓発1回／人権啓発活動展示1回／広報紙15回／ホームページ4回／SNS発信5回／チラシ挟込／2回

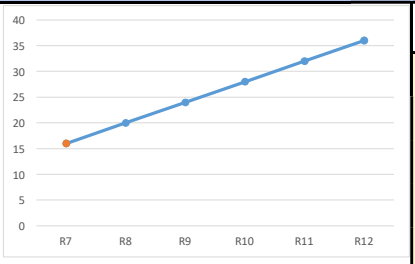
施策　1-3女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進

基本事業1　男女共同参画の推進　　総計　P63

KPI　男女共同参画啓発・講座等の発信数〈単位：回〉

担当部署　福祉部　人権福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	16	20	24	28	32	36
実績値	16					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の男女共同参画啓発・講座等の発信数は、16回と目標値を達成した。
三重県内男女共同参画連携映画祭をいなべ市会場で開催／「女性に対する暴力をなくす運動期間（11.12～25）」、にぎわいの森にパープルイルミネーションを設置／〇広報誌に「アンコンシャスバイアス」の特集記事を掲載する等、市ホームページやSNS発信等、合計16回の啓発活動を実施

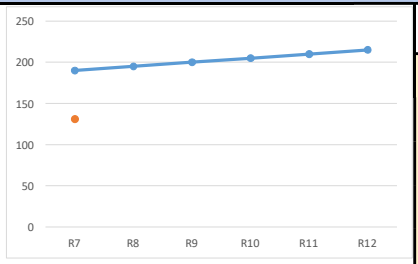
施策　1-4広報広聴の充実

基本事業1　広報広聴の充実　　総計　P64

KPI　SNS発信数〈単位：件〉

担当部署　企画部　広報秘書課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	190	195	200	205	210	215
実績値	131					
増減率（%）	-31.0					



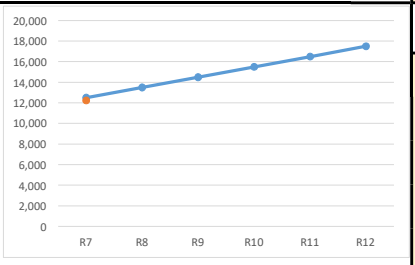
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和7年度のSNS発信数は、131件と目標値を59件下回った。
※要因は、素材集約の遅れにある。

KPI　SNSフォロワー数〈単位：件〉

担当部署　企画部　広報秘書課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	12,500	13,500	14,500	15,500	16,500	17,500
実績値	12,231					
増減率（%）	-2.1					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

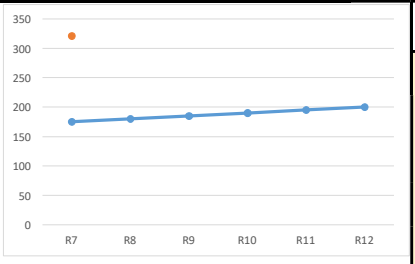
〇令和7年度のSNSフォロワー数は、12,231件と目標値を269件下回った。

〇関心を引く魅力ある発信に努めた結果、令和８年７月時点では12,270件と増加傾向にある。

KPI　Linkアンケート回答数〈単位：件〉

担当部署　企画部　広報秘書課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	175	180	185	190	195	200
実績値	321					
増減率（%）	83.4					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和7年度のLinkアンケート回答数は、321件と目標値を146件上回った。
※要因は、アンケート回答者への抽選によるプレゼント実施や手軽に回答できるオンライン回答の認知度の向上と、市内の事業者の協力による提供との相乗効果と考えられる。
〇令和８年６月末時点では41件と低水準にとどまっている。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（43）　重要度：低×満足度：低	
福祉部　人権福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市民全体の人権意識を醸成するには、幅広い世代に関心を持ってもらえる多様なアプローチが必要である。		○市民の認識を一層深めるため、今後も事業を継続する。 ○幅広い年齢層を対象に人権啓発を推進するため、先進的な事例の情報を収集し、事業を実施する。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（37）　重要度：低×満足度：低	
福祉部　人権福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
これまでの人権啓発事業と連携し、市民の人権意識の向上を図るとともに、男女共同参画に関する啓発にも取り組む必要がある。		男女共同参画推進委員会との意見交換を踏まえ、啓発を推進するにあたり、県や近隣市町の取組も参考にする。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（42）　重要度：低×満足度：低	
企画部　広報秘書課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
情報発信頻度は、市民との接触機会に直結するため、一定数の発信を継続的に維持することが不可欠である。 年間を通じて安定的かつ魅力的な動画・画像の投稿を実現するための、情報収集と素材確保の仕組みづくりが課題である。		市民ニーズに即した情報をタイムリーかつ魅力的な映像で発信し、目標達成を目指す。 各課との情報共有を密にし、施策・イベント情報を日常的に収集・蓄積するとともに、写真・ショート動画の編集スキルを高め作成効率を向上させる。
企画部　広報秘書課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
フォロワー増加には、発信頻度の維持と内容の魅力向上が不可欠である。 年間を通じて安定的に配信し、新規獲得と離脱防止を両立させるための情報収集と素材確保の仕組みづくりが課題である。		各課との情報共有を密にして素材を計画的に確保する。 SNS発信の頻度維持と内容の魅力向上を両立させる。 安定的で高品質な投稿を継続し、市民との接触機会の拡大、フォロワーの新規獲得及び離脱防止を図る。
企画部　広報秘書課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
アンケートの存在が十分に認知されていないこと、及び住民が回答しようとする動機付けが弱い。周知の強化と回答へのきっかけづくりが課題である。 今後も情報発信の機会を増やし、認知度の向上と回答意欲の喚起を図る必要がある。		毎月の回答状況を確認・庁内共有しながら、どの広報手段が効果的であったかを継続的に検証する。 その結果を次の広報施策に反映させ、アンケートの認知度向上と回答数の増加を図る。

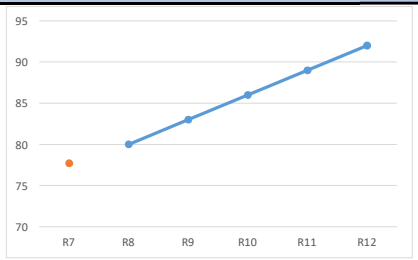
施策　1-5広域連携による定住・移住の促進

基本事業1　広域連携による定住・移住の促進　　総計　P65

KPI　定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率〈単位：%〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		80	83	86	89	92
実績値	77.7					
増減率（%）						



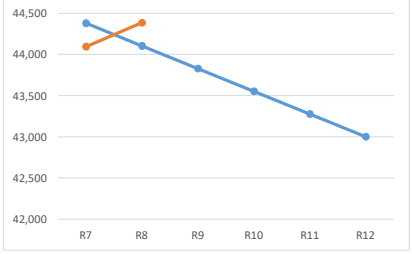
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の定住自立圏共生ビジョン施策指標の目標達成率は、77.7%となった。
※18施策中、100%以上のA判定は14施策

KPI　いなべ市の人口〈単位：人〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	44,380	44,104	43,828	43,552	43,276	43,000
実績値	44,095	44,386				
増減率（%）	-0.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年のいなべ市の人口（国調）は、令和２年（国調）と比較し、2.0%減の878人減少した。
※県内は、4.3%減少
※減少率は、県内3番目に少ない。
※市の施策により一定の効果
〇KGIの15歳から49歳までの若者の年間純移動数では、78人増（男11人減、女89人増）になった。

〇令和８年７月住基台帳44,386人

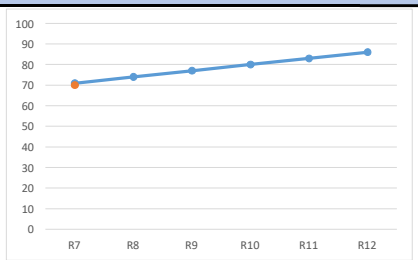
施策　1-6外部人材の活用による地域活性化の推進

基本事業1　外部人材の活用による地域活性化の推進　　総計　P66

KPI　地域おこし協力隊員数（累計）〈単位：人〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	71	74	77	80	83	86
実績値	70					
増減率（%）	-1.4					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の地域おこし協力隊員数（累計）は、70人と目標値を１人下回った。

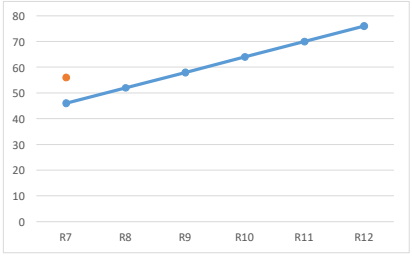
〇令和８年７月現在、令和７年度末の任期満了者２人が市内に定住した。

〇令和８年度は、４月から２人が新規で着任した。

KPI　地域活性化起業人等数（累計）〈単位：人〉

担当部署　企画部　政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	46	52	58	64	70	76
実績値	56					
増減率（%）	21.7					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の地域活性化起業人等数（累計）は、56人と目標値を10人上回った。
※要因は、企業からの提案に対して、起業人の制度活用を前提として事業展開を逆提案し、派遣に結びついた。

〇令和８年度は、当初予算ベースで32人が派遣予定にある。

基本目標　「こどもまんなか」みんなで学ぶまち

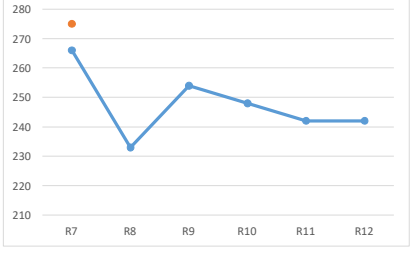
施策　2-1ウェルビーイングを育む保育の推進

基本事業1　保育サービスの充実　　総計　P68

KPI　３歳未満児入所者数（各年）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　保育課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	266	233	254	248	242	242
実績値	275					
増減率（%）	3.3					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の３歳未満児入所者数（4.1現在）は、275人（3.31現在348人）と目標値を９人上回ったため。

〇令和８年度は、256人（4.1現在）（3.31現在340人）の入所者予定である。

施策評価	市民満足度調査　A,Bエリア（41,44）　重要度：低～高×満足度：低	
企画部　政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
個別の具体的な連携事業ごとに見た場合に、進捗や効果にばらつきが生じていないかを精査する必要がある。 広域連携の成果が、構成する全ての地域の住民に対して均等に還元され、実感できているかを検証することが求められる。		今後は、連携自治体との協議をさらに緊密にし、事業の質の向上と効率化を図る。 現在の取組の認知度向上に向けた広報活動を強化する。
企画部　政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
社会動態（転入、転出の差）は、ここ数年増加傾向にある。 自然動態（出生から死亡の差）は、ここ数年200人～300人減少、出生数は300人台が250人前後と減少で推移している。		空き家対策、地域産業の活性化など、国、県の施策を活用しながら、部局を超えた連携を図り、関係人口の創出を目指す。

施策評価	市民満足度調査　A,Bエリア（41,44）　重要度：低～高×満足度：低	
企画部　政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
地域おこし協力隊の制度利用について、各部署のニーズを掘り起こすことが必要である。 隊員は、一定数確保できているが、退任後に地域に定住させるノウハウやスキームが市全体として蓄積されていない。		協力隊制度について、各部署に周知し、ニーズを掘り起こす。 総務省や関係団体が通知する退任後のビジネスモデルやキャリアアップの手法を隊員に共有、退任後の定住に向けて働きかける。
企画部　政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
企業は、派遣したいという思いはあるが、限られた時間の中で、起業人と受入先となる所管課調整に課題がある。		引き続き、企業からの連携提案のタイミングで、起業人の制度活用を前提とした事業展開を逆提案し、派遣に結びつける。

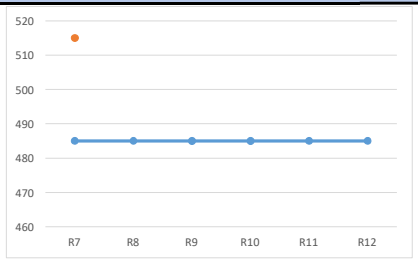
施策評価	市民満足度調査　Cエリア（14）　重要度：高×満足度：高	
健康こども部　保育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
入所を希望する３歳未満児のうち、第１希望園以外の園になる場合がある。 兄弟が別園になる場合があり、全てのニーズに応えられていないという潜在的な課題がある。		３歳未満児の入所可能枠を拡大していくため、市内の私立園とも協力し、施設面、人材面の拡充を目指す。

施策	2-2地域における子育て支援の充実							
基本事業1	地域における子育て支援の充実							総計　P70

KPI　ファミリーサポートセンター会員数（各年）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　こども政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	485	485	485	485	485	485
実績値	515					
増減率（%）	6.1					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

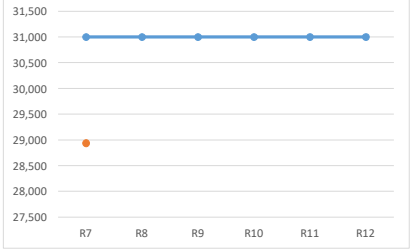
〇令和７年度のファミリーサポートセンター会員数は、515人と目標値を30人上回った。
※要因は、共働き家庭が増え、制度需要が高まったため。

〇令和８年度は、新たな依頼会員が３か月で11人増加、提供会員が７人、両会員が３人増加し、需要は増えている。

KPI　子育て支援センター利用者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　母子保健課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000
実績値	28,938					
増減率（%）	-6.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

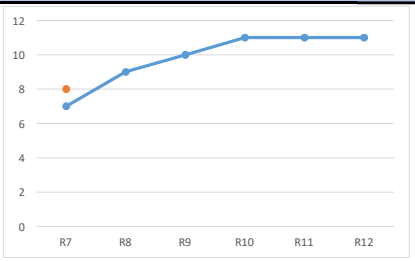
〇令和７年度の子育て支援センターの利用者数は、28,938人と目標値を2,062人下回った。
※要因は、出生数の減少及び、保育施設への入所者の増加により、支援センター利用対象者が減少していることによる。
〇令和８年度６月までの利用者数は、6,676人で、令和7年度の同時期は6,688人である。

基本事業2	子どもの居場所づくり	総計　P71

KPI　こども食堂運営補助金活用団体数〈単位：箇所〉

担当部署　健康こども部　こども政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	7	9	10	11	11	11
実績値	8					
増減率（%）	14.2					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のこども食堂運営補助金活用団体数は、８箇所と目標値を１箇所上回った。
※新たに２団体が開設された。

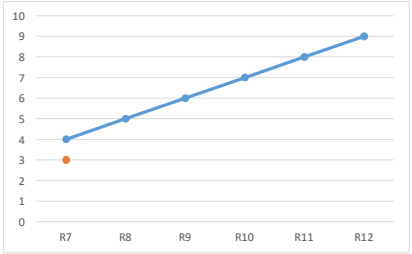
〇令和８年度は、１団体が開設し、６月末時点で９団体が補助金を活用した。

基本事業3	ひとり親家庭等への支援の充実	総計　P71

KPI　養育費公正証書等作成補助金交付申請件数〈単位：件〉

担当部署　健康こども部　こども政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	4	5	6	7	8	9
実績値	3					
増減率（%）	-25.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

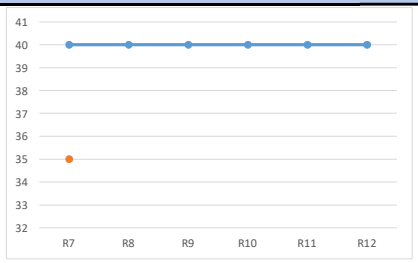
〇令和７年度の養育費公正証書等作成補助金交付申請件数は、３件と目標値を１件下回った。
※要因は、近年離婚件数が減少傾向にあることから、対象者も減少したため。
〇令和８年度は、７月末時点で申請件数は１件。

施策	2-3子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実	
基本事業1	チャイルドサポートの充実	総計　P73

KPI　個別療育を受ける子どもの数（実人数）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　発達支援課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	40	40	40	40	40	40
実績値	35					
増減率（%）	-12.5					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の個別療育を受ける子どもの数は、35人と目標値を５人下回った。
※要因は、個別療育の対象児が40人未満であったため。

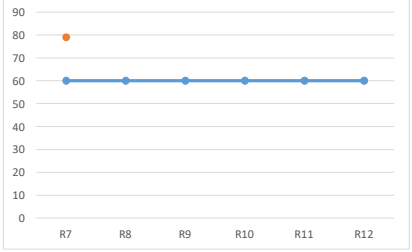
〇令和８年度も加配児数にほぼ変化がなく、35名程度の実施が予想される。

施策評価	市民満足度調査　〔エリア（14）　重要度：高×満足度：高	
健康こども部　こども政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
これまでは特定の家庭が複数回利用する傾向にあったが、近年は多くの家庭が年に数回利用する傾向がある。 利用者のニーズに変化が起きているので、分析を行う必要がある。		多くの人に制度を知ってもらい、引き続き会員数を増やしていくことは変わらない。 利用者ニーズが変わっていることから、依頼会員と提供会員の間で行う事前調整のやり方なども工夫する。
健康こども部　母子保健課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
出生数の減少及び低月齢からの保育施設への入所児の増加により、利用者の減少傾向は続くと考えられる。利用者拡大への取り組みが必要である。		子育て支援センター職員が地域の公民館などに出てゆく「出前ひろば」の開催を増やし、支援センターの利用につなげる。 令和８年度から、生後３か月の児に木製おもちゃの配布を開始し、早くから支援センターを利用するきっかけづくりを行っていく。
健康こども部　こども政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
活動場所が大安町、員弁町に集中しており、北勢町、藤原町で活動している団体が１団体ずつにとどまっている。		こども食堂の団体が増えてきたため、今後の展開について検討する必要がある。 こどもの居場所事業との連携についても視野に入れて検討する必要がある。
健康こども部　こども政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
補助制度自体を知らない場合がある。 離婚にあたり公正証書を作るまでの労力がかかるため、作成する人が少ない。		離婚届時や児童扶養手当の申請時に制度を案内する。 制度を広く周知し、制度を知らずに利用できない人を減らす。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（14）　重要度：高×満足度：高	
健康こども部　発達支援課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
専門の資格を持つ保育士（発達支援アドバイザー）が定期的にこども園に出向いて個別療育を実施している。 対象以外のこどもにも支援が必要な場合があることから、実施対象や方法を検討する必要がある。		福祉サービスとしての療育のニーズが高まっており、数年後に導入予定の５歳児健診後の要支援児のフォローとしての位置づけとなることが考えられる。 そのため、健診後の支援の流れや福祉サービスへのつなぎを踏まえた市の事業の検討を継続する。

KPI	医療連携会議で支援を検討した子どもの数（実人数）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　発達支援課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	60	60	60	60	60	60
実績値	79					
増減率（%）	31.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の医療連携会議で支援を検討した子どもの数は、79人と目標値を19人上回った。
※要因は、医療連携会議での検討数が増加したため。

〇令和８年７月１日時点、検討人数は30人となっている。

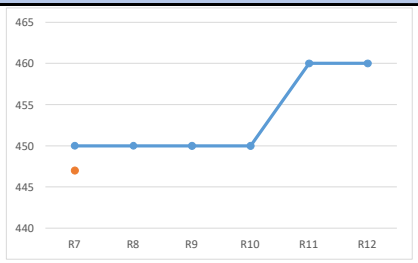
施策	2-4要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進
基本事業1	児童虐待防止対策の推進

総計　P 74

KPI	家庭児童相談室職員の家庭訪問回数（各年延べ）〈単位：回〉

担当部署　健康こども部　家庭児童相談室

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	450	450	450	450	460	460
実績値	447					
増減率（%）	-0.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和7年度の家庭児童相談室職員の家庭訪問回数は、447回と目標値を３回下回った。

〇令和８年７月１日現在、85回の訪問を実施している。

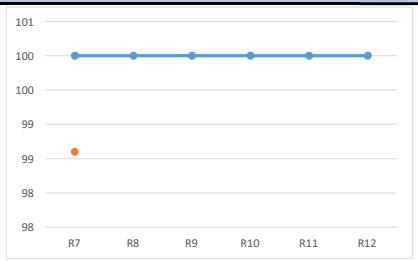
施策	2-5子どもと母親の健康の確保
基本事業1	子どもと母親の健康の確保

総計　P 75

KPI	こんにちは赤ちゃん訪問率（各年）（訪問した赤ちゃんの数／出生数）〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　母子保健課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	98.6					
増減率（%）	-1.4					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

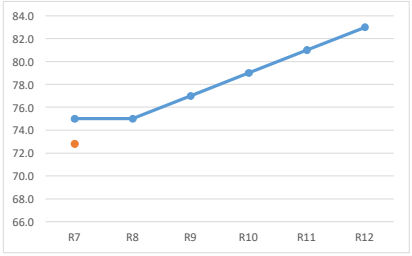
〇令和７年度のこんにちは赤ちゃん訪問率は、98.6%と目標値を1.4ポイント下回った。
※赤ちゃんの入院中等で訪問ができなかったケースはあったが、母子の状況の把握は100%できた。

〇令和８年度も前年並みに推移している。

KPI	妊娠８か月教室の満足度５（最高点）の割合〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　母子保健課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	75.0	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0
実績値	72.8					
増減率（%）	-2.9					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の妊娠８か月教室の満足度５（最高点）の割合は、72.8%と目標値を2.2ポイント下回った。

〇令和８年度は、６月末で79.1%である。

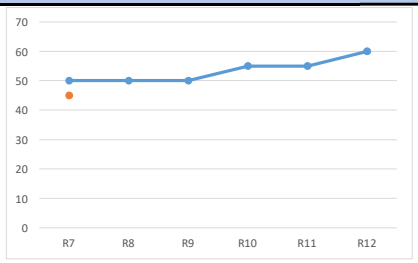
施策	2-6ウェルビーイング溢れる学校の創造
基本事業1	自律と共生を育む教育の推進

総計　P 77

KPI	不登校に関する研修会参加者数（各年）〈単位：人〉

担当部署　教育委員会　学校教育課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	50	50	50	55	55	60
実績値	45					
増減率（%）	-10.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の不登校に関する研修会参加者数は、45人と目標値を５人下回った。

健康こども部　発達支援課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市と病院が連携する発達支援が認知されることで受診につながるこどもが増えつつあり、医療のひっ迫が心配される。 医療を必要とするこどもがスムーズに受診ができ、医療的アドバイスを地域の発達支援体制に活かすことのできる仕組みをつくる必要がある。		受診圏域の近隣町（東員町、菰野町）の発達支援の担当者と、医師も含めた意見交換の機会を継続し、医療を必要とするこどもがスムーズに受診ができる体制づくりに努める。 令和８年度は、医療連携会議内容を精査し、会議の充実を図る。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（14）　重要度：高×満足度：高	

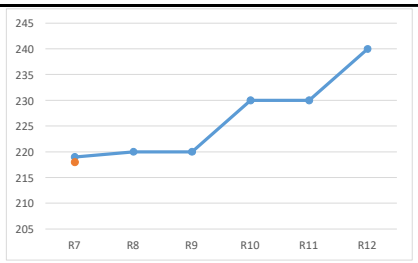
健康こども部　家庭児童相談室		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
経済的な支援を必要とする子育て世帯が増加しており、それに伴う保護者の養育機能の低下や児童虐待につながるおそれがあることから、支援が必要な家庭を早期に把握し、適切な支援につなげていくことが課題である。		経済的支援を担う関係機関との連携を深めながら、生活に困窮する子育て世帯の心理的負担の軽減を図る。 継続的に家庭訪問を実施し、それぞれの家庭の状況に応じた助言や必要な支援を実施する。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（14）　重要度：高×満足度：高	

健康こども部　母子保健課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
出産後の産婦の身体的・精神的な負担が大きく、産後うつや児童虐待の予防が必要である。 赤ちゃん訪問をはじめ、定期的な母子の見守りを行う必要がある。		産後ケアや産後ママサポート等の母子保健事業の利用を促進して、産婦の育児負担の軽減を行う。

健康こども部　母子保健課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
満足度５でない参加者は、アンケートによると土日での開催希望があり、行政側としては対応が難しい状況にある。 ２回目（第２子）以降の参加者は、沐浴経験などがあるため、妊婦支援給付金の受給のための参加もあり、満足度を上げる工夫が必要である。		土日開催に対応するのは難しい状況があるが、アンケートで出された教室内容の希望を踏まえ、内容を検討する。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（13）　重要度：高×満足度：高	

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
不登校児童生徒に対する対応や未然防止の取組の重要性はますます高まっており、研修の機会の確保が求められる。		学校のニーズを把握した上で、研修会の内容を決めていく必要がある。 研修会に参加しやすい日程や方法も検討する。

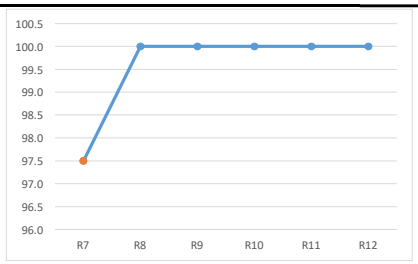
KPI	特別支援教育に関する研修会参加者数（各年）〈単位：人〉						
担当部署	教育委員会　学校教育課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	219	220	220	230	230	240
実績値	218					
増減率（%）	-0.4					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の特別支援教育に関する研修会参加者数は、218人と目標値を１人下回った。

KPI	中学３年生の他者を尊重し協働する力（肯定的回答生徒数／総生徒数）〈単位：%〉						
担当部署	教育委員会　学校教育課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	97.5	100	100	100	100	100
実績値	97.5					
増減率（%）	0.0					

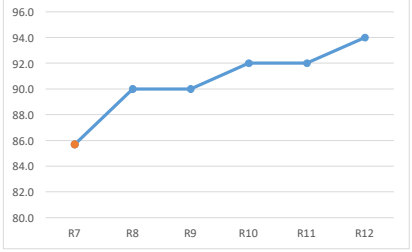


令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度目標値設定時に実績値が確定しており、目標値は実績値と同値。
※このKPIは、全国学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」の項目から設定されており、全国平均と比べて5.6%上回っている。

基本事業2	教育力・授業力の向上	総計　P 78

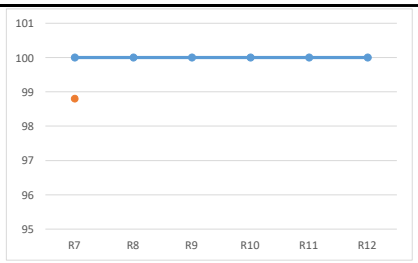
KPI	中学３年生の学びに向かう主体性（肯定的回答生徒数／総生徒数）〈単位：%〉						
担当部署	教育委員会　学校教育課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	85.7	90.0	90.0	92.0	92.0	94.0
実績値	85.7					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度目標値設定時に実績値が確定しており、目標値は実績値と同値。
※このKPIは、全国学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」の項目から設定されており、全国平均と比べて8.0%上回っている。

KPI	研修会参加者が受講内容を授業や校務で役立っていると回答している割合（各年）〈単位：%〉						
担当部署	教育委員会　学校教育課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	98.8					
増減率（%）	-1.2					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の研修会参加者が受講内容を授業や校務で役立っていると回答している割合は、98.8%と目標値を1.2ポイント下回った。

※夏季休業中（7.22～8.27）に研修講座を開催し、参加者の効果測定アンケートを11月実施

施策	2-7学校教育環境の充実

基本事業1	学校教育環境の充実	総計　P 80

KPI	中学３年生の社会参画への意思（肯定的回答生徒数／総生徒数）〈単位：%〉						
担当部署	教育委員会　学校教育課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	85.2	88.0	88.0	90.0	90.0	92.0
実績値	85.2					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度目標値設定時に実績値が確定しており、目標値は実績値と同値。
※このKPIは、全国学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」の項目から設定されており、全国平均と比べて9.9%上回っている。

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
研修は参加者から高い評価を得ているが、研修内容を実践へ移す段階では、学校の状況や学級の特性により活用の進み具合に違いが見られる。 通常学級担任の参加が十分に広がらず、市内全体で受講が定着していない点が課題である。		通常学級担任が参加しやすい研修テーマを設定し、学級経営に生かせる支援の普及を進める。 研修内容を支援や校内研修に活用できる資料を整備し、共有体制を強化する。 複数の指標で研修効果を検証し、改善につなげ、教職員の専門性向上を継続的に推進する。

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
他者を尊重し協働する力は総じて育まれていると判断できる。 人との関わりが希薄化する傾向が強まる中、常に人権を意識した教育活動が求められる。		「いなべ市人権教育基本方針」に基づき、教育活動全体を通じて人権教育を進めるため、学校の状況に応じて人権カリキュラムの活用や改善に努め、取組の質の向上を図る。

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
学びに対して主体的になれない生徒が一定数いることから、その要因を分析し、授業や教育活動に反映させる必要がある。		児童生徒が心を動かし、学ぶことが楽しいと実感できる授業や活動を多く経験することが必要である。 難しいと感じる課題に対しても、能動的に粘り強く取り組む力を高めることも必要である。 このような授業や活動を実践するために、小中が連携して研究を進める。

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
受講者の経験年数や校種・担当教科を問わず、授業や校務に活用できるような具体的な実践例や資料等を充実させた研修内容にする必要がある。		今後も、アンケートの自由記述等から改善点を分析し、受講者のニーズに応じた研修講座の企画・運営に努める。 演習やグループ協議など、実践を想定した参加型の研修を取り入れることで、受講内容が授業や校務での実践につながり、より一層活用される研修を目指す。

施策評価	市民満足度調査　〔エリア（12）　重要度：高×満足度：高

教育委員会　学校教育課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
社会参画に対する前向きな思いや考えの形成が十分ではない生徒が一定数いることから、その要因を分析し、授業や教育活動に反映させる必要がある。		分析した要因を授業や教育活動に反映させる。 また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで、地域住民や保護者等の学校教育への参画を促し、児童生徒とともに活動する機会を増やすことを目指す。

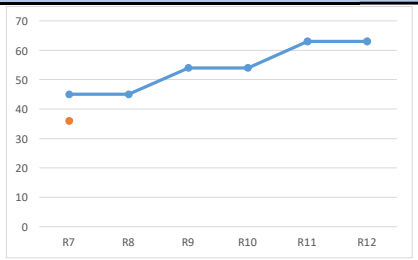
施策　2-8学校環境整備の充実

基本事業1　学校環境整備の充実　　総計　P 81

KPI　小学校特別教室空調設備設置率（校舎）〈単位：%〉

担当部署　教育委員会　教育総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	45	45	54	54	63	63
実績値	36					
増減率（%）	-20.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

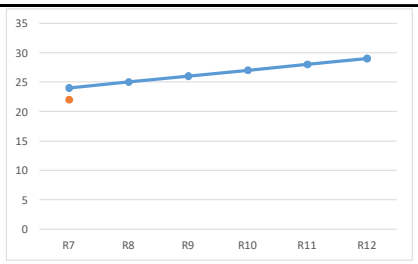
〇令和７年度の小学校特別教室空調設備設置率は、36%と目標値を９ポイント下回った。
※要因は、継続繰越工事（阿下喜小、丹生川小）の完了が令和８年度になるため。

〇令和８年度は、目標の45%を達成する見込みである。

KPI　多機能トイレ設置数（校舎及び体育館30か所）〈単位：件〉

担当部署　教育委員会　教育総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	24	25	26	27	28	29
実績値	22					
増減率（%）	-8.3					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の多機能トイレ設置数（校舎及び体育館30か所）は、22件と目標値を２件下回った。

〇令和８年度は、継続繰越工事※を含め３か所※の整備を予定している。
※阿下喜小学校校舎、丹生川小学校校舎・体育館

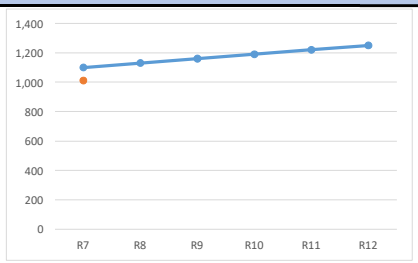
施策　2-9総合的なスポーツの推進

基本事業1　生涯スポーツの充実　　総計　P 83

KPI　スポーツイベント参加者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　教育委員会　生涯学習課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1,100	1,130	1,160	1,190	1,220	1,250
実績値	1,012					
増減率（%）	-8.0					



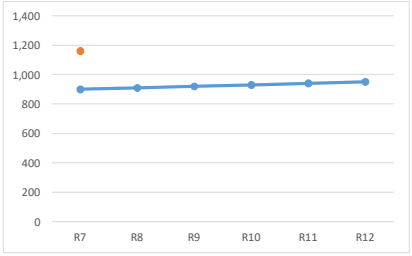
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のスポーツイベント参加者数は、1,012人と目標値を88人下回った。

KPI　ニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　教育委員会　生涯学習課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	900	910	920	930	940	950
実績値	1,160					
増減率（%）	28.8					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

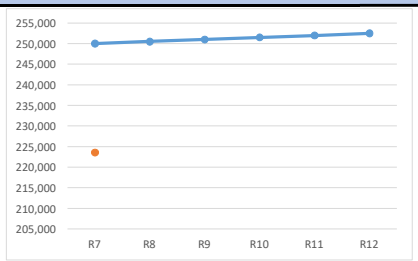
〇令和７年度のニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数は、1,160人と目標値を260人上回った。
※要因は、高齢者を中心にニュースポーツへの関心が非常に高く、出前講習会への参加が活発化したため。

基本事業2　スポーツ施設運営の充実　　総計　P 83

KPI　スポーツ施設年間利用者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　教育委員会　生涯学習課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	250,000	250,500	251,000	251,500	252,000	252,500
実績値	223,564					
増減率（%）	-10.5					

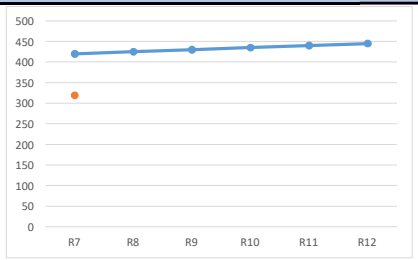


令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のスポーツ施設年間利用者数は、223,564人と目標値を26,436人下回った。
※要因は、２か所の体育館施設改修工事の休館（４～８月）が影響したため。

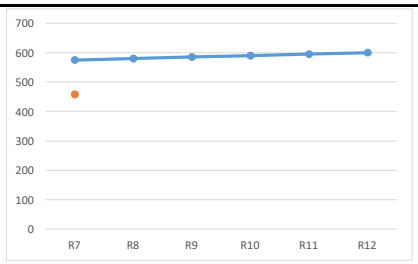
施策評価	市民満足度調査　Cエリア（12）　重要度：高×満足度：高	
教育委員会　教育総務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
財政状況や児童数の減少といった課題に直面し、工事の優先度を計画することが難しい。		熱中症のリスクが著しく高まる深刻な猛暑が予想されるため、特別教室に空調設備の無い小学校に計画的に設置※していく必要がある。 ※十社小、山郷小、治田小、員弁東小、三里小、
教育委員会　教育総務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
長寿命化改修工事や大規模改修に合わせて整備をしているため、また、財政状況の課題もあるため、工事の計画を立てることが難しい。		学校は、避難所に指定されているため、高齢者や障がいのある方等も安心して利用できる多機能トイレが必要である。 学校生活においても、誰もが安心して利用できる多機能トイレは必要であり、設置計画を見直す。
施策評価	市民満足度調査　Dエリア（18）　重要度：低×満足度：高	
教育委員会　生涯学習課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
参加者が固定化傾向にあり、新規参加者の開拓が課題である。		ホームページ・SNS・広報いなべを活用した情報発信の強化により、特に若年層への周知を図る。 学校や地域スポーツ団体との連携を強化し、より多くの市民がスポーツイベントに参加しやすい環境づくりに取り組む。
教育委員会　生涯学習課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
出前講習会の申請団体が固定化傾向にあり、新規申請団体の開拓が課題である。		若年層向けのニュースポーツ講座を新たに企画・開発し、参加層の拡大を図る。 学校の体育授業との連携により、児童生徒がニュースポーツを経験する機会を増やし、世代を超えた参加を促進する。
教育委員会　生涯学習課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
施設の老朽化に伴う安全性と利便性の向上が急務である。		限られた予算の範囲で利用者からの要望に応えるとともに、施設等不具合が発生することのないように適切な管理運営に努める。 いなべ市社会体育施設個別施設計画により整備を進めるが老朽化施設については休止を検討する。

施策	2-10歴史文化・芸術の充実							
基本事業1	文化芸術活動の推進							総計　P 85
KPI	市民祭作品出展者数（各年延べ）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	420	425	430	435	440	445		
実績値	319							
増減率（%）	-24.0							



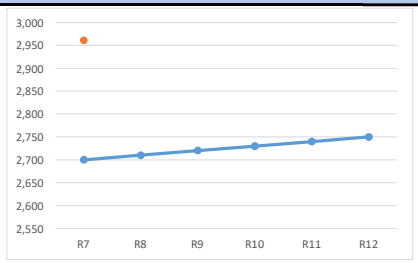
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況
〇令和７年度の市民祭作品出展者数は、319人と目標値を101人下回った。
※要因は、高齢化に伴い出展者が減少したため。

KPI	市民祭舞台発表出演者数（各年延べ）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	575	580	585	590	595	600		
実績値	458							
増減率（%）	-20.3							



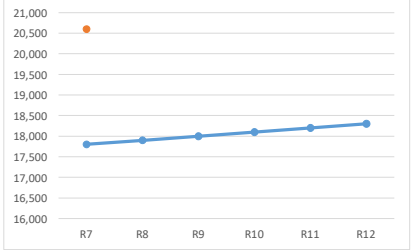
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況
〇令和７年度の市民祭舞台発表出演者数は、458人と目標値を117人下回った。
※要因は、高齢化に伴い参加団体数が減少したため。

基本事業2	文化財の保存活用支援							総計　P 85
KPI	郷土資料館入場者数〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	2,700	2,710	2,720	2,730	2,740	2,750		
実績値	2,961							
増減率（%）	9.6							



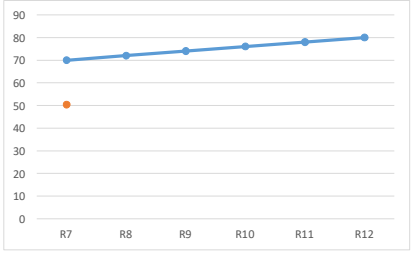
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況
〇令和７年度の郷土資料館入場者数は、2,961人と目標値を261人上回った。

施策	2-11自然環境の保全･充実							
基本事業1	自然環境の保全							総計　P 87
KPI	市ホームページ内「いなべ市の自然」の各ページのアクセス件数（各年延べ）〈単位：件〉							
担当部署	教育委員会　自然学習室							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	17,800	17,900	18,000	18,100	18,200	18,300		
実績値	20,602							
増減率（%）	15.7							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況
〇令和７年度の市ホームページ内「いなべ市の自然」の各ページのアクセス件数は、20,602人と目標値を2,802人上回った。

基本事業2	自然学習施設の充実							総計　P 87
KPI	自然教室参加者（科学館+屋根）アンケート満足度調査で「大変よかった・よかった」の割合〈単位：%〉							
担当部署	教育委員会　自然学習室							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	70	72	74	76	78	80		
実績値	50.4							
増減率（%）	-28.0							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況
〇令和７年度の自然教室参加者（科学館+屋根）アンケート満足度調査で「大変よかった・よかった」の割合は、50.4%と目標値を19.6ポイント下回った。
※要因は、参加数に対するアンケート回答数が少ないためと考えられる。

施策評価	市民満足度調査　Dエリア（17）　重要度：低×満足度：高

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
出展者数が目標値の約82%に留まっており、特に高齢出展者の減少が顕著です。新規出展者の開拓と若年層の参加が大きな課題である。		出展者募集時に初心者向けのガイダンスを実施し、参加ハードルを低くする工夫を行い、芸術文化協会を通じて新規参加者の確保に取り組む。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
舞台発表出演者が目標値の約86%に留まっており、特にコロナ禍により活動を休止した文化団体の復帰がまだ十分に進んでいない。		各種文化団体に対して個別に働きかけ、活動再開を促すとともに、参加団体の活動支援体制を充実させ、継続的な参加を促進する。 芸術文化協会を通じて新規団体の確保に取り組む。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
入場者数は前年度からやや減少傾向にあり、安定した来館者確保が課題です。より多くの市民層への周知と来館機会の創出が必要である。		学校の社会科学習と連携した社会見学など、児童生徒の来館機会を増やす。 企画展示のテーマをより多様化させ、家族連れやシニア層など幅広い来館者層のニーズに対応した情報発信を行い、引き続き入場者数の維持を目指す。

施策評価	市民満足度調査　Cエリア（6）　重要度：高×満足度：高

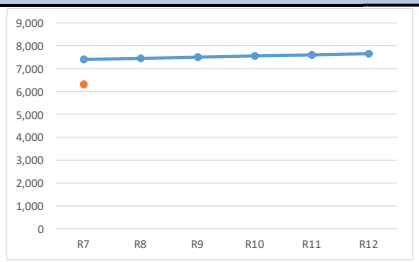
教育委員会　自然学習室

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
ホームページの更新やトピックスの掲載など常に定期的な内容更新が必要である。		インスタグラムの活用（広報秘書課との連携）、いなべ10の活用（いなべの自然みっけ隊の撮影）等、今後も認知度を高めるよう努める。

教育委員会　自然学習室

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
アンケートの記入を毎回呼びかけており、参加者数に対してアンケート回収率の向上が課題である。		自然教室の最後にアンケート記入時間を設けるなど回収率を上げるよう努める。 さらに教室終了後に「ジシタイＳＮＳ」で申込者にアンケートのLogoフォーム記入を案内する。

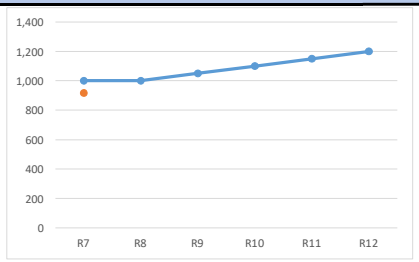
施策	2-12青少年の夢を育む地域づくりの推進							
基本事業1	青少年健全育成の推進							総計　P 88
KPI	青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数（各年延べ）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600	7,650		
実績値	6,312							
増減率（%）	-14.7							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数は、6,312人と目標値を1,088人下回った。

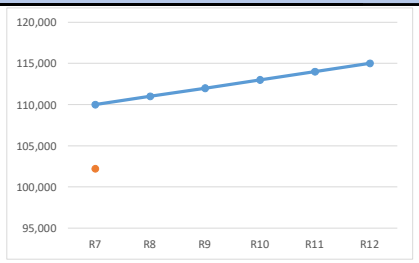
施策	2-13生涯学習の充実							
基本事業1	学びの機会の充実							総計　P 89
KPI	生涯学習講座参加者数（各年延べ）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	1,000	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200		
実績値	917							
増減率（%）	-8.3							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の生涯学習講座参加者数は、917人と目標値を83人下回った。

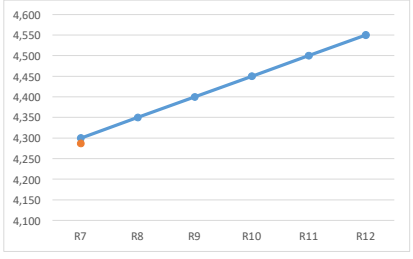
基本事業2	生涯学習施設の充実							総計　P 90
KPI	文化施設利用者数（各年）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	110,000	111,000	112,000	113,000	114,000	115,000		
実績値	102,207							
増減率（%）	-7.0							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の文化施設利用者数は、102,207人と目標値を7,793人下回った。
※要因は、藤原文化センターの改修工事の休館（４～２月）が影響したため。

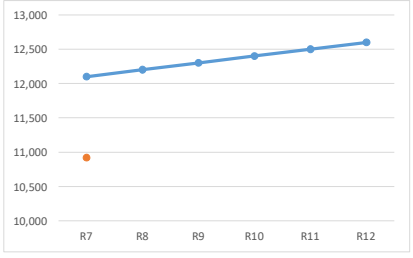
基本事業3	図書館の利便性向上							総計　P 90
KPI	インターネットを利用した図書館書籍予約件数（各年延べ）〈単位：件〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	4,300	4,350	4,400	4,450	4,500	4,550		
実績値	4,287							
増減率（%）	-0.3							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のインターネットを利用した図書館書籍予約件数は、4,287件と目標値を13件下回った。

KPI	図書館の貸出利用登録者数（各年）〈単位：人〉							
担当部署	教育委員会　生涯学習課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	12,100	12,200	12,300	12,400	12,500	12,600		
実績値	10,921							
増減率（%）	-9.7							



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の図書館の貸出利用登録者数は、10,921人と目標値を1,179人下回った。

施策評価	市民満足度調査　Cエリア（13）　重要度：高×満足度：高

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
青少年育成市民会議の活動と役割に対する認知度が低いことや、推進委員の高齢化と若年層参加者の不足も課題である。		青少年育成市民会議の活動内容についてチラシやSNS等での情報発信を強化するとともに、新たな参加者層の開拓に取り組む。

施策評価	市民満足度調査　Dエリア（17）　重要度：低×満足度：高

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
参加者が限定的な層に偏っており、特に若年層の参加が少ないことが課題である。 講座内容と市民ニーズのマッチングが十分でない場合がある。		アンケートを実施して学習ニーズを把握し、講座内容の充実に反映させます。多くの市民が参加しやすい学習環境づくりに取り組む。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
施設の老朽化に伴う安全性と利便性の向上が急務である。		限られた予算の範囲で利用者からの要望に応えるとともに、施設等不具合が発生することのないように適切な管理運営に努める。 いなべ市公民館・文化会館個別施設計画により整備を進める。 施設の計画的な改修を進めるとともに、利用者の快適性向上に取り組む。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
高齢者層のインターネット予約利用率が低く、利用者層の拡大が課題である。		図書館窓口でのインターネット予約の使い方を定期的に説明し、利用促進を図る。 予約システムの機能改善を検討し、より使いやすいシステムの構築に取り組む。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
登録者数は増加していますが、実際の貸出利用者数の伸びが鈍化しています。また、若年層や男性利用者の登録が少ないことが課題である。		学校や保育施設と連携した読書推進活動を強化し、子どもの頃からの利用習慣形成に取り組みます。また、電子図書館の利用促進を図る。

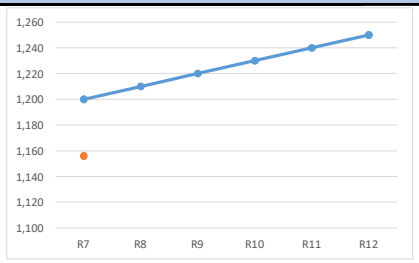
基本目標	いつまでも笑顔で暮らせるまち
施策	3-1地域医療体制の充実
基本事業1	救急医療体制の確保

総計　P 92

KPI　病院群輪番制病院の救急車搬送件数〈単位：件〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1,200	1,210	1,220	1,230	1,240	1,250
実績値	1,156					
増減率（%）	-3.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和7年度の病院群輪番制病院の救急車搬送件数は、1,156件と目標値を44件下回った。

〇令和８年度は、昨年度と変わらず推移している。

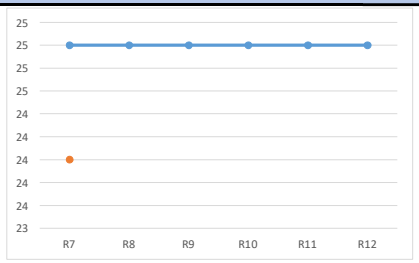
基本事業2	医療従事者の確保

総計　P 92

KPI　病院群輪番制参加病院の研修医を除く常勤医師数（各年）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	25	25	25	25	25	25
実績値	24					
増減率（%）	-4.0					



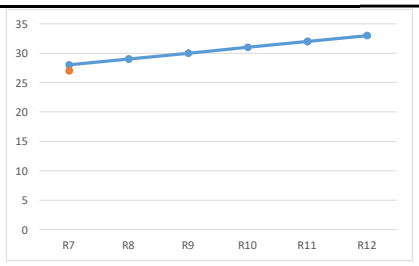
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の病院群輪番制参加病院の研修医を除く常勤医師数は、24人と目標値を１人下回った。

KPI　奨学金の貸付者数（累計）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	28	29	30	31	32	33
実績値	27					
増減率（%）	-3.5					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の奨学金の貸付者数は、累計で27人と目標値を１人下回った。
※問合せの1件のみだった。

〇令和８年７月時点で問合せは0件

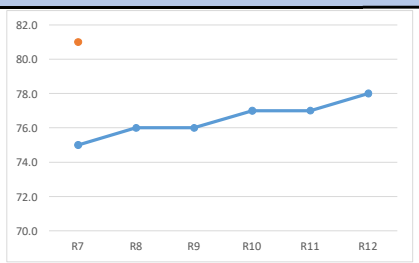
施策	3-2生涯を通じた健康づくりの推進
基本事業1	疾病の早期発見・早期治療の推進

総計　P 93

KPI　大腸がんの要精密検査の受診率（要精密検査受診者数／要精密検査対象者数）〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	75.0	76.0	76.0	77.0	77.0	78.0
実績値	81.0					
増減率（%）	8.0					



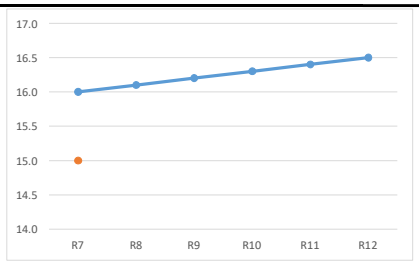
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の大腸がんの要精密検査の受診率は、81%と目標値を６ポイント上回った。
※要因は、要精密検査未受診者へ個別通知による効果があったため。

KPI　大腸がん検診受診率（受診者数／受診対象者数）（各年）〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	16.0	16.1	16.2	16.3	16.4	16.5
実績値	15.0					
増減率（%）	-6.2					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の大腸がん検診受診率は、15%と目標値を１ポイント下回った。
※受診が途絶えた方に対して、再度受診勧奨を行った。

施策評価	市民満足度調査　Aエリア（20）　重要度：高×満足度：低

健康こども部　健康推進課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
より安心して暮らすための救急医療体制の充実が望まれる。休日、夜間の救急搬送を受け入れる体制を整えるには、医師の確保が必要である。		救急医療体制を確保し、休日及び夜間における急患診療体制を充実し、病院群輪番体制を維持できるよう支援に取り組む。

健康こども部　健康推進課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
医師及び看護師等の確保に取り組み、地域医療の充実が望まれる。		病院内の託児施設運営・研修医の宿泊施設運営・産科医師確保事業により、将来いなべ市で常勤を希望する医師等の確保を目的とした、医療従事者確保対策事業を今後も実施し目標値の達成を目指す。

健康こども部　健康推進課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
地域医療を安定的に維持するために、医師の確保が課題となります。長期的に勤務できる医師の確保が必要である。		ホームページや広報誌等で周知を行うことや対象となる医療機関との担当者会議等で病院からも周知していただくように調整する。

施策評価	市民満足度調査　Dエリア（19）　重要度：低×満足度：高

健康こども部　健康推進課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
受診勧奨を行っても受診につながらない。全国的には、部位別がん死亡数の上位になっているため、精密検査の受診が大切である。		令和８年度からは、精密検査の必要性をまとめたチラシを同封し、受診勧奨を行う。

健康こども部　健康推進課

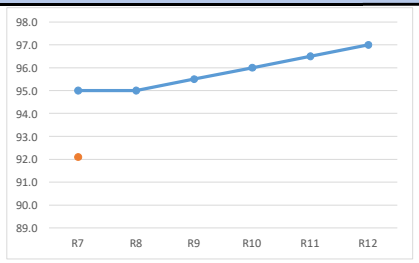
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
受診率は年々減少傾向にあるため、若年層の受診率の向上に努める必要がある。		令和７年度から受診勧奨を行っており、今後も継続する。

基本事業2　感染症の予防　　総計　P 94

KPI　MR（麻疹、風疹混合ワクチン）２期の接種率（接種者数／接種対象者数）（各年）〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	95.0	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0
実績値	92.1					
増減率（%）	-3.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

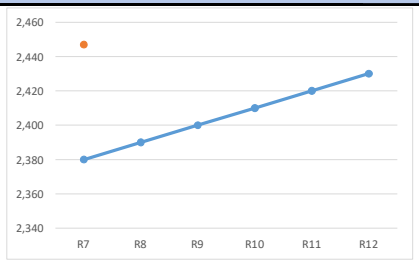
〇令和７年度のMR（麻疹、風疹混合ワクチン）２期の接種率は、92.1%と目標を2.9ポイント下回った。

基本事業3　健康づくりの推進　　総計　P 94

KPI　健康増進事業に参加する市民の数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	2,380	2,390	2,400	2,410	2,420	2,430
実績値	2,447					
増減率（%）	2.8					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の健康増進事業に参加する市民の数は、2,447人と目標値を67人上回った。
※要因は、働く世代である企業の健康測定等が開始したため。

〇令和８年７月現在、26回開催し729名の参加あり。

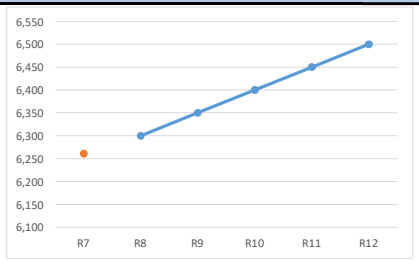
施策　3-3高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進

基本事業1　高齢者の包括的な支援の充実　　総計　P 96

KPI　地域包括支援センターにおける総合相談件数（各年延べ）〈単位：件〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
実績値	6,261					
増減率（%）						



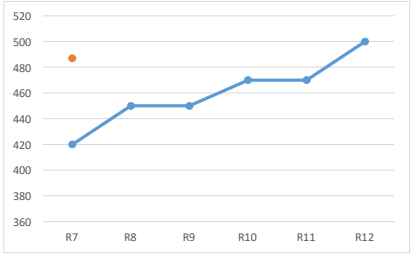
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の地域包括支援センターにおける総合相談件数は、6,261件となった。
※２か所の支所の総合相談件数を追加。

KPI　在宅医療・介護連携研修会の参加者数〈単位：人〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	420	450	450	470	470	500
実績値	487					
増減率（%）	15.9					



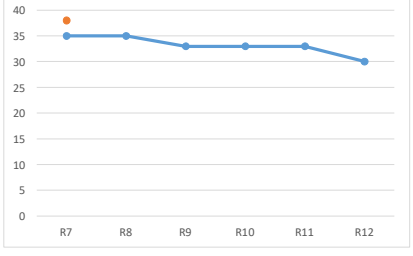
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の在宅医療・介護連携研修会の参加者数は、487人と目標値を67人上回った。
※多職種連携の会議を積極的に実施
※“身寄りのない人に対する支援”に行政機関以外の医療機関・司法書士・介護事業所等を交えて実施

KPI　健康不明者訪問数〈単位：件〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	35	35	33	33	33	30
実績値	38					
増減率（%）	8.5					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の健康不明者訪問数は、38人と目標値を３人上回った。
※アンケートを実施し、ハイリスクの38人を訪問した。２人を医療機関と地域包括支援センターへつないだ。

〇令和８年度は対象者62名に対して事前アンケートを送付した。

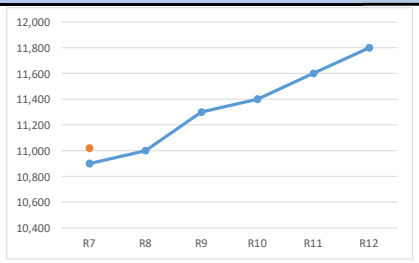
健康こども部　健康推進課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
予防接種による疾病予防効果が認められるとされる接種率95％を上回る必要がある。保護者の考えにより予防接種を接種しない家庭もあるため、丁寧な説明を継続する必要がある。		予防接種の必要性・有効性を周知し、疾病予防を継続して行う。
健康こども部　健康推進課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
健康増進事業への参加者数は、健康意識の高い方が多いため、若い世代や健康無関心層への取組みが大切である。		健康推進事業は保健センターに人を集めて行うだけでなく、企業等に出向くなどしたアウトリーチにも力を入れ、健康に関心がない人も自然に健康になれる環境づくりを推進する。
施策評価	市民満足度調査　Aエリア（15）　重要度：高×満足度：低	
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
１人暮らしの方、認知症の方、身寄りのない方、多問題を抱える家庭等、年々相談の内容が複雑化している。地域包括支援センターだけ、高齢者部門だけで対応できないケースが増えてきている。		相談内容によっては福祉分野だけでなく、健康こども部・市民部等とも連携し分野横断的・重層的に支援を検討する。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
地域包括ケアシステムに関わる専門職の需要は高まるものの、人材確保が困難になってきています。なかでも介護従事者の確保が課題で、研修への参加率も低い状況である。		令和８年度は日本福祉大学より講師を招いて研修を実施を予定。 地域包括ケアシステムに関わる専門職の魅力のアピールと質の向上のための研修を実施する。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
訪問する中で、毎年多問題を抱えているケースが発見されています。また、事前アンケートは対象者の主観で記入されているため、問題のあるケースを取りこぼしている可能性がある。		令和８年度もハイリスク者を訪問予定。 関係機関と連携を取りながら、引き続き訪問事業を実施する。

基本事業2　高齢者がいつまでも地域で安心して自分らしく暮らすための支援　　総計　P 97

KPI　認知症サポーター数（累計）〈単位：人〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	10,900	11,000	11,300	11,400	11,600	11,800
実績値	11,020					
増減率（%）	1.1					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

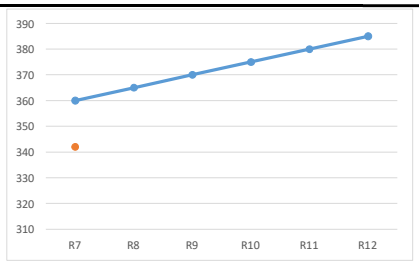
〇令和７年度の認知症サポーター数は、累計で11,020人と目標値を220人上回った。
※前年比237人の増加
※年間12回認知症サポーター養成講座を実施した。

〇令和８年７月現在４回の養成講座を実施した。

KPI　見守りネットワーク協力団体数（各年）〈単位：団体〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	360	365	370	375	380	385
実績値	342					
増減率（%）	-5.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

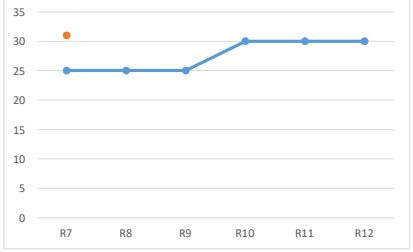
〇令和７年度の見守りネットワーク協力団体数は、342団体と目標値を18人下回った。

〇令和８年は、商工会事務所に働きかけ登録事業所にチラシ配布依頼した。

KPI　認知症高齢者等SOSネットワーク新規登録者数（各年）〈単位：人〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	25	25	25	30	30	30
実績値	31					
増減率（%）	24.0					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の認知症高齢者等SOSネットワーク新規登録者数は、31人と目標値を６人上回った。
※要因は、事業の紹介チラシを組回覧したりケアマネージャーへの周知等啓発に力を入れたため。

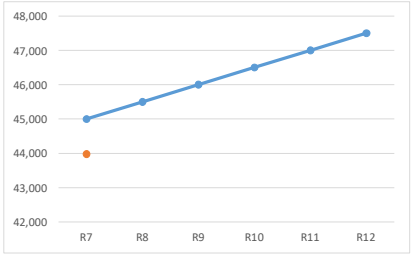
〇令和８年７月現在９件の新規登録がある。

基本事業3　高齢者の元気づくりの推進　　総計　P 97

KPI　元気リーダーコース参加者数（累計）〈単位：人〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	45,000	45,500	46,000	46,500	47,000	47,500
実績値	43,978					
増減率（%）	-2.2					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

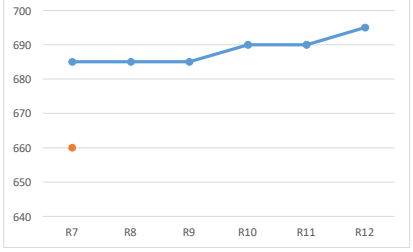
〇令和７年度の元気リーダーコース参加者数は、累計で43,978人と目標値を1,022人下回った。
※自治会の集会所等で合計6,221回教室を開催した。

〇令和８年度も引き続き市内79か所の集会所等で教室を実施する。

KPI　シルバー人材センター登録会員数（各年）〈単位：人〉

担当部署　福祉部　長寿福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	685	685	685	690	690	695
実績値	660					
増減率（%）	-3.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のシルバー人材センター登録会員数は、660人と目標値を25人下回った。
※新規入会者数72名、退会者96名

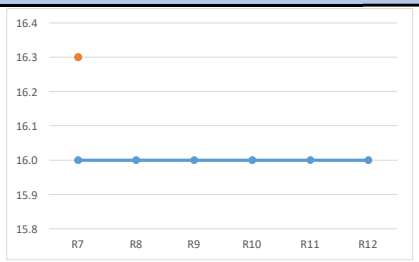
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
年間ある程度の数の認知症サポーターが誕生するものの、具体的な役割や活動がないため受講するだけに留まっている方がほとんどである。		認知症サポーター養成講座を引き続き開催しつつ、認知症サポーターの方が活躍できる場の開拓も進める。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
登録事業所は342団体あるものの、ふとした気付きの見守り相談、連絡のある事業所は限られている。		引き続き見守りネットワーク事業についての啓発を推進する。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
警察に保護をされた方で登録をしていない方もおり、制度が必要な方に情報が届いていない可能性がある。		引き続き、市の広報紙や回覧等で制度の周知を推進する。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
教室参加者の固定化や高齢化が進み、今後、参加者が減少するおそれがある。		新規参加者を獲得するために、他機関とも連携して、元気リーダーコースのPRをする。
福祉部　長寿福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
人口減少や労働力不足が続き、定年延長などの労働市場の変化や会員の高齢化に伴い、会員数が年々減少している。		会員の減少に歯止めをかけるため、引き続き入会説明会や会員募集ポスターの掲示、市の広報媒体での入会案内等を実施する。

施策	3-4高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進							
基本事業1	予防重視型サービスの充実							総計　P 99

KPI　介護認定率（年度末現在）〈単位：%〉

担当部署　福祉部　介護保険課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
実績値	16.3					
増減率（%）	1.8					



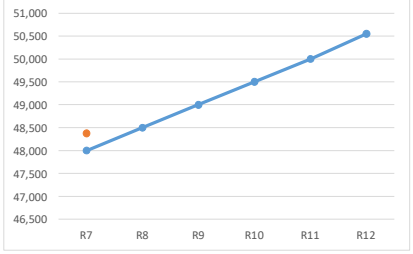
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の介護認定率（第1号被保険者）（年度末現在）は、16.3%と目標値を0.3ポイント上回った。
※Ｒ８年度16.25%、Ｒ７年度16.14%

KPI　介護（予防）サービス給付件数（各年延べ）〈単位：件〉

担当部署　福祉部　介護保険課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	48,000	48,500	49,000	49,500	50,000	50,551
実績値	48,375					
増減率（%）	0.7					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

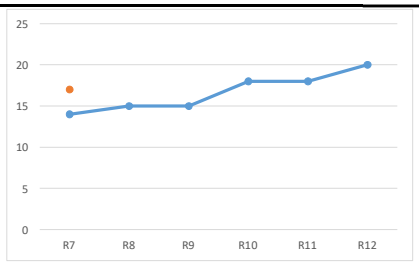
〇令和７年度の介護（予防）サービス給付件数は、48,375件と目標値を375件上回った。

〇令和８年度は、第１四半期の３か月間で12,095件の給付を行っている。

KPI　介護に関する入門的研修の修了者数〈単位：人〉

担当部署　福祉部　介護保険課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	14	15	15	18	18	20
実績値	17					
増減率（%）	21.4					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の介護に関する入門的研修の修了者数は、17人と目標値を３人上回った。
※要因は、ボランティア団体への声かけを行い、受講につながったため。

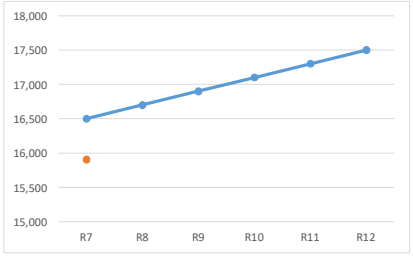
〇令和８年度は、開催回数及び開催場所を拡充（３回、３か所）し、第１回７人の受講があった。

施策	3-5地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進							
基本事業1	障がい福祉サービスの充実							総計　P 101

KPI　相談支援件数（各年延べ）〈単位：件〉

担当部署　福祉部　障がい福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	16,500	16,700	16,900	17,100	17,300	17,500
実績値	15,905					
増減率（%）	-3.6					



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の相談支援件数は、15,905件と目標値を595件下回った。
※要因は、相談内容の複雑化・高度化に伴い、１件当たりの対応時間が増加したため。一方で、相談の質の向上、支援の充実の観点から一定の成果あり。

KPI　障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　福祉部　障がい福祉課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	7,460	7,650	7,750	7,850	7,950	8,050
実績値	7,544					
増減率（%）	1.1					

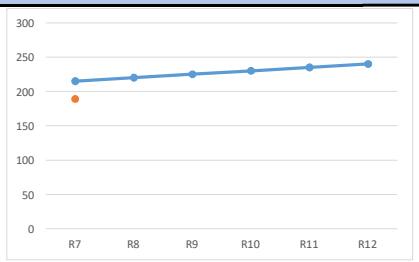


令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の障がい福祉サービス等利用者数は、7,544人と目標値を84人上回った。

施策評価	市民満足度調査　Aエリア（15）　重要度：高×満足度：低	
福祉部　介護保険課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
高齢化の進行に伴い、介護申請件数は年々増加しており、介護認定率を同水準で維持していくことは困難ではある。 介護サービスの利用を希望し、その利用が適当と認められる方が安心してサービスを利用できるよう、適正に介護認定事務を遂行する必要がある。		介護サービスの利用を希望し、その利用が適当と認められる方が安心してサービスを利用できるよう、地域包括支援センターやかかりつけ医療機関など、関係機関との連携を図る。 適切な窓口対応と適正な介護認定事務処理を継続する。
福祉部　介護保険課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
高齢化の進行に伴い、介護申請件数は年々増加している一方、市内の介護事業所数は一定水準で推移しており、大きな変動がない。 限られた資源と人材の中で今後も適正に保険給付を行っていくためには、給付の適正化と事業者支援、人材確保に向けた取り組みが必要である。		今後も年々増加が見込まれる介護需要に対し、限られた資源と人材の中で、介護サービスを必要とする方が安心して介護サービスを利用できるよう、給付の適正化と事業者支援、人材確保に向けた取り組みを継続しつつ、保険給付を行う。
福祉部　介護保険課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
介護分野における人材確保問題が深刻となる中、なかなか介護分野への人口流動が見込めない状況が続いている。 そんな中、まずは介護人材のすそ野拡大を目的に介護の入門的研修を毎年開催、その他の媒体による参加を呼びかけてもなかなか受講者が集まらない。		幅広い手段や媒体を活用して研修会を周知し、１人でも多くの研修受講者が集まるよう啓発する。 研修受講者には、介護に関する知識を深めてもらう中で、その後は資格取得など、更なるステップアップに導くことで、介護人材のすそ野拡大から介護分野での人材確保へとつなげる。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（16）　重要度：高×満足度：高	
福祉部　障がい福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
相談支援件数は、前年度より減少しているが、障がい者の相談支援体制において、相談内容の多様化・複雑化が進んでおり、支援体制の維持・充実が課題となっている。 福祉・医療・教育・就労など関係機関との連携強化も引き続き必要である。		関係機関との連携を一層強化し、相談者の状況に応じた切れ目のない支援体制の充実を図る。また、相談支援専門員の資質向上や人材確保に努めるとともに、障害者自立支援協議会等を活用して地域課題の共有・解決を進め、安心して相談できる体制づくりを推進する。
福祉部　障がい福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
障がいの重度化・高齢化や医療的ケア児者への対応など、福祉ニーズは年々多様化・複雑化している。 サービス提供事業所や福祉人材の不足により、利用希望に十分対応できない場合があるため、安定したサービス提供体制の確保が課題がある。		障がい福祉サービス等の利用ニーズを的確に把握し、相談支援事業所やサービス提供事業所、関係機関との連携を一層強化する。 サービス提供体制の充実や福祉人材の確保・定着に向けた取組を進め、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境整備を推進する。

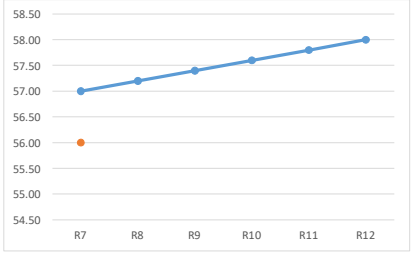
施策	3-6地域の助け合いによる福祉の充実						
基本事業1	地域福祉活動の充実						総計　P 102
KPI	民生委員から地域包括支援センターへの相談件数（各年延べ）〈単位：件〉						
担当部署	福祉部　人権福祉課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	215	220	225	230	235	240	
実績値	189						
増減率（%）	-12.0						



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の民生委員から地域包括支援センターへの相談件数は、189件と目標値を26件下回った。

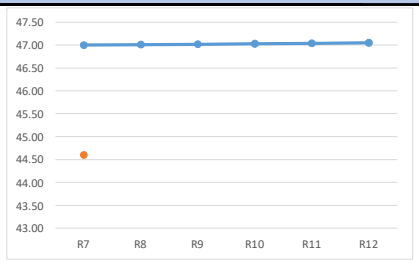
施策	3-7社会保障制度の健全で円滑な運用						
基本事業1	国民健康保険の充実						総計　P 104
KPI	特定健康診査受診率（各年）（受診者数／40～74歳の被保険者数）〈単位：%〉						
担当部署	市民部　保険年金課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	57.00	57.20	57.40	57.60	57.80	58.00	
実績値	56.00						
増減率（%）	-1.7						



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の特定健康診査受診率は、56.00%と目標値を1ポイント下回った。
※令和７年度は令和６年度比0.6%増

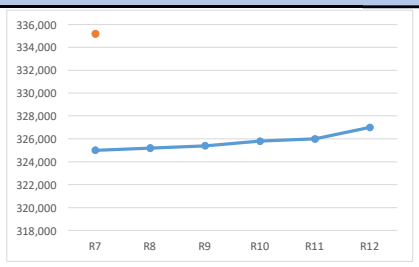
基本事業2	後期高齢者医療保険制度の円滑な運営						総計　P 104
KPI	健康診査受診率（各年）（受診者数／被保険者数）〈単位：%〉						
担当部署	市民部　保険年金課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	47.00	47.01	47.02	47.03	47.04	47.05	
実績値	44.60						
増減率（%）	-5.1						



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の健康診査受診率は、44.60%と目標値を2.4ポイント下回った。
※令和６年度比1.49%減
※令和７年度県内の受診率平均
　43.69%

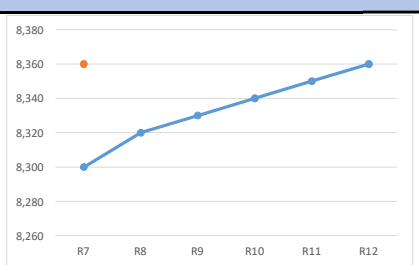
基本事業3	福祉医療制度の健全で円滑な運営						総計　P 105
KPI	福祉医療費の助成額（各年）〈単位：千円〉						
担当部署	市民部　保険年金課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	325,000	325,200	325,400	325,800	326,000	327,000	
実績値	335,188						
増減率（%）	3.1						



令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の福祉医療費の助成額は、335,188千円と目標値を10,188千円上回った。

基本事業4	国民年金の適正な運営						総計　P 105
KPI	年金相談件数（各年延べ）〈単位：件〉						
担当部署	市民部　保険年金課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	8,300	8,320	8,330	8,340	8,350	8,360	
実績値	8,360						
増減率（%）	0.7						

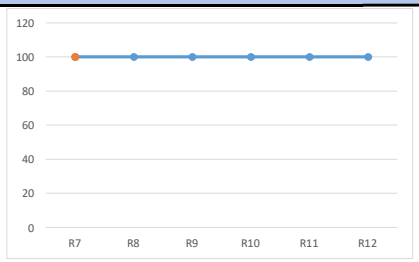


令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の年金相談件数は、8,360件と目標値を60件上回った。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（40）　重要度：低×満足度：低	
福祉部　人権福祉課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
地域では、複雑化した課題を抱える困難者が増加しており、単一の制度だけでは解決できないケースがある。 そのような事例に対応するには、民生委員の機能を強化するとともに、関係機関との連携を一層推進する必要がある。		今後も多岐にわたる福祉課題の解決に向けて、地域包括支援センターをはじめとする関係機関と連携を図りつつ、民生委員の活動を継続的に支援する。 重層的支援体制の一翼を担う民生委員の活動が機能するよう、支援を充実させていきます。
施策評価	市民満足度調査　Aエリア（20）　重要度：高×満足度：低	
市民部　保険年金課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和７年度保険者努力支援制度結果の県内受診率平均は46.2%で、本市は県内市町第４位に位置している。40歳～60歳代の労働年齢層の受診率の向上が課題であり、受診意欲の醸成と受診機会の多様化が必要である。		三重県内で特定健診を実施する医療機関全てを健診受託医療機関とし、本市保健センターで実施する集団健診と併せ可能な限り受診機会の多様化に努めている。 未受診者の受診勧奨では、過去の健診受診の有無、経過期間に加えレセプト分析による疾病等を考慮したナッジ理論を活用した勧奨を継続する。
市民部　保険年金課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
後期高齢者の方の多くは慢性通院のため健診受診を控える傾向にある一方で、健康教室等への参加意欲は旺盛であるため、健診受診意欲の向上のためのポピュレーションアプローチの強化が必要である。		健康推進課、長寿福祉課とともに「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業」を引き続き継続実施し、高齢者が集う場において特定健診の受診の必要性を周知する。
市民部　保険年金課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和７年９月から、現物給付の対象年齢を18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童まで拡大（子ども医療費、一人親家庭等医療費、障がい者医療費の全てにおいて、年齢拡大）し、利便性が向上した。社会保障制度の変遷の過程にあっては、医療保険制度の制度改正等に適切に対応していく必要がある。		令和８年度よりＰＭＨ（パブリック・メディカル・ハブ）との連携を開始し利用者の利便性の向上を図る。
市民部　保険年金課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
法定受託事務のため市の采配等は及びませんが、年金受給相談や各種届出が身近な市で実施できることから、市民サービスのうえで重要である。		日本年金機構サーバへVPN経由でアクセス可能であることから、リアルタイムな情報に基づく相談を引き続き実施する。 高齢者の重要な収入である年金が安心して受給できるよう、保険料納付相談や年金受給相談を引き続き実施する。

施策	3-8適切な生活保護制度の推進						
基本事業1	生活保護制度の適切な運営						総計　P 107
KPI	就労支援対象者への支援実施率（%）						
担当部署	福祉部　生活支援課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	100	100	100	100	100	100	
実績値	100						
増減率（%）	0.0						

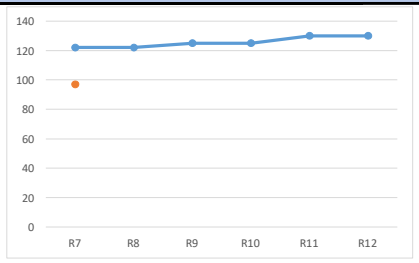


令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の就労支援対象者への支援実施率は、100%と目標値を達成した。

〇令和８年度は７月１日現在、就労支援対象者10人全員に対し、支援を実施している。

基本事業2	生活困窮者の相談支援						総計　P 107
KPI	生活困窮者自立支援事業における相談件数（各年延べ）〈単位：件〉						
担当部署	福祉部　生活支援課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	122	122	125	125	130	130	
実績値	97						
増減率（%）	-20.4						



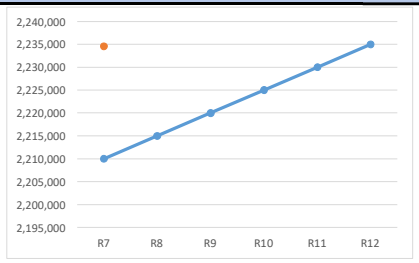
令和７年度実績　※要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の生活困窮者自立支援事業における相談件数は、97件と目標値25件を下回った。
※要因は、雇用情勢の推移や他施策との連携など複合的な影響により、想定していた相談ニーズに達しなかったため。

〇令和８年度の相談件数は36件である。

基本目標	自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策	4-1公共交通の充実

基本事業1	鉄道交通の整備						総計　P 109
KPI	北勢線利用者数（各年延べ）〈単位：人〉						
担当部署	都市整備部　交通政策課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	2,210,000	2,215,000	2,220,000	2,225,000	2,230,000	2,235,000	
実績値	2,234,586						
増減率（%）	1.1						

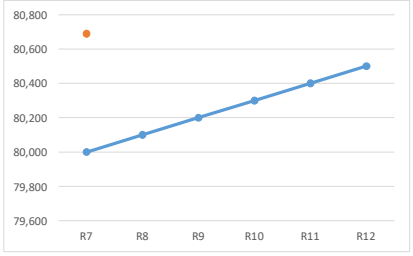


令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の北勢線利用者数は、2,234,586人と目標値を24,566人上回った。

〇令和８年度４月・５月の利用者数は、対前年度比△2,124人（△1.3%）

基本事業2	バス交通の整備						総計　P 109
KPI	福祉バス利用者数（各年延べ）〈単位：人〉						
担当部署	都市整備部　交通政策課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値	80,000	80,100	80,200	80,300	80,400	80,500	
実績値	80,690						
増減率（%）	0.8						



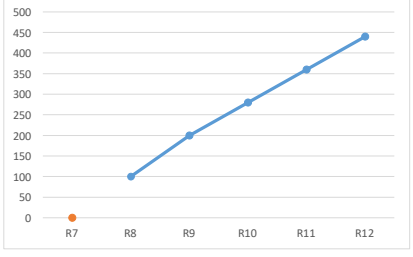
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の福祉バス利用者数は、80,690人と目標値を690人上回った。

〇令和８年度は、４月・５月の利用者数が、対前年度比△322人（△2.3%）

施策	4-2快適な道路網の充実

基本事業1	生活道路網の整備						総計　P 111
KPI	歩道の設置延長（累計）〈単位：m〉						
担当部署	建設部　建設課						
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標値		100	200	280	360	440	
実績値	0						
増減率（%）	#DIV/0!						



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の歩道の設置延長は、累計で０ｍとなった。

〇令和８年度の施工分の用地買収は完了した。

施策評価	市民満足度調査　Cエリア（16）　重要度：高×満足度：高

福祉部　生活支援課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
就労支援対象者は就労意欲や生活状況、健康状態などが一人ひとり異なり、就労を阻害する要因が複合的であることから、自立までに時間を要する場合がある。 また、就労可能な求人とのマッチングが難しい場合もある。		ケースワーカーによる定期的な面談や家庭訪問を通じて就労意欲や生活状況を把握し、ハローワークへの同行支援や求人情報の提供、就労準備支援を実施することで、早期の就労及び自立につなげる。

福祉部　生活支援課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
制度を必要としながらも窓口につながっていない潜在的な困窮リスク世帯を早期に発見することであり、そのためには庁内他課や社会福祉協議会、民生委員等の関係機関との情報共有および連携体制のさらなる深掘りが必要である。		対象者の早期把握と、窓口における適切な相談支援体制を今後も継続する。 生活困窮者自立支援制度の周知を徹底し、相談を必要とする市民が躊躇なく来談できる環境を維持する。 今後は、地域の福祉ネットワークとの連携をさらに強化して早期把握・早期支援に努めていく。

施策評価	市民満足度調査　Aエリア（4,29）　重要度：高×満足度：低

都市整備部　交通政策課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
三岐鉄道北勢線は、沿線市町からの運行経費補助金に依存する一方、車両の老朽化に伴い、利用者の要望に応じた冷房車両の更新などで多額の費用が必要である。 ※北勢線事業運営協議会では、平成６年度に三岐鉄道北勢線の今後の在り方の検討に向けた基礎調査をとりまとめた。		今後も三岐鉄道（株）に自助努力を求めつつ、北勢線事業運営協議会と共に啓発活動を実施し、利用者数の増加を目指す。 今後は基礎調査結果を踏まえ、現状維持（新車両導入）、改軌、BRTの３モードの中から早急にモードを決定する必要がある。

都市整備部　交通政策課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
定時定路線の福祉バスのみの運行では、利用者の満足度が低い。 多くの市民からの要望に応えるためにも、新たなモビリティの導入を検討する必要がある。		今後も交通困難者の買い物、通院等の交通手段として安全運行に努めながら利用者数の増加を目指す。 令和７年度に実施した、地域公共交通実態調査・分析業務結果に基づき、新たなモビリティとしてオンデマンド交通の実証実験を予定している。

施策評価	市民満足度調査　A,Cエリア（1,2,3）　重要度：高×満足度：低～高

建設部　建設課

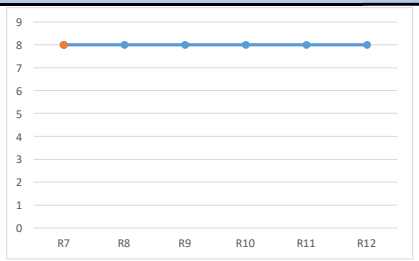
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和８年度分の工事は、農作物の関係で3月までに完成させる必要がある。		令和８年度の施行分は、これから施工業者を決定し、工事を進める。 残りの110mの工事を安全に施工し、１日も早く子どもの通学路としての機能を果たせるようにする。

基本事業2　高速交通網の整備促進　　総計　P111

KPI　関係機関（国、県）への要望活動回数〈単位：回〉

担当部署　建設部　高速道路対策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	8	8	8	8	8	8
実績値	8					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の関係機関（国、県）への要望活動回数は、８回と目標値を達成した。

〇令和８年度は要望を２回実施した。実施先は国の関係機関で、要望内容は早期開通である。

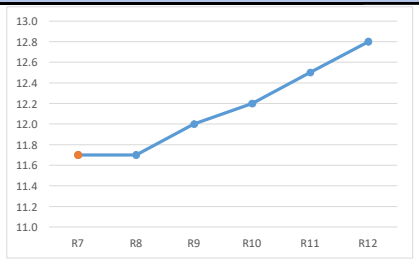
施策　4-3暮らしを支える上水道の充実

基本事業1　水道施設の整備及び耐震化　　総計　P112

KPI　基幹管路耐震化率〈単位：%〉

担当部署　水道部　水道工務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	11.7	11.7	12.0	12.2	12.5	12.8
実績値	11.7					
増減率（%）	0.0					



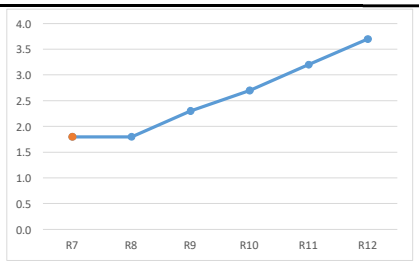
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の基幹管路耐震化率は、11.7%と目標値を達成した。

KPI　重要給水施設管路耐震化率〈単位：%〉

担当部署　水道部　水道工務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1.8	1.8	2.3	2.7	3.2	3.7
実績値	1.8					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

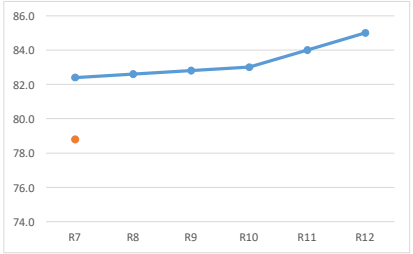
〇令和７年度の重要給水施設管路耐震化率は、1.8%と目標値を達成した。

基本事業2　安定給水の推進　　総計　P113

KPI　上水道の有収率（年間の有収水量／年間の配水量）（各年）〈単位：%〉

担当部署　水道部　水道総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	82.4	82.6	82.8	83.0	84.0	85.0
実績値	78.8					
増減率（%）	-4.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の上水道の有収率は、78.8%と目標値を3.6ポイント下回った。

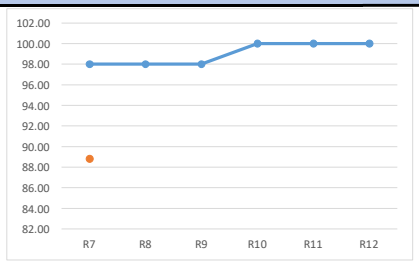
〇令和８年度１期分（４．５月）で算出した有収水量は74.2%で、目標値の達成は厳しい状況にある。

基本事業3　持続可能な経営基盤の充実　　総計　P113

KPI　料金回収率〈単位：%〉

担当部署　水道部　水道総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	98.00	98.00	98.00	100	100	100
実績値	88.80					
増減率（%）	-9.3					



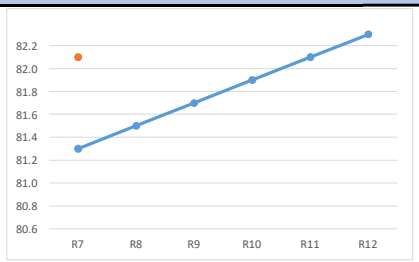
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の料金回収率は、88.80%と目標値を9.2ポイント下回った。

〇令和８年度も目標達成は厳しい状況にある。

建設部　高速道路対策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
養老ICからいなべIC間について、県境トンネルで発生する湧水の影響により工事の長期化が想定される。		安全かつ効果的な工法により工事を着実に推進し、開通予定の公表及び１日も早い開通を要望していく。
施策評価	市民満足度調査　〔エリア（8）　重要度：高×満足度：高	
水道部　水道工務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
水道事業関連の交付金は満額交付で事業費の1/3となっている。 現在は世界情勢の影響で水道資材や人件費が著しく高騰しており事業費が増加している状況である。 計画的に事業を進めるには、これまで以上の財源の確保が必要となる。		交付金事業を活用し、令和８年度は阿下喜地内送水管耐震化工事の測量設計業務を実施し、令和９年度から工事に着手する予定である。 今後は交付金のほか企業債等の活用も含め財源を確保が必要がある。 決められた財源の中で、効率よくコストを削減しながら事業を進めていく。
水道部　水道工務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
水道事業関連の交付金は満額交付で事業費の1/3となっている。 現在は世界情勢の影響で水道資材や人件費が著しく高騰しており事業費が増加している状況である。 計画的に事業を進めるには、これまで以上の財源の確保が必要となる。		交付金を活用し、令和８年度は当初、設計業務のみの予定だったが、藤原町市場及び川合地内と北勢町阿下喜地内の配水管耐震工事を施工する。 今後は交付金のほか企業債等の活用も含め財源を確保が必要がある。 決められた財源の中で、効率よくコストを削減しながら事業を進めていく。
水道部　水道総務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
同規模事業体の有収率の平均が約83.8%（Ｒ５決算統計ベース）であるのに対し、低い状況である。 有収率低下の主な原因となる管路の漏水調査などの原因究明が喫緊の課題である。		漏水の早期発見と修繕：漏水調査により漏水個所を特定する。発見された漏水箇所は、迅速に修繕する。 老朽管の計画的な更新と耐震化：漏水の根本原因を断つためにも計画的な布設替（耐震化）工事を行う。
水道部　水道総務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
人口減少による使用水量の低迷のほか、特に維持管理費（動力費・修繕費・委託料）の高騰が料金回収率の低下を招く要因となってきた。 料金回収率100%以上が望ましいため、料金改定の検討などについても課題となる。		適正な料金水準への見直しを検討する。 維持管理費削減に向けた取り組み：漏水対策（老朽管の更新）。 施設のスリム化（施設の統廃合、ダウンサイジングの検討）、広域化・共同化の検討

施策	4-4美しい水環境の創出							
基本事業1	下水道施設の整備と強化							総計　P114
KPI	下水道の有収率（各年）（年間の有収水量／総汚水処理水量）〈単位：%〉							
担当部署	水道部　下水道課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	81.3	81.5	81.7	81.9	82.1	82.3		
実績値	82.1							
増減率（%）	0.9							

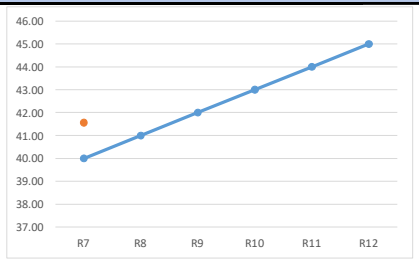


令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の下水道の有収率は、82.1%と目標値を0.8ポイント上回った。

〇令和７年度に不明水対策として下水道管内のテレビカメラ調査に基づき管更生工事を867m施工し、破損個所の布設替え工事を６箇所行った。

基本事業2	下水道施設の適正管理と体制の構築							総計　P115
KPI	経費回収率（農集）〈単位：%〉							
担当部署	水道部　水道総務課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	40.00	41.00	42.00	43.00	44.00	45.00		
実績値	41.56							
増減率（%）	3.9							

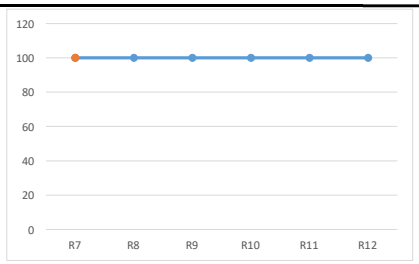


令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の経費回収率は、41.56%と目標値を1.56%上回った。
※要因は、下水道使用料の改定（令和６年度、７年度の２段階で改定）による。

〇令和８年度は目標値を既に上回っていることから達成する見込み。

KPI	経費回収率（公共）〈単位：%〉							
担当部署	水道部　水道総務課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	100	100	100	100	100	100		
実績値	100							
増減率（%）	0.0							

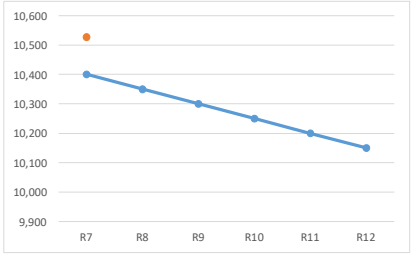


令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の経費回収率は、100%と目標値を達成した。
※要因は、下水道使用料を改定（令和６年度、７年度の２段階で改定）したため。

〇令和８年度も達成する見込みである。

施策	4-5環境にやさしいまちづくりの推進							
基本事業1	廃棄物の適正な処理							総計　P117
KPI	もえるごみの処理量（各年延べ）〈単位：ｔ〉							
担当部署	環境部　環境衛生課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	10,400	10,350	10,300	10,250	10,200	10,150		
実績値	10,527							
増減率（%）	1.2							

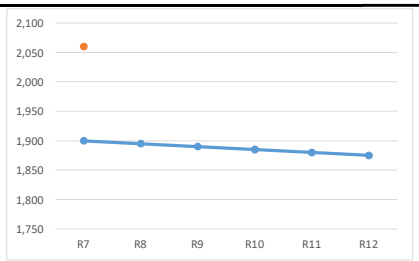


令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のもえるごみの処理量は、10,527tと目標値を127t下回った。

〇令和８年度第１四半期（４月～6月）の実績値は、2,525tとなった。

KPI	粗大ごみ場に搬入されたごみの処理量（各年延べ）〈単位：ｔ〉							
担当部署	環境部　環境衛生課							
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標値	1,900	1,895	1,890	1,885	1,880	1,875		
実績値	2,060							
増減率（%）	8.4							



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の粗大ごみ場に搬入されたごみの処理量は、2,060tと目標値を160t上回った。

〇令和８年度第１四半期（４月～6月）の実績値は、351tとなった。

施策評価	市民満足度調査　Cエリア（9）　重要度：高×満足度：高

水道部　下水道課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
不明水の大きな原因のひとつとして、市内に布設された下水道管の内、１割強の約65㎞が陶管となっている。 以前から陶管の破損、劣化が多くみられ台風などの豪雨の際にはﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟの異常高水位やﾏﾝﾎｰﾙからの溢水等発生している状態だ。また、三重県に支払う維持管理負担金の増加にも繋がっている。		65㎞もの管の更新工事を行うには、莫大な費用と年月が必要となるため設計・施工を一体化することで、民間のノウハウによる公共工事の品質向上、コスト縮減、効率的な業務履行が期待される。 予算の増額も含め、スピードアップする形で進めていくための設計・施工一括発注（デザインビルド）方式を検討する。

水道部　水道総務課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
経費回収率は改善したが、事業運営に要する費用が、一般会計からの繰入といった使用料収入以外の収入に依存している状況は変わらない。 経費回収率向上のためには、農業集落排水事業のなかで汚水処理費に係る経費の削減のための新たな取組が必要である。		○農業集落排水地区の公共下水道への統合（十社南部地区） ○公共下水道への統合検討（新規） ○定期的な料金改定の検討

水道部　水道総務課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
経費回収率100％は、汚水処理費に係る費用が、下水道使用料で賄われており、適正な使用料収入が確保できている状況である。 今後も更なる費用削減や更新投資等に充てる財源の確保ができているか、改善点の洗い出しを行う必要がある。		○経費削減のための費用の見直し。 ○長期的な財政計画・施設更新計画による経営計画の確立。 ○定期的な料金改定の検討

施策評価	市民満足度調査　C,Dエリア（6,10,11）　重要度：低～高×満足度：高

環境部　環境衛生課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
一部分別が不十分な自治会の集積所があることから、適正なごみ出しについて啓発を行い、市民一人ひとりの分別意識の向上を図る必要がある。		近年、もえるごみの搬入量は人口減少の影響もあり減少傾向にある。 更なる資源化を推進し、増加が見込まれる外国人に対し、多言語・多文化に対応した分別ルールの周知を引き続き進める。

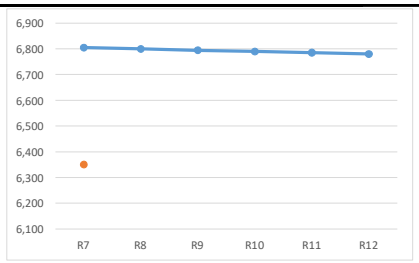
環境部　環境衛生課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
搬入される粗大ごみの中には、処理前の段階において、使用可能なものが相当数含まれていることから、リユース及びリサイクルに回す量の一層の拡大を図る必要がある。		リユースやリサイクルの推進及び各リサイクル品目の分別回収を促進する。

KPI　し尿処理量（各年延べ）〈単位：t〉

担当部署　環境部　環境衛生課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	6,805	6,800	6,795	6,790	6,785	6,780
実績値	6,351					
増減率（%）	-6.6					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のし尿処理量は、6,351tと目標値を454t下回った。

〇令和８年度第１四半期（４月～６月）の実績値は、1,966tとなった。

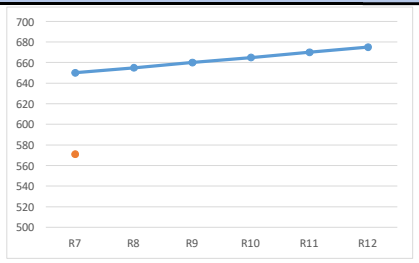
基本事業2　循環型社会形成の推進

総計　P118

KPI　資源ごみの搬入量（各年延べ）〈単位：t〉

担当部署　環境部　環境衛生課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	650	655	660	665	670	675
実績値	571					
増減率（%）	-12.1					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

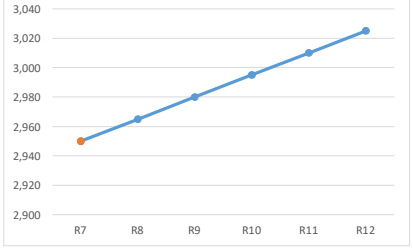
〇令和７年度の資源ごみの搬入量は、571tと目標値を79t下回った。

〇令和８年度の第１四半期（４月～６月）の実績値は、139tとなった。

KPI　コンポストの利用者数（累計）〈単位：人〉

担当部署　環境部　環境衛生課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	2,950	2,965	2,980	2,995	3,010	3,025
実績値	2,950					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のコンポストの利用者数は、累計で2,950人と目標値を達成した。

〇令和８年度第１四半期（４月～６月）の実績値は、14人となっている。

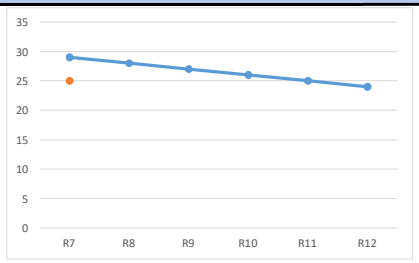
基本事業3　環境保全対策の推進

総計　P118

KPI　不法投棄処理件数（各年）〈単位：件〉

担当部署　環境部　環境政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	29	28	27	26	25	24
実績値	25					
増減率（%）	-13.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の不法投棄処理件数は、25件と目標値を４件上回った。

〇令和８年度は、７月14日時点で12件となっている。

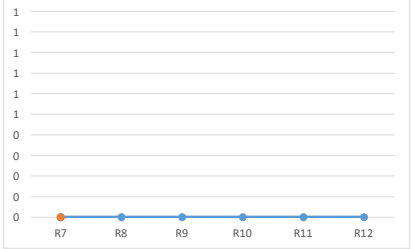
基本事業4　斎場の適切な維持管理

総計　P119

KPI　斎場利用者からの苦情件数（各年）〈単位：件〉

担当部署　環境部　環境政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	0	0	0	0	0	0
実績値	0					
増減率（%）						



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度は斎場利用者からの苦情件数は、０と目標値を達成した。

〇令和８年度は、７月14日時点で０件となっている。

環境部　環境衛生課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
し尿処理量は年度ごとに増減を繰り返している状況にある。 浄化槽汚泥の減量を図るためには、下水道課に依頼して、公共下水道等への接続率を上げていく必要がある。		生活排水の保全が推進され、安心できる生活環境を維持する。

環境部　環境衛生課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
資源ごみの搬入量は減少傾向にある。 ごみ区分全体の推移を踏まえ、資源ごみが減少した要因の分析が必要である。		分析結果に基づき、ごみ分別の徹底や資源化の意義について啓発を推進し、資源ごみの搬入量の増加を図る。

環境部　環境衛生課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
コンポスト補助金の申請者は順調に増加しており、生ごみの減量化に寄与している。 今のところ課題はない。		生ごみの堆肥化促進により生ごみの減量化を図り、ごみの搬入量を低下させる。

環境部　環境政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
不法投棄がなくならないことが課題である。		自治会に対し不法投棄防止看板を配布するとともに、環境パトロールを行い、不法投棄の防止に取り組む。

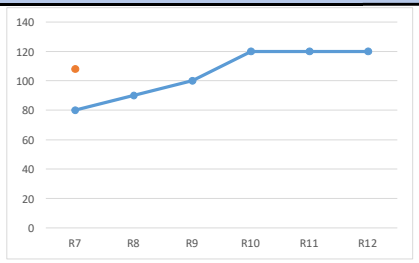
環境部　環境政策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
北勢斎場の建物及び火葬設備の老朽化が課題である。		施設の修繕、管理を適切に行う。

基本事業5　地球温暖化対策の推進	総計　P 119

KPI　水素ガス充填回数（各年）〈単位：回〉

担当部署　都市整備部　新産業創造課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	80	90	100	120	120	120
実績値	108					
増減率（%）	35.0					



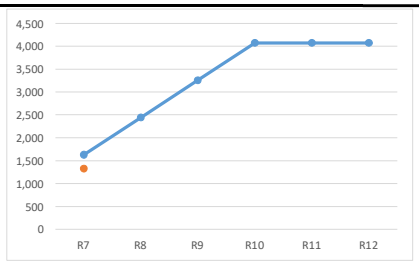
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の水素ガス充填回数は、108回と目標値を28回上回った。
※要因は、FCVを所有する市内事業所が増加したことにより、水素ガスの充填回数が増えたため。

KPI　重点対策加速化事業による温室効果ガス削減量（累計）〈単位：ｔ－CO_2〉

担当部署　都市整備部　新産業創造課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1,630	2,445	3,260	4,075	4,075	4,075
実績値	1,327					
増減率（%）	-18.5					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

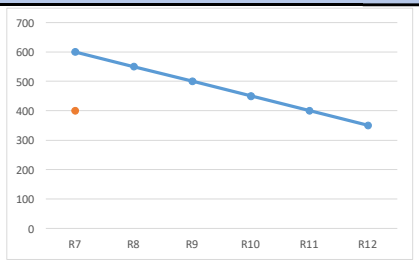
〇令和７年度の重点対策加速化事業による温室効果ガス削減量は、累計で1,327t-CO_2と目標値を303t-CO_2下回った。
※要因は、市内住宅および市内事業所への太陽光発電設備の間接補助について、申請件数が計画件数に達しなかったため。

施策　4-6みどり豊かなまちづくりの推進	
基本事業1　都市公園の整備	総計　P 120

KPI　いなべ公園内の整備が必要な樹木数〈単位：本〉

担当部署　建設部　管理課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	600	550	500	450	400	350
実績値	400					
増減率（%）	-33.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のいなべ公園内の整備が必要な樹木数は、400本と目標値を200本上回った。
※要因は、大雨等の自然災害もあり、当初の予定よりも整備を進めることができたため。

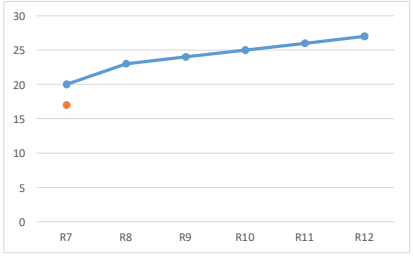
〇令和８年度は危険度の高い樹木を数本伐採したにとどまっている。

基本事業2　緑化活動の推進	総計　P 120

KPI　花づくり団体数（各年）〈単位：団体〉

担当部署　都市整備部　都市整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	20	23	24	25	26	27
実績値	17					
増減率（%）	-15.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

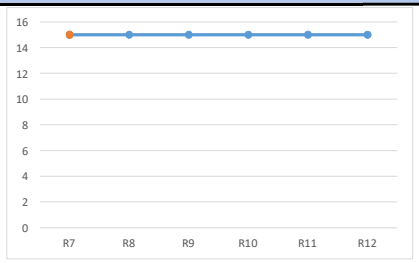
〇令和７年度の花づくり団体数は、17団体と目標値を３団体下回った。

施策　4-7良好な居住環境づくりの推進	
基本事業1　良好な住環境づくりの推進	総計　P 122

KPI　除却工事戸数（各年）〈単位：戸〉

担当部署　都市整備部　住宅課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	15	15	15	15	15	15
実績値	15					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の除却工事戸数は、15戸と目標値を達成した。

〇令和８年度７月現在、１件の除却工事が完了した。

都市整備部　新産業創造課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
今後、FCVの普及に伴い水素ガス充填量が増加する見込みである。 しかし、稼働に伴って機器の摩耗・劣化が進行し、水素ステーションの定格性能が限界に達する可能性がある。 その結果、部品交換や予防保全にかかるコストが発生する。		日々の点検と定期点検を実施することで機器の不具合を早期に発見し、予防保全を徹底する。 これにより機械関連コストを削減するとともに、計画的な水素ガス充填により水素ステーションの運用コストの低減に努める。

都市整備部　新産業創造課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
物価高騰が続く中、太陽光発電設備への投資と新築住宅の建設が減少している。		民生部門に対して普及啓発のための広報・HP掲載・全戸配布を実施し、重点対策加速化事業の再エネ交付金を活用して設備設置を促進する。

施策評価	市民満足度調査　B,Dエリア（26,27）　重要度：低×満足度：低～高

建設部　管理課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
伐採業務は秋から冬にかけて発注する。 しかし、台風時期が前倒しになっていることから、危険度の高い樹木は順次伐採していく必要がある。		樹木をデータとして把握し、危険木の除去を最優先として取り組む。

都市整備部　都市整備課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
これまで活動していたボランティア団体の高齢化が進行している。 地域での花づくりを通じた景観づくりへの取組意識が低下している。		取組の普及・啓発が必要であるため、令和８年度は優良な活動団体を広報誌等に取り上げることで、実施団体の増加につなげる。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（28）　重要度：低×満足度：低

都市整備部　住宅課

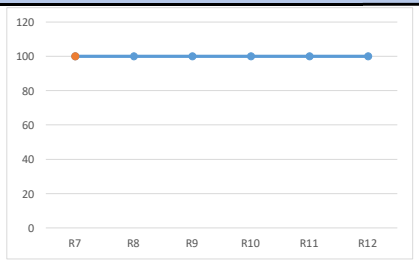
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
除却工事費の補助を受けるための、無料耐震診断の申込が少ないことから、除却工事戸数も少なくなると予想される。		空家所有者に利活用しない空家除却を促進するために、新聞広告・相談会・説明会等にて啓発活動を行う。

基本事業2　市営住宅の適正管理　　総計　P 123

KPI　市営住宅入居率（各年）〈単位：%〉

担当部署　都市整備部　住宅課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	100					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の市営住宅入居率は、100%と目標値を達成した。

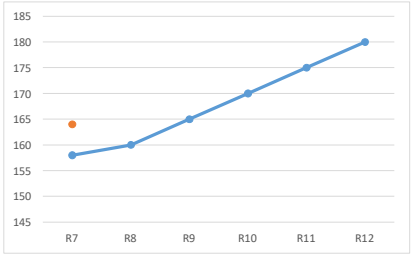
〇令和８年度７月現在、100%の入居率である。

基本事業3　空き家活用の促進　　総計　P 123

KPI　空き家相談件数（各年）〈単位：件〉

担当部署　都市整備部　住宅課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	158	160	165	170	175	180
実績値	164					
増減率（%）	3.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の空き家相談件数は、164件と目標値を６件上回った。

〇令和８年度は、７月現在、61件の相談があった。

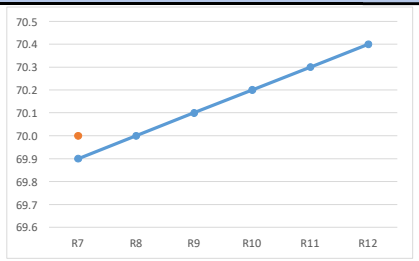
施策　4-8秩序ある土地利用の推進

基本事業1　計画的な土地利用の推進　　総計　P 124

KPI　市街化区域及び用途地域の宅地化率〈単位：%〉

担当部署　建設部　管理課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	69.9	70.0	70.1	70.2	70.3	70.4
実績値	70.0					
増減率（%）	0.1					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の市街化区域及び用途地域の宅地化率は、70.0%と目標値を0.1ポイント上回った。
※要因は、用途地域の目的に沿った土地利用を誘導できたため。

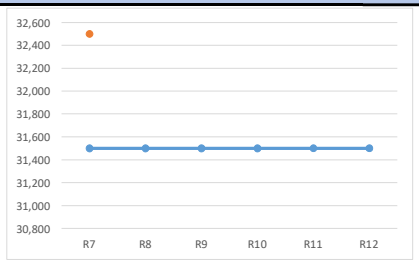
施策　4-9安全で安心な防災対策の推進

基本事業1　防災対策の整備　　総計　P 126

KPI　非常食の備蓄数（各年）〈単位：食〉

担当部署　総務部　防災課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500
実績値	32,500					
増減率（%）	3.1					



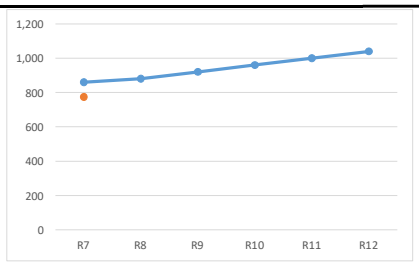
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の非常食の備蓄数は32,500食と目標値を1,000食上回った。
※要因は、南海トラフ地震の理論上最大に基づき非常食の購入を行ったため。

KPI　防災講演受講者数（各年延べ）〈単位：人〉

担当部署　総務部　防災課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	860	880	920	960	1,000	1,040
実績値	775					
増減率（%）	-9.8					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の防災講演受講者数は、775人と目標値を85人下回った。

〇令和８年度は、若年層をターゲットに、子育て支援センター等での講演を実施するなど、幅広い世代に向け防災啓発事業を行った。

都市整備部　住宅課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市営住宅の老朽化が進んでいて、修繕箇所が多い。		生活に支障がないように、故障、不具合箇所の修繕を行う。

都市整備部　住宅課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
空き家バンク登録数を増加させるため、さらなる啓発活動を行い、相談件数を増加させることが必要である。		新聞広告・相談会・説明会等にて空家所有者に空家適正管理を意識付けることで、相談数が増加させ、空き家バンク登録へ繋げる。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（28）　重要度：低×満足度：低

建設部　管理課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
用途地域の辺縁部の土地利用の見直しが必要である。		未利用地の面積を的確に把握し、有効な土地利用を進める。

施策評価	市民満足度調査　Cエリア（21）　重要度：高×満足度：高

総務部　防災課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和８年度は南海トラフ地震の被害想定が修正され、その修正値が公開されれば、KPIの修正が必要になる。 （修正値で避難者数増加が見込まれる） 物価高騰により非常食の値段が上昇し、目標値で定める量の確保が厳しい状況となる。		災害対策基本法により地方公共団体の非常食や物品などの保管数が公表されているため、食料を含めた資機材の確保は必要となる。 関係部署と協議しながら適正な予算の確保に努める。

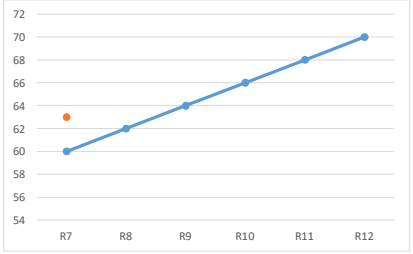
総務部　防災課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
南海トラフ地震を鑑みると、自助、共助の役割は重要である。 しかし、地域を中心とした防災講演への参加者の多くは年齢層が占め、若年層に対して啓発が必要である。		全国各地で災害が発生し、被害が激甚化している状況にあり、市民一人ひとり防災への意識の向上が必要となる。 幅広い年齢層が参加できるように事業を継続していく。

KPI　避難行動要支援者制度実施自治会数〈単位：自治会〉

担当部署　総務部　防災課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	60	62	64	66	68	70
実績値	63					
増減率（%）	5.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

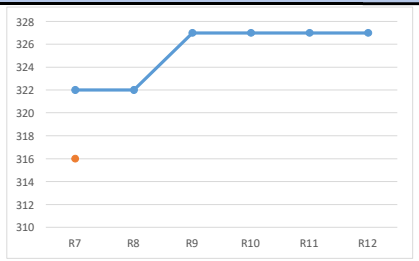
〇令和７年度避難行動要支援者制度実施自治会数は、63自治会と目標値を３自治会上回った。
※要因は、平時の見守り活動も含めた取組により、避難行動要支援者制度に取り組む自治会が増加したため。

基本事業2　組織強化による消防力向上　　総計　P 127

KPI　消防団員数（各年）〈単位：人〉

担当部署　総務部　防災課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	322	322	327	327	327	327
実績値	316					
増減率（%）	-1.8					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

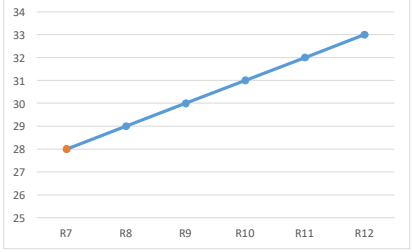
〇令和７年度の消防団員数は、316人で目標値を６人下回った。
※要因は、いなべ市のみならず全国的に消防団員が減少しているため。

〇令和８年度は、定数確保対策として機能別分団を創設した。

KPI　消防団協力企業数（各年）〈単位：社〉

担当部署　総務部　防災課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	28	29	30	31	32	33
実績値	28					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

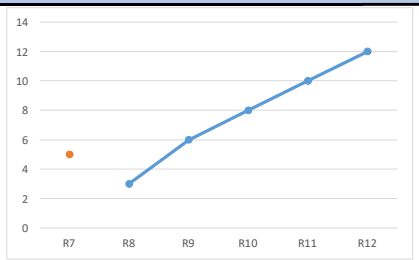
〇令和７年度の消防団協力企業数は、28社と目標値を達成した。

基本事業3　災害に強いまちづくり　　総計　P 127

KPI　護岸整備河川数（累計）〈単位：河川〉

担当部署　建設部　建設課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		3	6	8	10	12
実績値	5					
増減率（%）						



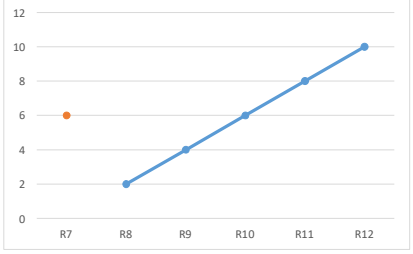
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の護岸整備河川数は、累計で５河川となった。

KPI　河道掘削河川数（累計）〈単位：河川〉

担当部署　建設部　建設課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		2	4	6	8	10
実績値	6					
増減率（%）						



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度河道掘削河川数は、累計で６河川となった。

総務部　防災課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
自治会、福祉委員会が中心となって継続的に事業を進めており、実施自治会数も増加傾向となっている。 現状では課題はないが、市内全域で取り組んでいただけるように推進していくことが必要である。		避難行動要支援者制度の実施は、自治会長や福祉委員会の長などによって大きく左右されている。 今後も避難行動要支援者制度と個別避難計画を含め、継続して取り組む自治会を増やすよう、社会福祉協議会等との連携を図る。

総務部　防災課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
大規模災害時には消防団の必要性が見直されるものの、時間の経過と共に軽視される傾向がある。 地域コミュニティの意識が薄れつつある中、消防団員確保も更に厳しい状況となっている。		基本団員が減少するので、消防団員のPRが必要である。 女性消防団員を中心とした広報活動を実施し、更に基本団員の在り方についても検討し、消防団に負担のないような仕組みづくりを検討する。

総務部　防災課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
サラリーマン団員が増加するなか、企業の理解が重要である。 企業の理解が消防団員の入団率にも比例するため、協力事業所を増やすことが重要であるが、格段に増加しない状況だ。		消防団員協力企業や消防団員応援の店などへ訪問を実施しながら、協力事業所を増やし、更に消防団活動への理解を得るよう進める。

建設部　建設課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
渇水期（10月～4月）での工事となるため、迅速な施工が必要となる。		本年度は10月の契約に向けて施工河川の設計準備中である。 昨今の豪雨災害に備えるため、施工河川の優先順位を適正に判断したうえで工事を進める。

建設部　建設課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
渇水期（10月～4月）での工事となるため、迅速な施工が必要となる。		本年度は10月の契約に向けて施工河川の設計準備中である。 昨今の豪雨災害に備えるため、施工河川の優先順位を適正に判断したうえで工事を進める。

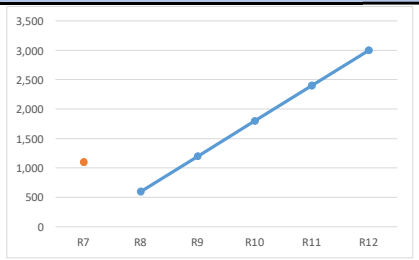
施策　4-10交通事故のない安全なまちづくりの推進

基本事業1　交通安全対策の推進　　総計　P128

KPI　グリーンベルト（通学路）の設置延長（累計）〈単位：m〉

担当部署　建設部　建設課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		600	1,200	1,800	2,400	3,000
実績値	1,100					
増減率（%）						



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

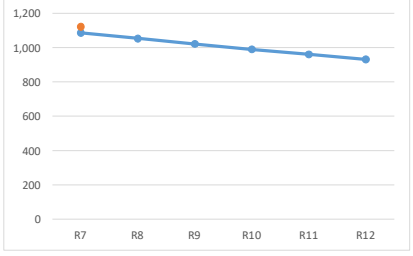
〇令和７年度のグリーンベルト（通学路）の設置延長は、累計で1,100mとなった。

〇令和８年度は、施工箇所の選定が終了した。（工事発注の準備中）

KPI　交通事故発生件数〈単位：件〉

担当部署　建設部　管理課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	1,086	1,053	1,021	990	960	931
実績値	1,121					
増減率（%）	3.2					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の交通事故発生件数は、1,121件と目標値を35件下回った。
※要因は大型車の通行が増えたため。

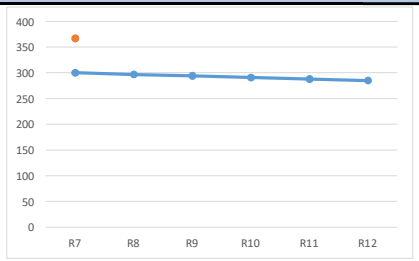
施策　4-11被害を未然に防ぐまちづくりの推進

基本事業1　地域防犯体制の充実　　総計　P131

KPI　刑法犯認知件数（いなべ警察署管轄内）〈単位：件〉

担当部署　総務部　総務課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	300	297	294	291	288	285
実績値	367					
増減率（%）	22.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

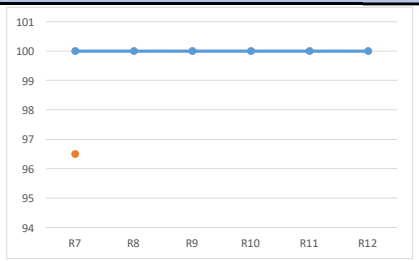
〇令和７年度の刑法犯認知件数（いなべ警察署管轄内）は、367件と目標値を67件下回った。
※要因は窃盗犯認知件数が、前年と比較して72件増加したため。

基本事業2　消費者保護対策の推進　　総計　P131

KPI　消費者相談解決率（各年延べ）（消費者相談解決件数／消費者相談件数）〈単位：%〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	96.5					
増減率（%）	-3.5					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の消費者相談解決率は、96.5%と目標値を3.5ポイント下回った。
・社会福祉協議会等と連携し高齢者を対象に消費者トラブルや詐欺の注意喚起を行った。
・若年層に対して消費生活の知識等を掲載した小冊子「くらしの豆知識」を配布し、啓発を行った。

基本目標　「にぎわい・愛着」創生のまち

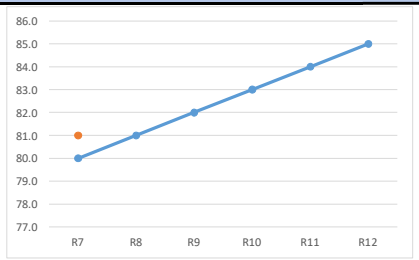
施策　5-1持続可能な農林業の振興

基本事業1　集落を基軸にした担い手への支援　　総計　P133

KPI　農地集積率（各年）（担い手の利用面積／農地面積）〈単位：%〉

担当部署　農林商工部　農業振興課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
実績値	81.0					
増減率（%）	1.2					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の農地集積率は、81.0%と目標値を１ポイント上回った。
※要因は農地の多面的な機能を守り、持続性のある安定的な農業生産活動を行うため、地域の中心となる担い手農業者への農地集積を進めたため。

施策評価	市民満足度調査　Aエリア（5）　重要度：高×満足度：低	
建設部　建設課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
物価高騰に伴う工事価格の上昇により、学校や自治会からの設置要望に対して設置可能な延長が限定的である。		学校や警察等の関係機関と協議のうえ設置箇所の優先順位を決定する。
建設部　管理課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
東海環状自動車道の一部開通等により、特に大型車の通行が増え、事故発生の要因となっている。		歩行者と自転車の安全性を高めるよう、いなべ警察署やいなべ地区交通安全協会と、一層協力し、交通安全啓発活動に力を入れる。
施策評価	市民満足度調査　A,Bエリア（7,22）　重要度：低～高×満足度：低	
総務部　総務課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
刑法犯認知件数については、コロナ禍で全国的に大きく減少したが、近年は匿名・流動型犯罪グループによる被害の広がりもあり、増加傾向に反転している。 ここで増加をくい止められるかどうか分岐点にあるが、実証された効果的対策が少ないため、厳しい状況にある。		いなべ警察署管轄内の刑法犯認知件数の増加は、令和８年度も予断を許さない状況にある。 員弁地区生活安全協会への支援、防犯パトロール用品貸与制度、防犯カメラ設置補助制度等を継続することで、犯罪発生の防止に努める。
農林商工部　商工観光課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
時代の変化に伴い、相談内容は多様化し、相談件数も増加する傾向となっている。		複雑化している消費者トラブルを防ぐため、消費者生活センターや相談員、またいなべ警察署と連携を取りながら啓発活動を行う。
施策評価	市民満足度調査　Bエリア（30,31）　重要度：低×満足度：低	
農林商工部　農業振興課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
担い手の高齢化や個人農家の減少が進む。 これまで地域ぐるみで守ってきた多面的な機能を有する農地を、将来に渡り維持する必要がある。		集落で作成された地域計画を基に、農地保全活動及び農業生産の安定化を図るため、指名された担い手への集積を進める。

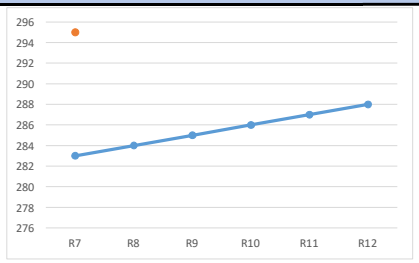
基本事業2　安心、安全で安定した農業の振興

総計　P133

KPI　家畜ふん尿堆肥散布面積（各年）〈単位：ha〉

担当部署　農林商工部　農業振興課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	283	284	285	286	287	288
実績値	295					
増減率（%）	4.2					



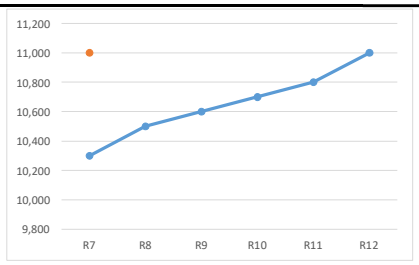
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の家畜ふん尿堆肥散布面積は、295haと目標値を12ha上回った。
※要因は、農薬や化学肥料の使用量低減、家畜排せつ物の堆肥化による畜産堆肥の有効活用など、環境負荷低減に向けて、水田への堆肥散布を推進したため。

KPI　そば祭り入場者数（各年）〈単位：人〉

担当部署　農林商工部　獣害対策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	10,300	10,500	10,600	10,700	10,800	11,000
実績値	11,000					
増減率（%）	6.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のそば祭り入場者数は、11,000人と目標値を700人上回った。

〇令和８年度は、設営施設を新たに設け、新そば「いなべの里の蕎麦」の魅力を発信する「そば祭り」を開催することが決定した。

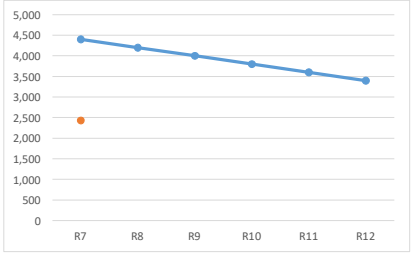
基本事業3　有害鳥獣対策の推進

総計　P134

KPI　水稲、小麦の獣害被害額（各年）〈単位：千円〉

担当部署　農林商工部　獣害対策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	4,400	4,200	4,000	3,800	3,600	3,400
実績値	2,432					
増減率（%）	-44.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

令和７年度の水稲、小麦の獣害被害額は、2,432千円と目標値を1,968千円上回った。
※要因は、集落及び農業者の獣害対策により被害が減少したため。

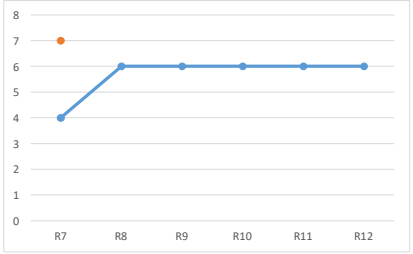
基本事業4　農業生産基盤の整備

総計　P134

KPI　補助・起債事業を活用した工事発注箇所数（災害除く）〈単位：箇所〉

担当部署　農林商工部　農林整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	4	6	6	6	6	6
実績値	7					
増減率（%）	75.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の補助・起債事業を活用した工事発注箇所数（災害除く）は、７箇所と目標値を３件上回った。
※要因は、要綱を満たす事業について地元に理解を求め、積極的な活用を図ったため。
〇令和８年度は、国の補助事業で６件の交付決定があった。（９月に発注予定）

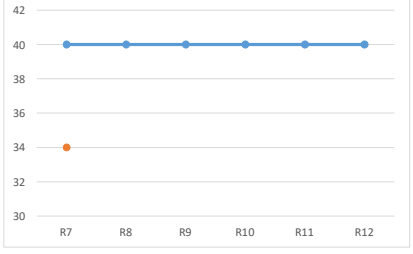
基本事業5　森林の適正管理の推進

総計　P135

KPI　危険木撤去団体数（各年延べ）〈単位：団体〉

担当部署　農林商工部　農林整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	40	40	40	40	40	40
実績値	34					
増減率（%）	-15.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の危険木撤去団体数は、34団体と目標値を6団体下回った。

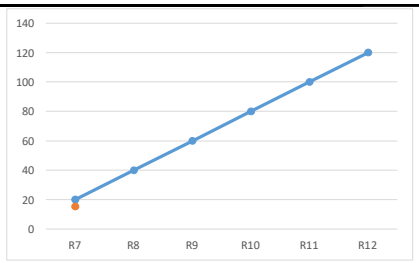
〇令和８年度は、交付決定済みが１２件あり、申請審査中が６件ある。

農林商工部　農業振興課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
家畜ふん尿の堆肥化、わら収集、農地への散布等の耕種農家と畜産農家による一貫した耕畜連携の取組み体制を整備する必要がある。		耕種農家と畜産農家による一貫した耕畜連携の取組みを推進する。
農林商工部　獣害対策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
獣害対策及びシティプロモーションとして蕎麦の振興を行っている。 そばに次ぐ特産品を見出すことが求められる。		いなべ市産そばをフル活用した体験型のシティプロモーションを推進する。
農林商工部　獣害対策課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
鳥獣被害の増加により、農業生産活動が低下しており、集落を軸とした捕獲や追い払いなどの対策が必要である。		防護柵等設置整備、檻購入及び追い払い用煙火購入の補助事業を進め、獣害に強い集落づくりを目指す。 集落を基軸とした有害鳥獣の駆除、獣害パトロールによる追い払い、緩衝帯整備、獣害対策講座などの対策を行い、獣害に強い集落づくりを推進する。
農林商工部　農林整備課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
国の補助事業については申請から事業着手まで最低２年の時間を要するため、緊急的な工事については即応できない。		自治会の要望を精査したうえで、後々大規模な修繕の可能性がある箇所については、計画的に事業化できるよう地元と調整していく。
農林商工部　農林整備課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
一件当たりの補助額が見込み額より大きくなる傾向があり、予算不足が生じる。		次年度以降予算を増額するとともに、引続き広報誌や自治会長会で制度のPRを行っていく。

KPI　森林整備実施面積（累計）〈単位：ha〉

担当部署　農林商工部　農林整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	20	40	60	80	100	120
実績値	15					
増減率（%）	-23.5					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の森林整備実施面積は、累計で15haと目標値を５ha下回った。
※要因は、地権者所在不明等の理由で意向調査による森林経営管理権が取得できなかった箇所が多かったため。

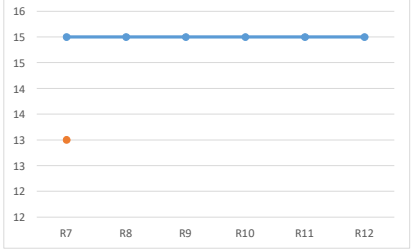
施策　5-2企業誘致による産業振興と雇用促進

基本事業1　企業誘致活動の推進　　総計　P 137

KPI　企業面談件数（各年）〈単位：件〉

担当部署　都市整備部　都市整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	15	15	15	15	15	15
実績値	13					
増減率（%）	-13.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の企業面談件数は、13件と目標値を２件下回った。

〇目標値を下回ったが企業活動は活発化している。

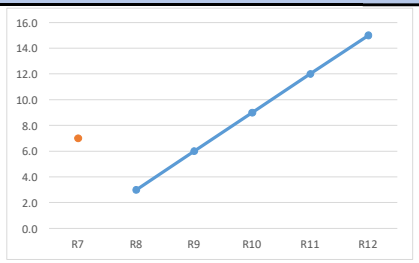
〇令和８年度は、日常業務において道路修復や樹木伐採の依頼対応を担当課と調整し、事業活動への影響を回避している。

基本事業2　産業用地の確保、工業団地の維持管理　　総計　P 137

KPI　公共による産業用地の開発面積（累計）〈単位：ha〉

担当部署　都市整備部　都市整備課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値		3.0	6.0	9.0	12.0	15.0
実績値	7.0					
増減率（%）	#DIV/0!					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の公共による産業用地の開発面積は、7.0haとなった。
※企業立地協定を締結している２社に対し、企業用地の整備を進めた。

〇令和８年度から産業用地を新たに確保するため、用地買収に着手した。

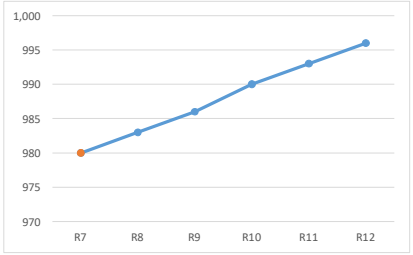
施策　5-3にぎわいのある商工業の振興

基本事業1　商工業の活性化支援　　総計　P 138

KPI　商工会への加入団体数（各年）〈単位：団体〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	980	983	986	990	993	996
実績値	980					
増減率（%）	0.0					



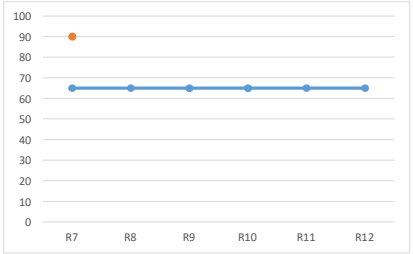
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の商工会への加入団体数は、980団体と目標値を達成した。
※要因は、経営発達支援計画に基づき、伴走型小規模事業者支援や小規模事業者資金利子補給、新規創業者資金借入保証料補助を行ったため。また、創業塾の開催により、地域産業の新たな担い手の育成を図ったため。

KPI　創業相談件数（各年延べ）〈単位：件〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	65	65	65	65	65	65
実績値	90					
増減率（%）	38.4					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の創業相談件数は、90件と目標値を25件上回った。
※要因は、商工会と連携し、経営指導員等による総合相談、創業指導を実施したため。

農林商工部　農林整備課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
森林所有者への意向調査の結果、無回答や所在不明を理由とした経営権の未取得が１～２割程発生する。		令和８年度は12.1haの間伐作業を実施する予定である。 森林所有者の同意が無いと整備が実施できないため、制度についてしっかりと説明を行い理解を求めていく。 地権者の所在については自治会へも協力を求めていく。
施策評価	市民満足度調査　Dエリア（33,34）　重要度：低×満足度：高	

都市整備部　都市整備課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
企業の進出や事業拡張などの投資活動は依然として旺盛だが、同時に慢性的な人手不足が続いている。 企業は人材確保と事業拡張を同時に進める必要があり、進出計画はこれまで以上に慎重さを要する。		今後は新規進出・工場拡張の相談が増える見込みである。 企業の雇用状況と採用情報を共有してきたが、人材確保は効果が乏しい状況である。 安定雇用と暮らしやすさをPRし、交流人口の拡大をする施策を進める。

都市整備部　都市整備課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市内への進出を計画する企業に対して、即時販売できる用地が不足している。		企業が進出を予定している条件に適合する用地を迅速に確保するとともに、活用可能な土地情報の把握に努める。
施策評価	市民満足度調査　B,Dエリア（32,33）　重要度：低×満足度：低～高	

農林商工部　商工観光課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市内の商業の多数を占める中小小売店舗は、近隣市町の大型店への消費者の流出が懸念される。 閉店や廃業となる事業主もあり、会員数の減少をいかに食い止めるかが課題となっている。		会員の経営サポートや新規創業者のアドバイザーとして事業展開を図っていく。 市内の商工業者がより活性化するよう今後も支援継続を行う。

農林商工部　商工観光課		
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
創業相談から実際の創業につながっているにもかかわらず、商工会に相談するメリットが周知できていない。 商工会に相談するメリットを含めPRする必要がある。		商工会との連携強化を図り、相談しやすい環境の整備を進める。

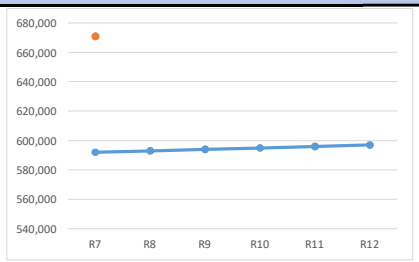
施策　5-4魅力ある観光地づくりの推進

基本事業1　多様な観光施設の充実　　総計　P140

KPI　観光レクリエーション入込客数（各年）〈単位：人〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	592,000	593,000	594,000	595,000	596,000	597,000
実績値	670,776					
増減率（%）	13.3					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度の観光レクリエーション入込客数は、670,776人と目標値を78,776人上回った。

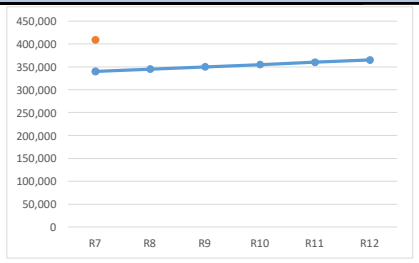
〇観光レクリエーション入込客数の算出対象の施設や催しが減少したが、順調に観光入込客を増加させることができた。

基本事業2　イメージアップと集客力の向上　　総計　P141

KPI　にぎわいの森来場者数〈単位：人〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	340,000	345,000	350,000	355,000	360,000	365,000
実績値	408,936					
増減率（%）	20.2					



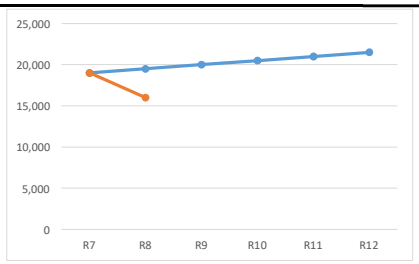
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のにぎわいの森来場者数は、408,936人と目標値を68,936人上回った。
※要因は、WEEKEND MARKETやイベント等を開催したため。

KPI　ツアー・オブ・ジャパン観客動員数（各年）〈単位：人〉

担当部署　教育委員会　生涯学習課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	19,000	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500
実績値	19,000	16,000				
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のツアー・オブ・ジャパン観客動員数は、19,000人と目標値を達成した。

〇令和８年度は、観客動員数が16,000人となり、目標値19,500人に対して達成率は82.1%であった。
※要因は、メイン会場である農業公園内の整備より駐車場が削減したこと等による。

基本目標　総合的取組事項

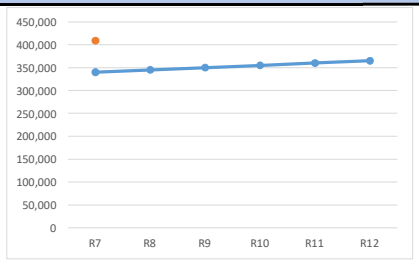
施策　6-1グリーンクリエイティブいなべの推進

基本事業1　グリーンクリエイティブいなべの推進　　総計　P143

KPI　にぎわいの森来場者数〈単位：人〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	340,000	345,000	350,000	355,000	360,000	365,000
実績値	408,936					
増減率（%）	20.2					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のにぎわいの森来場者数は、408,936人と目標値を68,936人上回った。
※要因は、WEEKEND MARKETやイベント等を開催したため。

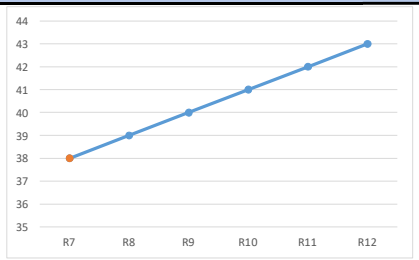
施策　6-2フェアトレードタウンいなべの促進

基本事業1　フェアトレードタウンいなべの促進　　総計　P144

KPI　フェアトレード商品取扱店舗数〈単位：店舗〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	38	39	40	41	42	43
実績値	38					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のフェアトレード商品取扱店舗数は、38店舗と目標値を達成した。
※要因は、フェアトレードタウン認定を契機に、行政・市民・事業者・教育機関が連携し、普及啓発や教育活動を継続したため。

施策評価	市民満足度調査　Bエリア（35）　重要度：低×満足度：低

農林商工部　商工観光課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
観光交流人口のさらなる拡大に向けて、イベント等の強化、地域回遊PRなど、市内事業者と連携してPRする必要がある。		市単独ではなく、市内の様々な事業者と連携した地域回遊PRを進める。

農林商工部　商工観光課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
にぎわいの森の来場者を地域回遊へ促す仕組みづくりが必要である。		市単独ではなく、市内の様々な事業者と連携した地域回遊PRを進める。

教育委員会　生涯学習課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
観客動員数の確保。 地域経済への波及効果が十分に発現していないこと。		パレードコースのスタート地点である阿下喜駅周辺や、メイン会場である農業公園内キャンプ場の観光資源を中心に、PRを行う。 グリーンクリエイティブいなべ、市観光協会、市商工会などの団体や事業者と連携し、ＳＮＳやメディア、イベント等を活用して効果的にＰＲを実施する。

農林商工部　商工観光課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
にぎわいの森の来場者を地域回遊へ促す仕組みづくりが必要である。		市単独ではなく、市内の様々な事業者と連携した地域回遊PRを進める。

農林商工部　商工観光課

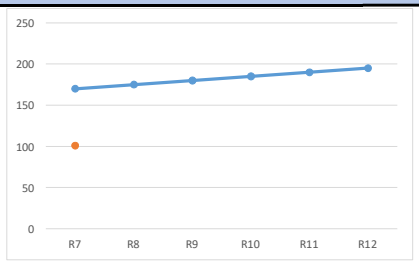
課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
市民への認知や日常の消費行動への浸透が十分ではなく、活動の担い手や参加者の固定化が課題となっている。		観光やSDGs、地域ブランドと連携しながら、日常的な利用機会の拡大と若い世代を含めた幅広い参画を促進し、持続可能な取組へ発展させていく必要がある。

施策	6-3ＳＤＧｓ未来都市いなべの推進							
基本事業1	SDGs未来都市いなべの推進							総計　P147

KPI　SDGs実践取組事業者数〈単位：者〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	170	175	180	185	190	195
実績値	101					
増減率（%）	-40.5					



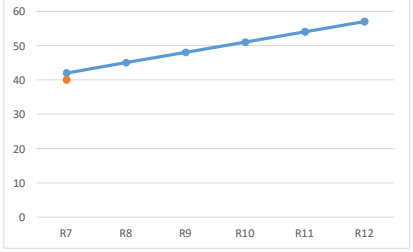
令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のSDGs実践取組事業者数は、101者と目標値を69者下回った。
※要因は、SDGs実践取組事業者数を計るために用いるSDGsチェックシートへの継続回答事業者数が減少したため。
〇SDGs推進の支援業者と契約し、令和７年度は市内のSDGs推進事業者増加に向けて順調に業務を進めた。

KPI　SDGs推進パートナー数（累計）〈単位：団体〉

担当部署　農林商工部　商工観光課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	42	45	48	51	54	57
実績値	40					
増減率（%）	-4.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和７年度のSDGs推進パートナー数は、累計で40団体と目標値を2団体下回った。

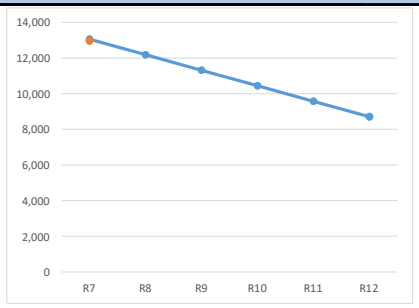
〇令和７年度は、市とともにSDGsを推進するパートナーを順調に増加することができた。

施策	6-4チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進							
基本事業1	資源循環社会の構築							
基本事業2	温室効果ガス排出量の削減							総計　P149

KPI　CO2排出量〈単位：t-CO_2〉

担当部署　環境部　環境政策課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値	13,050	12,180	11,310	10,440	9,570	8,700
実績値	12,954					
増減率（%）	-0.7					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

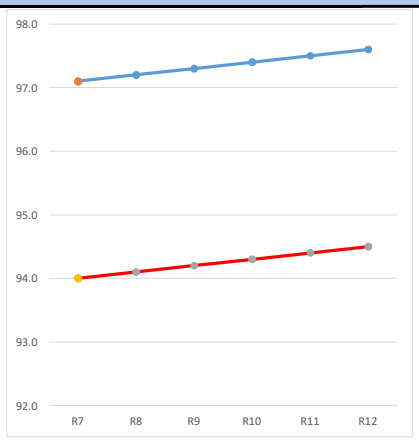
令和７年度のCO2排出量は、12,954t-CO_2と目標値を96t-CO_2上回った。

施策	6-5元気みらい都市いなべの推進							
基本事業1	個人の行動と健康状態の改善							
基本事業2	社会環境の質の向上							
基本事業3	ライフコースアプローチの構築							総計　P151

KPI　健康寿命の延伸（平均寿命に占める割合）〈単位：%〉

担当部署　健康こども部　健康推進課

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標値・男性	97.1	97.2	97.3	97.4	97.5	97.6
実績値・男性	97.1					
増減率（%）	0.0					
目標値・女性	94.0	94.1	94.2	94.3	94.4	94.5
実績値・女性	94.0					
増減率（%）	0.0					



令和７年度実績・要因分析
令和８年度の経過報告・達成状況

〇令和7年度の健康寿命の延伸の実績は、男性が97.1%、女性が94.0%と目標値を達成した。

〇健康なまちづくり会議を6回開催し、包括的な健康づくり施策を推進してきた。

〇令和８年度は、令和８年７月現在、２回会議を開催した。

農林商工部　商工観光課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
令和７年度までのＳＤＧｓ実践取組事業者数は、延べ755件である。 新規取組事業者を増加させる必要がある。		商工会と連携し、地域事業者向けのSDGｓの研修等を開催することにより、実践取組事業者の増加を図る。

農林商工部　商工観光課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
SDGs推進パートナーのメリットを打ち出し、市内におけるＳＤＧｓの更なる推進を図る必要がある。		引き続きSDGs推進パートナーを募集し、連携する事業者の増加を図る。

環境部　環境政策課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
エネルギー起源二酸化炭素の排出源である電気や灯油等の排出量の削減が今後の課題である。		公共施設に太陽光発電設備の導入などにより温室効果ガス排出量の削減を図る。

健康こども部　健康推進課

課題	外部評価（審議会からの評価）	今後の方向性・改善措置等
乳児期から高齢期まで全世代への効果的なアプローチが求められる。		全世代の効果的な健康づくりに向け、健康なまちづくり会議にて、ライフコースアプローチの視点から、包括的な健康づくり施策を推進していきたい。